平成12年度

三重県埋蔵文化財年報

2001・8

三重県埋蔵文化財センター

はじめに

埋蔵文化財は、文字史料とは別に、過去の文化を物語る土地に刻まれた不動産としての遺跡と動産としての遺物から成り立ちます。
そして、歴史への評価は、意図することがなくても評価する時代や立場が反映してしまいます。そこで、歴史の実地に立ち、本物に接することが正しい歴史認識の出発点であります。したがって、歴史的証拠は、評価を加えることなく事実そのままで後世に伝えることが何よりも重要です。

しかしながら、現代の生活活動との兼ね合いから、どうしても埋蔵文化財の破壊はある程度避けられません。そこで、当三重県埋蔵文化財センターとしても各市町村教育委員会と協力して遺跡の現状保存に極力努め、それでも避けられない場合は記録保存のための発掘調査を実施しております。

「地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律」が平成12年4月1日から施行されましたこともあり、「地域の文化財は地域で」という原則の実現が従前以上に肝要となっております。そこで、埋蔵文化財の保護行政も県と市町村との連携・協力関係は一段と重要になっております。又、一方では、文化財保護行政も質の向上を伴う行政改革が求められております。

このような状況の中、埋蔵文化財の保存を第一義的業務としながらも、多くの時間は発掘調査に費やさざるを得ず、普及公開活動も必ずしも充分ではないのが現状です。しかし、平成12年度も三重県下では多くの発掘調査が行なわれ、さまざまな普及公開活動が実施されました。具体的な調査成果は個別の調査報告書に譲ることとし、当年報では県下の全体的な事業実績をまとめております。

なお、最後になりましたが、この年報を取りまとめるにあたってご協力をいただきました関係機関には、厚くお礼申し上げます。

平成１３年８月

三重県埋蔵文化財センター
所　長　　桂　川　　哲

例　　言

1　この冊子は、平成１２年度における三重県内の発掘調査の概要と三重県埋蔵文化財センターの事業概要をまとめたものである。

2　「Ⅱ 平成１２年度の発掘調査」については、平成１２年度の三重県下における発掘調査の概要として、三重県埋蔵文化財センター担当の発掘調査成果および、県内市町村担当の発掘調査成果もあわせて収録した。

なお、各遺跡の発掘調査の概要については、それぞれの発掘調査担当者の協力を得た。

3　本冊子の編集は、関係機関及び各位の協力を得て、資料普及グループが行った。

目　　次

Ⅰ　組織及び業務体系 ---- 1
Ⅱ　平成12年度発掘調査 ---- 3
　1　発掘調査一覧 ---- 3
　2　発掘調査の概要 ---- 7

Ⅲ　埋蔵文化財保護体制の充実 ---- 40
　1　各種会議 ---- 40
　2　埋蔵文化財技術者養成 ---- 41
　3　埋蔵文化財保護等に関する支援・協力 ---- 42

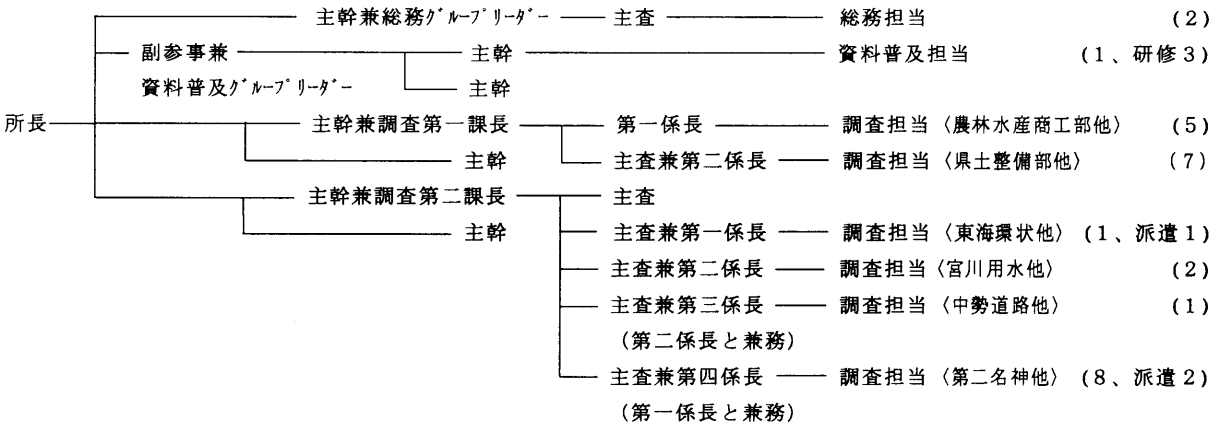
Ⅳ　資料の整理・保管・公開 ---- 49
　1　資料の整理・保管 ---- 49
　2　科学的保存処理 ---- 49
　3　資料の公開 ---- 49
　4　三重県埋蔵文化財センターのホームページの開設 ---- 52
　5　保管出土品等の貸出・写真等の掲載及び閲覧 ---- 52
　6　保管出土品等の長期貸出 ---- 54

Ⅴ　行政資料 ---- 54
　1　県内埋蔵文化財数 ---- 54
　2　県、市町村別の発掘調査件数及び面積の実績 ---- 55
　3　文化財保護行政にかかる県の役割について（県教育長通知） ---- 56
　4　埋蔵文化財および出土品の取扱い基準について（県教育長通知） ---- 57

《 付編 》
　1　三重県文化財調査員名簿 ---- 60

Ⅰ　組織及び業務体系

〔組　織〕



職員数４８名　（兼務５名、専任３７名、派遣３名、研修３名）

〔分掌事務〕

総務グループ

1　公印の管理に関すること
2　職員の身分及び服務に関すること
3　予算及び経理に関すること
4　給与及び旅費等の支給に関すること
5　契約及び入札事務に関すること
6　施設、設備の保守管理に関すること
7　文書の収発に関すること
8　職員の健康、福利厚生に関すること
9　防災管理に関すること
10　その他他課に属さないこと

調査第一課

1　埋蔵文化財保護にかかる生涯学習課文化財保護室ならびに関係部局との連絡調整に関すること
2　県関係公共事業における埋蔵文化財の発掘調査及び保護に関すること

調査第二課

1　一般国道475号東海環状自動車道に関する埋蔵文化財の発掘調査及び保護に関すること
2　一般国道23号中勢道路に関する埋蔵文化財の発掘調査及び保護に関すること
3　一般国道42号松阪多気バイパスに関する埋蔵文化財の発掘調査及び保護に関すること
4　国営宮川用水第二期土地改良事業に関する埋蔵文化財の発掘調査及び保護に関すること
5　近畿自動車道名古屋神戸線(第二名神)に関する埋蔵文化財の発掘調査及び保護に関すること
6　近畿自動車道名古屋関線(亀山亀山間)に関する埋蔵文化財の発掘調査及び保護に関すること
7　近畿自動車道尾鷲勢和線(紀勢勢和間)に関する埋蔵文化財の発掘調査及び保護に関すること
8　県道四日市朝日線(インター取り付け) に関する埋蔵文化財の発掘調査及び保護に関すること
9　建設省、農林水産省、日本道路公団との調整協議と事務処理に関すること

資料普及グループ

1　遺物収蔵庫の管理に関すること
2　整理済み出土品の収蔵及び保管に関すること
3　遺跡及び遺物の実測図・写真等の整理及び保管に関すること
4　関係図書等の整理及び保管に関すること
5　遺跡台帳・遺跡地図の整備及び保管に関すること
6　出土品の洗浄・注記・接合・復元・実測等に関すること
7　埋蔵文化財展・埋蔵文化財発掘調査速報展に関すること
8　遺跡及び遺物等資料の貸出、掲載許可等に関すること
9　センター通信・研究紀要・埋蔵文化財年報等の刊行に関すること
10　埋蔵文化財行政調査等に関すること
11　市町村の埋蔵文化財調査・文化財展等の指導及び協力に関すること
12　埋蔵文化財発掘調査技術の研修に関すること
13　埋蔵文化財センター内外の各種会議に関すること

〔職　員〕

所　長	藤澤 英三（斎宮歴史博物館館長本務）			
総務ｸﾞﾙｰﾌﾟ	主幹（G.L）	中谷 丈治（斎宮歴史博物館本務）	主事	長谷川 登（斎宮歴史博物館本務）
	主査	牛谷 和代（斎宮歴史博物館本務）	主事	山路 裕樹（斎宮歴史博物館本務）
資料普及ｸﾞﾙｰﾌﾟ	副参事（G.L）	山澤 義貴	研修員	川合 圭子
	主幹	山田　猛	研修員	清水 実華
	主幹	倉田 直純	研修員	萩　良樹
	主事	松葉 和也		
調査第一課	主幹兼課長	田阪　仁		
	主幹	河北 秀実		
第一係	係長	筒井 正明	主事	小濱　学
	主事	宮田 勝功	技師	大川　操
	主事	中川　明	技師	角正 淳子
第二係	主査兼係長	野原 宏司	技師	新名　強
	主事	筒井 英俊	技師	水谷　豊
	主事	柴山 圭子	臨時技術職員	小林 俊之
	技師	伊藤 裕偉	臨時技術職員	豊田 祥三
	技師	原田恵理子	臨時技術職員	濱辺 一機
	技師	萩原 義彦	臨時技術職員	山岡 奈美恵
調査第二課	主幹兼課長	吉水 康夫		
	主幹	新田　洋		
第一係	主査兼係長	森川 幸雄（第四係長本務）	派遣主事	今尾 宏記（北勢町）
	技師	角正 芳浩		
第二係	主査兼係長	森川 常厚（第三係長本務）	主事	小山 健一
	主事	奥野　実		
第三係	主査兼係長	森川 常厚（第二係長兼務）	臨時技術職員	川崎 志乃
	技師	川畑由紀子	臨時技術職員	瀬野弥知世
第四係	主査兼係長	森川 幸雄（第一係長兼務）	技師	金子 智子
	主事	木野本和之	技師	穂積 裕昌
	主事	田中 久生	技師	水橋 公恵
	主事	服部 芳人	派遣主事	水谷 裕康（朝日町）
	主事	竹田 憲治	派遣主事	赤松 一秀（四日市市）
	主事	船越 重伸	臨時技術職員	田中 美穂

〔施　設〕

三重県埋蔵文化財センター

所在地　多気郡明和町竹川 503 番地　TEL 0596-52-7029・3800　FAX 0596-52-7035

HP ｱﾄﾞﾚｽ　http://www.museum.pref.mie.jp/maibun

面積　敷地面積 18,000 ㎡　建築面積 4,573 ㎡　延床面積 5,077 ㎡

構造　鉄筋コンクリート造 1 階(一部 2 階)建　＊建物は斎宮歴史博物館と共用

遺物収蔵庫

桜橋収蔵庫	津市桜橋 2 丁目 126	TEL 059-227-2465
藤方収蔵庫	津市藤方 2283-1	TEL 059-224-4560
高茶屋収蔵庫	津市高茶屋 7 丁目 3 番 46 号	TEL 059-224-4560
上野収蔵庫	上野市丸之内 117	TEL 0595-24-0079

現場整理所

国道 475 号東海環状自動車道整理所			
	員弁郡大安町片樋 2262-2	TEL 0594-78-3920	FAX 0594-78-3921
近畿自動車道名古屋神戸線(第二名神)整理所			
	四日市市伊坂町 126-1	TEL 0593-66-2688	FAX 0593-66-2689
国道 23 号中勢道路整理所	津市安東町 1213-5	TEL 059-229-2770	FAX 059-229-2771
玉城整理所	度会郡玉城町岡村 281-1	TEL 0596-58-5904	FAX 0596-58-5905

Ⅱ　平成12年度発掘調査

1 発掘調査一覧

〔全県下の発掘調査〕

調査機関		本調査			試掘調査・工事立会			総調査面積(㎡)
		遺跡数	件数	調査面積(㎡)	遺跡数	件数	調査面積(㎡)	
県	埋蔵文化財センター	25	28	63,300	89	93	22,509	85,809
県	斎宮歴史博物館	1	11	2,115	0	0	0	2,115
市町村教育委員会等		40	42	92,139	176	229	38,942	131,081
全県計		66	81	157,554	265	322	61,451	219,005

〔県埋蔵文化財センター担当の発掘調査〕

事業名		件数		調査面積(㎡)
		本調査	試掘調査・工事立会	
県事業関係	農林水産商工部関係	6	15	11,775
	県土整備部関係	13	49	16,845
	その他	0	0	0
国・公団事業関係	近畿自動車道名古屋神戸線（第二名神）建設関係	5	3	35,725
	一般国道475号東海環状自動車道建設関係	2	0	2,210
	東名阪自動車道亀山短絡線関係	0	2	312
	一般国道23号中勢道路建設関係	1	7	11,940
	国営宮川用水第二期土地改良事業関係	1	10	2,168
	近畿自動車道尾鷲勢和線	0	7	4,834
計		28	93	85,809

〔県埋蔵文化財センター担当の本調査〕　（※は国・県費補助事業）

No.	遺跡名	所在地	調査原因	費用負担	調査面積
1	広山A遺跡（旧 広山遺跡）	員弁郡東員町	一般国道475号東海環状自動車道	国土交通省	1,280
2	広山B遺跡	員弁郡東員町	一般国道475号東海環状自動車道	国土交通省	930
3	蛇谷貝塚	桑名市下深谷部町	県営ほ場整備	農林水産商工部・県教委※	200
4	城ノ広遺跡	三重郡朝日町	四日市朝日線緊急地方道路整備	県土整備部	1,300
5	伊坂遺跡	四日市市伊坂町	近畿自動車道名古屋神戸線	日本道路公団	3,250
6	西ヶ広遺跡（第4次）	四日市市伊坂町	近畿自動車道名古屋神戸線	日本道路公団	2,740
7	菟上遺跡（第2次公団）	四日市市伊坂町	近畿自動車道名古屋神戸線	日本道路公団	15,520
8	菟上遺跡（県道）	四日市市伊坂町	四日市多度線県単道路改良	県土整備部	7,600
9	伊坂城跡（第2次）	四日市市伊坂町	近畿自動車道名古屋神戸線	日本道路公団	6,140
10	河田宮ノ北遺跡	鈴鹿市河田町	かんがい排水整備	農林水産商工部・県教委※	660

No.	遺跡名	所在地	調査原因	費用負担	調査面積
11	宮ノ前遺跡	鈴鹿市十宮町	県営ほ場整備	農林水産商工部・県教委※	970
12	八重垣神社遺跡	鈴鹿市十宮町	県営ほ場整備 かんがい排水整備	農林水産商工部・県教委※	1,130
13	市場遺跡	鈴鹿郡関町	一般国道25号県単道路改良	県土整備部	1,300
14	上野城下町	上野市丸之内～恵美須町	伊賀上野橋新都市線緊急地方道路整備	県土整備部	300
15	惣作遺跡（第２次）	津市殿村	安濃川基幹河川改修工事	県土整備部	400
16	惣作遺跡	津市殿村	県営ほ場整備	農林水産商工部･県教委※	1,300
17	里前遺跡（第２次）	津市野田	県営ほ場整備	農林水産商工部･県教委※	1,300
18	山室遺跡（長持古里遺跡）	久居市新家町	一般農道整備整備事業	農林水産商工部	750
19	川口城南方遺跡	一志郡白山町	（一）白山小津線県単道路改良	県土整備部	200
20	舞出北遺跡	一志郡三雲町	一般国道23号中勢道路建設	国土交通省	3,380
21	天花寺城跡・小谷赤坂遺跡（第７次）	一志郡嬉野町	松阪一志線緊急地方道路整備	県土整備部	3,600
22	堀田遺跡（第５次）	一志郡嬉野町	松阪一志線緊急地方道路整備	県土整備部	600
23	川島遺跡	松阪市川島町	県営ほ場整備	農林水産商工部･県教委※	3,100
24	山添遺跡（第３次）	松阪市安楽町	県営ほ場整備	農林水産商工部･県教委※	1,700
25	発シＡ遺跡	多気郡明和町	国営宮川用水第二期土地改良	農林水産省	250
26	里中遺跡	度会郡玉城町	伊勢多気線緊急地方道路整備	県土整備部	1,500
27	有滝道遺跡	伊勢市村松町	伊勢松阪線県単道路改良	県土整備部	550
28	松尾前田遺跡	鳥羽市松尾町	（主）鳥羽磯部線緊急地方道路（B）整備	県土整備部	1,350

〔斎宮歴史博物館担当の本調査〕

No.	遺跡名	所在地	調査原因	費用負担	調査面積
29	斎宮跡第130　次調査	多気郡明和町	学術調査	三重県※	1,600
30	斎宮跡第131-１次調査	多気郡明和町	進入路造成工事	三重県･明和町※	68
31	斎宮跡第131-２次調査	多気郡明和町	水道管新設	三重県･明和町※	7
32	斎宮跡第131-３次調査	多気郡明和町	個人住宅新築	三重県･明和町※	3
33	斎宮跡第131-４次調査	多気郡明和町	事務所の撤去及び新築	三重県･明和町※	38
34	斎宮跡第131-５次調査	多気郡明和町	個人住宅新築	三重県･明和町※	76
35	斎宮跡第131-６次調査	多気郡明和町	個人駐車場造成盛土	三重県･明和町※	108
36	斎宮跡第131-７次調査	多気郡明和町	個人住宅の排水管埋設工事	三重県･明和町※	18
37	斎宮跡第131-８次調査	多気郡明和町	個人住宅新築	三重県･明和町※	50
38	斎宮跡第131-９次調査	多気郡明和町	個人住宅新築	三重県･明和町※	111
39	斎宮跡第131-10次調査	多気郡明和町	町道側溝の改修	三重県･明和町※	36

〔市町村担当の本調査〕

No.	遺跡名	所在地	調査原因	費用負担	調査面積
40	桑名城下町遺跡	桑名市片町	個人住宅	桑名市	159
41	桑名城下町遺跡	桑名市一色町	個人住宅	桑名市	60
42	桑名城下町遺跡	桑名市伊賀町	個人住宅	桑名市	73
43	元蔵遺跡	桑名市東金井	個人住宅	桑名市	398
44	城ノ広遺跡	三重郡朝日町	土地区画整理	事業者	7,000
45	辻子遺跡	三重郡朝日町	水路改修	事業者	1,600
46	菅野遺跡	四日市市貝家町	中部電力第二中勢南四日市線送電鉄塔建築工事	中部電力株式会社	1,800
47	西ヶ谷遺跡（第３次）	四日市市東坂部町	宅地造成	山一不動産株式会社	560

No.	遺跡名	所在地	調査原因	費用負担	調査面積
48	西ヶ谷遺跡（第４次）	四日市市東坂部町	部田川左岸２号線改良工事	四日市市	860
49	大矢知山畑遺跡	四日市市大矢知町	個人住宅	三重県・四日市※	725
50	山奥遺跡	四日市市羽津	一般国道１号北勢バイパス建設	国土交通省	200
51	梅田遺跡	鈴鹿市国府町	ほ場整備	事業者	4,270
52	伊勢国分寺跡（第 24 次）	鈴鹿市国分町	学術調査	鈴鹿市	216
53	天王屋敷遺跡	鈴鹿市岸岡町	住宅増築	鈴鹿市※	15
54	長者屋敷遺跡（第 12 次）	鈴鹿市広瀬町	学術調査	鈴鹿市※	1,143
55	一反通遺跡	鈴鹿市上野町	住宅建設	鈴鹿市※	54
56	亀山城跡（第７次）	亀山市東丸町	駅前高塚線他一線整備	三重県	350
57	亀山城跡（第８次）	亀山市東丸町	くらしの道づくり	亀山市	630
58	網中遺跡	亀山市辺法寺町	近畿自動車道名古屋神戸線	事業者	3,936
59	天王平遺跡（第６次）	桑名郡多度町	町道新設工事	多度町	250
60	塚原遺跡	員弁郡北勢町	病院建設	員弁郡土地開発公社	4,290
61	広山遺跡	員弁郡東員町	工場倉庫建設	東洋ｺﾞﾑ工業株式会社	513
62	雲出島貫遺跡	津市雲出島貫町	市道拡幅	津市	440
63	位田遺跡	津市北河路町	一般国道 23 号中勢道路建設	国土交通省	630
64	上野遺跡	久居市戸木町	宅地造成	日ノ出開発株式会社	47,000
65	川口北方遺跡	一志郡白山町	地方特定道路整備事業	白山町	1,300
66	多気北畠氏遺跡〔北畠氏館跡〕	一志郡美杉村	学術調査	三重県※・美杉村	350
67	多気北畠氏遺跡〔馬場地区〕	一志郡美杉村	山振事業に伴う建物建設	美杉村	320
68	千戸山出遺跡	阿山郡大山田村	道路新設改良	大山田村	1,300
69	国史跡上野城跡	上野市丸之内	保存整備のための学術調査	上野市	300
70	出口遺跡	上野市上之庄	コンビニエンス・ストア新築工事	事業者	170
71	宮ノ森遺跡	上野市千歳	流通センター造成	事業者	960
72	古塁砦跡・延命地蔵	名賀郡青山町	県道松阪青山線新設工事	事業者	842
73	黒石遺跡	名張市瀬古口	学術調査	緊急雇用対策市町村等補助金※	1,000
74	塚原遺跡・古墳群（10 号墳・11 号墳）	名張市蔵持町	市道赤坂夏秋橋線整備	名張市※	2,000
75	宝塚１号墳	松阪市宝塚町・光町	史跡整備	松阪市	575
76	立野城跡	松阪市立野町	土砂採取	事業者	3,000
77	金剛坂遺跡（辰ノ口地区）	多気郡明和町	宅地造成	事業者	1,170
78	川合城址	多気郡大台町	簡易水道施設移設		1,200
79	片野殿垣内遺跡（第３次）	多気郡勢和村	村史編纂	勢和村	80
80	田丸城址	度会郡玉城町	遊歩道整備	玉城町	240
81	史跡　赤木城跡及び田平子峠刑場跡	南牟婁郡紀和町	石垣等保存修理	事業者※	160

1 広山A遺跡
2 広山B遺跡
3 蛇谷貝塚
4 城ノ広遺跡
5 伊坂遺跡
6 西ヶ広遺跡
7·8 菟上遺跡
9 伊坂城跡
10 河田宮ノ北遺跡
11 宮ノ前遺跡
12 八重垣神社遺跡
13 市場遺跡
14 上野城下町
15·16 惣作遺跡
17 里前遺跡
18 山室遺跡
19 川口城南方遺跡
20 舞出北遺跡
21 天花寺城跡·小谷赤坂遺跡
22 堀田遺跡
23 川島遺跡
24 山添遺跡
25 発シA遺跡
26 里中遺跡
27 有滝道遺跡
28 松尾前田遺跡
29～39 斎宮跡
40～42 桑名城下町遺跡
43 元蔵遺跡
44 城ノ広遺跡
45 辻子遺跡
46 菅野遺跡
47·48 西ヶ谷遺跡
49 大矢知山畑遺跡
50 山奥遺跡
51 梅田遺跡
52 伊勢国分寺跡
53 天王屋敷遺跡
54 長者屋敷遺跡
55 一反通遺跡
56·57 亀山城跡
58 網中遺跡
59 天王平遺跡
60 塚原遺跡
61 広山遺跡
62 雲出島貫遺跡
63 位田遺跡
64 上野遺跡
65 川口北方遺跡
66·67 多気北畠氏遺跡
68 千戸山出遺跡
69 国史跡上野城跡
70 出口遺跡
71 宮ノ森遺跡
72 古墳砦跡·延命地蔵
73 黒石遺跡
74 塚原遺跡·古墳群
75 宝塚1号墳
76 立野城跡
77 金剛坂遺跡
78 川合城址
79 片野殿垣内遺跡
80 田丸城址
81 赤木城跡
及び田平子峠刑場跡

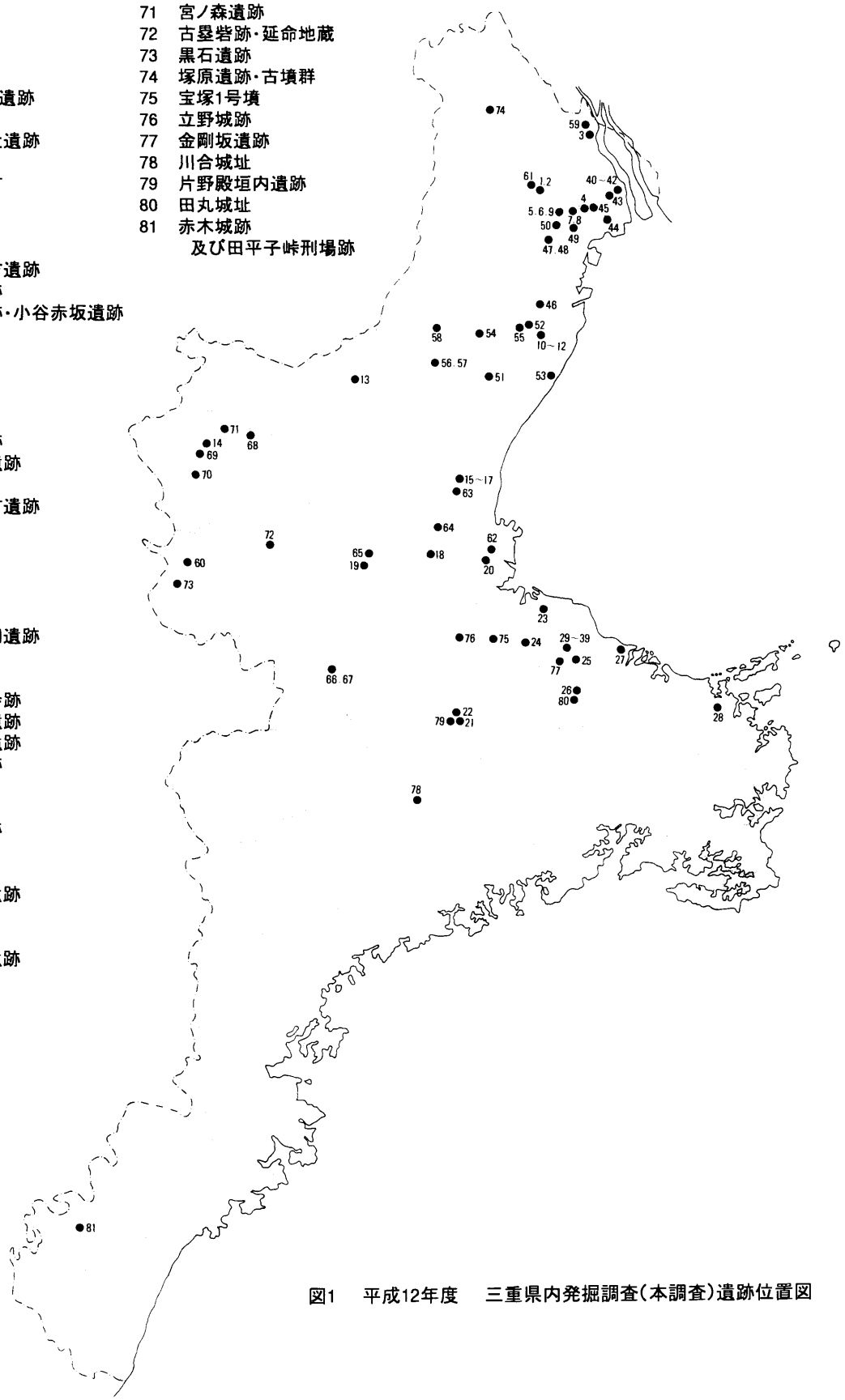


図1　平成12年度　三重県内発掘調査(本調査)遺跡位置図

2 発掘調査の概要

県（三重県埋蔵文化財センター）担当分　本調査　　※は国・県費補助事業

No.	1	遺跡名	広山A遺跡（旧 広山遺跡）	台帳番号	324－34
所在地		員弁郡東員町長深字広山ほか		事業主体	国土交通省中部地方整備局
調査原因		一般国道475号東海環状自動車道建設事業		費用負担	国土交通省中部地方整備局
調査機関		三重県埋蔵文化財センター		担当者	角正芳浩　今尾宏記
調査期間		H12. 6. 7 ～ H12. 10. 12		調査面積	1，280㎡
調査概要		飛鳥から平安時代にかけての掘立柱建物を主体とする集落遺跡で、掘立柱建物4棟、土坑3基、時期不明の水溜1基の他、埋設土器、地割溝を確認した。掘立柱建物は棟方向により、2グループに分けることができる。土坑の中には、埋土に焼土や炭化物が混ざり、掘立柱建物の厨房的な機能を持つ可能性が考えられるものもある。埋設土器は土師器甕で、底部には穿孔が施されており何らかの儀礼行為に関わる可能性がある。			
主な遺構		飛鳥～平安時代：掘立柱建物4棟・土坑3基・水溜・埋設土器			
主な遺物		土師器・須恵器・山茶椀			
関連文献		『一般国道475号東海環状自動車道 埋蔵文化財発掘調査概報Ⅵ、Ⅶ』 三重県埋蔵文化財センター 2000,2001			

No.	2	遺跡名	広山B遺跡	台帳番号	324－55
所在地		員弁郡東員町長深字広山		事業主体	国土交通省中部地方整備局
調査原因		一般国道475号東海環状自動車道建設事業		費用負担	国土交通省中部地方整備局
調査機関		三重県埋蔵文化財センター		担当者	今尾宏記　角正芳浩
調査期間		H12. 7. 5 ～ H12. 10. 6		調査面積	930㎡
調査概要		飛鳥から平安時代にかけての掘立柱建物を中心とする集落遺跡で、掘立柱建物柱6棟、柱列1条を確認した。掘立柱建物は棟方向で3グループに分けることができる。北に対しやや東を向く3棟は、柱列1条とほぼ同じ方向をとる。 調査区の南北に遺構が延びることが確認されたため、来年度以降にも調査が必要である。			
主な遺構		飛鳥～平安時代：掘立柱建物6棟・柱列1条			
主な遺物		土師器・須恵器・灰釉陶器			
関連文献		『一般国道475号東海環状自動車道 埋蔵文化財発掘調査概報Ⅵ、Ⅶ』 三重県埋蔵文化財センター 2000,2001			

No.	3	遺跡名	蛇谷貝塚	台帳番号	205－28
所在地		桑名市下深谷部町字蛇谷		事業主体	農業基盤整備課
調査原因		県営ほ場整備事業（下深谷地区）		費用負担	農林水産商工部・県教委※
調査機関		三重県埋蔵文化財センター		担当者	角正淳子　萩原義彦
調査期間		H12. 4. 24 ～ H12. 4. 28		調査面積	200㎡
調査概要		山王遺跡のすぐ東を調査。幅2mの調査のため、貝層の有無を確認したのみ。調査範囲内は現地表面下約1.8m前後で、0.8m～1mの貝層を確認。貝層からは須恵器等が出土。			
主な遺物		須恵器・灰釉陶器・陶器・貝殻			
関連文献		『蛇谷貝塚発掘調査報告』 三重県埋蔵文化財センター 2001			

No.	4	遺跡名	城ノ広遺跡 （旧称 山田遺跡）	台帳番号	343－4
所在地		三重郡朝日町柿		事業主体	道路整備課
調査原因		（主）四日市朝日線緊急地方道路整備事業		費用負担	県土整備部
調査機関		三重県埋蔵文化財センター		担当者	水谷 豊　萩 良樹
調査期間		H12. 11. 20 ～ H13. 3. 15		調査面積	1，300㎡
調査概要		朝明川左岸の丘陵南斜面に立地。標高は約50～58mである。明瞭ではないが、古墳の周溝を確認した。また、2つの円筒埴輪の口縁部を合わせた状態の埴輪棺を確認した。淡輪技法を持つ円筒埴輪、人物などの形象埴輪が出土。須恵器は杯・高杯・壺・甕・器台などが出土している。			
主な遺構		古墳周溝・埴輪棺			
主な遺物		円筒埴輪（淡輪系）・形象埴輪（人物他）・須恵器			

No.	5	遺跡名	伊坂遺跡	台帳番号	202－429
所在地		四日市市伊坂町字鐙谷・重地		事業主体	日本道路公団中部支社
調査原因		近畿自動車道名古屋神戸線(第二名神)建設事業		費用負担	日本道路公団中部支社
調査機関		三重県埋蔵文化財センター		担当者	服部芳人　田中久生　赤松一秀
調査期間		H12. 7. 1 ～ H12. 11. 24		調査面積	3, 250㎡
調査概要		文久2年(1862年)、偏平鈕式の銅鐸が出土したことで知られる遺跡である。昨年度も東名阪自動車道の東側と西側で調査を実施しており、今年度も同じく東西に2つの調査区(西地区①と東地区①)が設定された。昨年度の調査区、丘陵の北側の平坦面(北地区)で古墳時代前期の竪穴住居が4棟確認されているが、今回平坦面の南側(西地区①)でも同時期の住居が1棟検出されたことで、集落の居住域が丘陵全面に広がることが判明した。しかも、今回この時期の墓と思われる土坑墓も検出された。 また、東地区①の南側斜面で検出された土坑は、その埋土に含まれる焼土炭化物や、その所在する位置などから判断して、白鳳～天平時代の瓦窯の灰原と思われる。			
主な遺構		古墳時代前期:竪穴住居1棟・土坑墓(西地区①)、白鳳～天平時代:瓦窯の灰原(東地区①)			
主な遺物		古墳時代前期:甕・高杯・壷・小型丸底壷・刀子、古墳時代後期:須恵器杯蓋・甕、白鳳～天平時代:平瓦			
関連文献		『近畿自動車道名古屋神戸線(第二名神) 愛知県境～四日市JCT 埋蔵文化財発掘調査概報Ⅲ』 三重県埋蔵文化財センター 2000. 3			

No.	6	遺跡名	西ヶ広遺跡(第4次)	台帳番号	202－59
所在地		四日市市伊坂町字西之広・松山		事業主体	日本道路公団中部支社
調査原因		近畿自動車道名古屋神戸線(第二名神)建設事業		費用負担	日本道路公団中部支社
調査機関		三重県埋蔵文化財センター		担当者	田中久生
調査期間		H12. 10. 5 ～ H13. 1. 31		調査面積	2,740㎡
調査概要		過去の調査で、飛鳥・奈良時代の大型掘立柱建物などが検出されたことから、朝明郡衙かといわれている遺跡である。今回の調査でもその積極的根拠を得ることは出来なかったが、当該期の竪穴住居18棟、掘立柱建物8棟以上や井戸などを検出した。竪穴住居は台地北部の南向き斜面を3段に造成して建てている。他に、古墳時代後期の集石土坑6基、戦国時代の掘立柱建物、井戸、道を検出した。道は台地の下の集落と調査地の西方にある西ノ広城をつなぐものと見られる。			
主な遺構		古墳時代後期:集石土坑、飛鳥・奈良時代:竪穴住居18棟・掘立柱建物8棟以上・井戸・焼土坑、戦国時代:道1条・掘立柱建物6棟以上・井戸			
主な遺物		須恵器・土師器・灰釉陶器・山茶椀・中世陶磁器・近世陶磁器・近世瓦			
関連文献		小玉道明ほか『西ヶ広遺跡』『東名阪道路埋蔵文化財調査報告』三重県教育委員会 1970 小玉道明ほか『西ヶ広遺跡－D地区－』四日市市教育委員会 1972 片岡 博『西ヶ広遺跡(E地区)』『近畿自動車道名古屋神戸線(第二名神)愛知県境～四日市JCT埋蔵文化財発掘調査概要Ⅲ』 三重県埋蔵文化財センター 2000. 3			

No.	7	遺跡名	菟上遺跡(第2次公団)	台帳番号	202－61, 62, 247
所在地		四日市市伊坂町字菟上・牛谷		事業主体	日本道路公団中部支社
調査原因		近畿自動車道名古屋神戸線(第二名神)建設事業		費用負担	日本道路公団中部支社
調査機関		三重県埋蔵文化財センター		担当者	水谷裕康　船越重伸　赤松一秀 水橋公恵　田中美穂
調査期間		H12. 6. 16 ～ H13. 1. 12		調査面積	15, 520㎡
調査概要		弥生時代中期後半から戦国時代までの複合遺跡で、昨年度に続き2年目の調査。弥生集落の南側で、新たに方形周溝墓が発見され、集落にならんで墓域も存在したことを確認した。また、古代の掘立柱建物群は、小規模なものは発見されたものの、昨年度確認したコの字形配置の大型掘立柱建物群に対応するものは確認できなかった。			
主な遺構		方形周溝墓2基・竪穴住居・掘立柱建物・火葬墓1基・溝・土坑・谷			
主な遺物		弥生土器・石器・木器・土師器・須恵器・陶器			
関連文献		『近畿自動車道名古屋神戸線(第二名神) 愛知県境～四日市JCT 埋蔵文化財発掘調査概報Ⅲ』 三重県埋蔵文化財センター 2000. 3			

No.	8	遺跡名	菟上遺跡(県道)	台帳番号	202－61, 62, 247
所在地		四日市市伊坂町字菟上・牛谷		事業主体	道路整備課
調査原因		(主)四日市多度線県単道路改良事業		費用負担	県土整備部
調査機関		三重県埋蔵文化財センター		担当者	穂積裕昌　新名 強
調査期間		H12. 6. 16 ～ H13. 1. 12		調査面積	7, 600㎡
調査概要		公団調査区の南側に続く部分である。ここでは、方形周溝墓1基などの公団調査区と同様の遺構・遺物のほか、新たに7世紀代の横穴墓1基や、細長い尾根筋のうえに集中して中世の掘立柱建物や土坑墓などが確認できた。土坑墓のうち3基は木棺墓と推定され、白磁等も出土している。			
主な遺構		方形周溝墓1基・横穴墓1基・竪穴住居・掘立柱建物・木棺墓3基・土坑墓2基・柱列1条・谷			
主な遺物		弥生土器・石器・木器・土師器・須恵器・陶器・磁器			
関連文献		『近畿自動車道名古屋神戸線(第二名神) 愛知県境～四日市JCT 埋蔵文化財発掘調査概報Ⅲ』 三重県埋蔵文化財センター 2000. 3			

No.	9	遺跡名	伊坂城跡(第2次)	台帳番号	202－246
所在地		四日市市伊坂町字古屋敷ほか		事業主体	日本道路公団中部支社
調査原因		近畿自動車道名古屋神戸線(第二名神)建設事業		費用負担	日本道路公団中部支社
調査機関		三重県埋蔵文化財センター		担当者	木野本和之　服部芳人　赤松一秀 竹田憲治
調査期間		H12. 6. 26 ～ H13. 12. 25		調査面積	6, 140㎡
調査概要		城跡の所在する尾根の東端部分で、東名阪自動車道を挟んだ2ヶ所(東区・西区)で発掘調査を行った。東区では、3区画以上の屋敷地と屈曲する道路を検出し、西区では道路を挟んだ両側に展開する屋敷地を検出した。遺物には土師器・陶器(瀬戸美濃・常滑)・貿易陶磁が出土した。時期的には16世紀代全般のものが出土している。			
主な遺構		掘立柱建物・柵・土坑・溝・土塁・道路			
主な遺物		土師器・陶器(瀬戸美濃・常滑)・貿易陶磁・石製品・獣骨など			
関連文献		『近畿自動車道名古屋神戸線(第二名神) 愛知県境～四日市JCT 埋蔵文化財発掘調査概報Ⅲ』 三重県埋蔵文化財センター 2000. 3			

No.	10	遺跡名	河田宮ノ北遺跡	台帳番号	207－未登録
所在地		鈴鹿市河田町字宮ノ北		事業主体	農業基盤整備課
調査原因		かんがい排水整備事業(鈴鹿川沿岸地区)		費用負担	農林水産商工部・県教委※
調査機関		三重県埋蔵文化財センター		担当者	伊藤裕偉　濵辺一機　豊田祥三 清水実華
調査期間		H12. 11. 16 ～ H13. 1. 29		調査面積	660㎡
調査概要		標高約11mの低地部。調査区のベースは、古墳時代以前に存在した河川によって形成された砂礫層および粘土である。遺構面は2面ある。第1面では、鎌倉時代の溝を確認。南に隣接する川神社の外郭を画する溝と考えられる。第2面では、古墳時代の旧河道(東西方向)を確認した。旧河道は最下層・下層・上層に分かれ、それを奈良時代頃の河道がさらに重なっている。旧河道下層は腐植土層で、5世紀末～6世紀前葉にかけての大量の土器・木製品を包含していた。			
主な遺構		旧河道(古墳時代中期～奈良時代)・溝(中世前期)			
主な遺物		木製品(頭椎大刀の把頭・笊状編み物・ナスビ形鋤先・平鍬・一木鋤・紡績具・穂摘み具・刀形・鏃形・建築部材・田下駄など)・須恵器(鈴付高杯あり)・土師器(台付甕・壺・小形鉢など)・有孔円盤・石製紡錘車・馬骨ほか獣骨・貝類など多数多量			

No.	11	遺跡名	宮ノ前遺跡	台帳番号	207－855
所在地		鈴鹿市十宮町字宮ノ前		事業主体	農業基盤整備課
調査原因		県営ほ場整備事業(河曲中部地区)		費用負担	農林水産商工部・県教委※
調査機関		三重県埋蔵文化財センター		担当者	伊藤裕偉　豊田祥三　清水実華
調査期間		H13. 1. 15 ～ H13. 3. 14		調査面積	970㎡
調査概要		標高約11mの自然堤防上。古墳時代前期・中後期、奈良時代、中世前期の遺構・遺物を確認。古墳時代前期では、竪穴住居5棟以上、溝、旧河道を確認。溝からは、非常に良好な一括資料が出土した。古墳時代後期では、炭と土器を多量に含んだ土坑を6基確認。そのうちの1基からは、供献土器(須恵器)を添えた馬の下顎骨が出土。中世前期では、旧河道を確認。現在の地表に残る畦道とほぼ沿っていた。			
主な遺構		竪穴住居5棟以上・溝・旧河道(古墳前期)・土坑(古墳後期)・旧河道(中世前期)			
主な遺物		土師器(台付甕・小形鉢・甑・壺・高杯など)・須恵器・土玉・鋳造鉄斧(古墳後期)			

No. 12	遺跡名	八重垣神社遺跡	台帳番号	207－1174
所在地	鈴鹿市十宮町字宮ノ前		事業主体	農業基盤整備課
調査原因	県営ほ場整備事業(河曲中部地区)・かんがい排水整備事業(鈴鹿川沿岸地区)		費用負担	農林水産商工部・県教委※
調査機関	三重県埋蔵文化財センター		担当者	伊藤裕偉　豊田洋三　清水実華
調査期間	H13. 1. 26 ～ H13. 3. 14		調査面積	1,130㎡
調査概要	標高約11mの自然堤防上。宮ノ前遺跡と一連と考えられる遺跡。古墳時代前期・中後期、奈良時代、中世前期の遺構・遺物を確認。古墳時代前期では、旧河道を確認。肩部から土器がまとまって出土している。古墳時代後期では、宮ノ前遺跡と同様な炭と土器を多量に含んだ土坑を2基確認。また、古墳時代前期の河道に併行する溝(流路？)もある。奈良時代では、掘立柱建物2棟を確認。中世前期では、宮ノ前遺跡から連続する旧河道を確認。			
主な遺構	旧河道(古墳前期)・土坑・溝(古墳後期)・掘立柱建物(奈良)・旧河道(中世前期)			
主な遺物	土師器(台付甕・小形鉢・甑・壺・高杯など)・須恵器			

No. 13	遺跡名	市場遺跡	台帳番号	361－7
所在地	鈴鹿郡関町加太字市場		事業主体	道路整備課
調査原因	一般国道25号県単道路改良事業		費用負担	県土整備部
調査機関	三重県埋蔵文化財センター		担当者	角正淳子　濵辺一機　萩　良樹
調査期間	H12. 6. 12 ～ H12. 9. 26		調査面積	1，300㎡
調査概要	加太川左岸に立地する。鹿伏兎城跡の麓を調査。鎌倉時代～近世にかけての遺構を確認。掘立柱建物は方向をそろえて建てられていると見られ、鹿伏兎氏との関連がうかがわれる。			
主な遺構	中世:溝・掘立柱建物・土坑、近世:石垣			
主な遺物	山茶椀・瓦器・土師器皿・陶器・瓦質土器・青磁・白磁			

No. 14	遺跡名	上野城下町	台帳番号	206－1230
所在地	上野市丸之内～恵美須町		事業主体	まちづくり推進課
調査原因	伊賀上野橘新都市線緊急地方道路整備事業		費用負担	県土整備部
調査機関	三重県埋蔵文化財センター		担当者	新名　強　濵辺一機
調査期間	H12. 11. 20 ～ H13. 1. 30		調査面積	300㎡
調査概要	上野城下町の東大手通り西側部分を調査。A地区では、4箇所で床面に粘土を貼った土間状遺構を検出し、そのうちの1つでは碗形鉄滓や鞴羽口が出土し、精錬鍛冶に伴う作業場であろうと思われる。また、石積みの溝やかわらけの間に石を挟んで埋納した祭祀遺構も検出。B地区では大半の部分で建物基礎による削平を受けるが、土坑より多量の陶磁器が出土。江戸後期～幕末期の遺構と考えられる。			
主な遺構	柱穴・溝・土坑・石積み・土間状遺構・鍛冶関連遺構			
主な遺物	土師器皿・陶器擂鉢・天目茶碗・皿・磁器碗・急須・鞴羽口・鉄滓			
関連文献	福井健二著『上野城郭図集』日本城郭友の会・城郭文庫 1974 西澤裕幸『上野城下町発掘調査報告－野崎新平下屋敷跡－』上野市教育委員会・上野市遺跡調査会 1999			

No. 15	遺跡名	惣作遺跡(第2次)	台帳番号	201－827
所在地	津市殿村		事業主体	河川課
調査原因	二級河川安濃川(三泗川工区)基幹河川改修工事		費用負担	県土整備部
調査機関	三重県埋蔵文化財センター		担当者	柴山圭子　山岡奈美恵
調査期間	H12. 11. 27 ～ H13. 1. 23		調査面積	400㎡
調査概要	安濃川中流域右岸の自然堤防上に立地する。弥生時代中期前半の土坑や溝、時期は不明であるが掘立柱建物を一棟確認した。			
主な遺構	弥生時代:土坑・溝、時期不明:掘立柱建物			
主な遺物	弥生土器・石鏃(サヌカイト)			

No.	16	遺跡名	惣作遺跡	台帳番号	201－824
所在地	津市殿村字惣作			事業主体	農業基盤整備課
調査原因	県営ほ場整備事業(津中部地区)			費用負担	農林水産商工部・県教委※
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	水谷 豊　宮田勝功　萩 良樹　川合圭子 清水実華
調査期間	H12. 6. 12 ～ H12. 12. 28			調査面積	1, 300㎡
調査概要	安濃川右岸の自然堤防上に立地。弥生時代中期の方形周溝墓、飛鳥・奈良時代の掘立柱建物、井戸、土坑、溝などを検出した。井戸・土坑からは、奈良時代土師器杯・椀・甕、須恵器杯などが大量に出土した。				
主な遺構	弥生時代中期:方形周溝墓(2基)、飛鳥・奈良時代:掘立柱建物・井戸・土坑・溝				
主な遺物	弥生土器・土師器・須恵器・斎串				

No.	17	遺跡名	里前遺跡(第2次)	台帳番号	201－761
所在地	津市野田字里前			事業主体	農業基盤整備課
調査原因	県営ほ場整備事業(津中部地区)			費用負担	農林水産商工部・県教委※
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	水谷 豊　宮田勝功　萩 良樹　川合圭子 清水実華
調査期間	H12. 6. 12 ～ H12. 12. 28			調査面積	1, 300㎡
調査概要	岩田川左岸の沖積地に立地。調査区はA～Dの4ヶ所に分かれ、A・B地区からは自然流路から弥生後期～近世にかけての遺物が出土している。微高地上に位置するC・D地区からは多くのピットのほか、井戸、墓などを検出した。いずれの調査区からも、結桶や曲物の残存する井戸を確認した。				
主な遺構	弥生土器・土師器・須恵器・陶器・木製品				
主な遺物	井戸6基(中世)・中世墓・土坑・溝・ピット多数				
関連文献	『一般国道23号中勢道路埋蔵文化財発掘調査概報ＸＩ』				

No.	18	遺跡名	山室遺跡(長持古里遺跡)	台帳番号	213－207・(未登録)
所在地	久居市新家町			事業主体	農山漁村振興課
調査原因	一般農道整備事業(久居東部二期地区)			費用負担	農林水産商工部
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	中川 明　山岡奈美恵
調査期間	H13. 1. 15 ～ H13. 2. 20			調査面積	750㎡
調査概要	標高7mの畑地から中世墓に関連する遺構を検出。土坑から鎌・釘が多数出土した。				
主な遺構	掘立柱建物・土坑・溝				
主な遺物	土師器鍋・皿・山茶椀・山皿・鎌・釘				

No.	19	遺跡名	川口城南方遺跡	台帳番号	404－未登録
所在地	一志郡白山町川口			事業主体	道路整備課
調査原因	(一)白山小津線県単道路改良事業			費用負担	県土整備部
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	野原宏司　萩 良樹　川合圭子 清水実華　新名 強
調査期間	H12. 9. 27 ～ H12. 10. 4、H13. 2. 27			調査面積	200㎡
調査概要	川口城南東部を流れる弁天川の両岸部分を調査。A地区では明確な遺構は検出できなかったが、瀬戸焼の皿や寛永通寶が出土している。B地区では、根石を持つものを含む多数の柱穴を検出した。陶器捏鉢等が出土していることから、中世後期の集落跡と考えられる。				
主な遺構	柱穴・溝・土坑				
主な遺物	土師器・瓦器・陶器皿・捏鉢・擂鉢・銭(寛永通寶)				

No. 20	遺跡名	舞出北遺跡	台帳番号	407－1
所在地	一志郡三雲町舞出字西沖		事業主体	国土交通省中部地方整備局
調査原因	一般国道23号中勢道路建設事業		費用負担	国土交通省中部地方整備局
調査機関	三重県埋蔵文化財センター		担当者	川畑由紀子　川崎志乃　瀬野弥知世
調査期間	H12. 5. 15 ～ H12. 12. 1		調査面積	3, 380㎡(二面)
調査概要	弥生時代後期の周溝墓は地山を削り出し、低い墳丘を持つ。墳丘裾に土器棺が別個体の土器片で蓋をし、横位で出土した。 また、古墳時代後期の円墳は墳丘が比較的良好に残存しており、墳丘テラス面上に埴輪列の掘り形(布掘り)が検出できた。また、埴輪列の外側には等間隔に杭跡が確認でき、土層観察・配置などから木製埴輪の痕跡と判断した。木製埴輪樹立状態の分かる好例といえる。			
主な遺構	弥生時代後期:周溝墓1・土器棺1、古墳時代後期:方墳2・円墳1(主体部あり)、奈良時代:区画溝・掘立柱建物3(内、総柱建物1)			
主な遺物	弥生土器広口壺(土器棺サギ・竜などの絵画土器)高杯・壺類、土師器高杯・台付甕類、須恵器蓋杯・高杯・壺類、埴輪(円筒・朝顔・家形)、須恵器杯・土師器Ⅲ・土馬(須恵質)			
関連文献	『一般国道23号中勢道路埋蔵文化財発掘調査概報ⅩⅡ』 三重県埋蔵文化財センター 2000 『一般国道23号中勢道路埋蔵文化財発掘調査概報ⅩⅢ』 三重県埋蔵文化財センター 2001			

No. 21	遺跡名	天花寺城跡・小谷赤坂遺跡(第7次)	台帳番号	405－82, 83, 85, 86, 90, 307, 391
所在地	三重県一志郡嬉野町天花寺地内		事業主体	道路整備課
調査原因	(主)松阪一志線緊急地方道路整備事業		費用負担	県土整備部
調査機関	三重県埋蔵文化財センター 調査第一課		担当者	大川 操　豊田祥三　山岡奈美恵
調査期間	H12. 6. 13 ～ H12. 12. 20		調査面積	3, 600㎡
調査概要	中村川左岸の丘陵上に立地する。これまで6次の調査を実施している。天花寺城跡・小谷赤坂遺跡から弥生時代後期の竪穴住居を検出し、当該時期の集落の広がりが確認できた。また小谷古墳群の中の3古墳について埋葬施設の調査を実施し、良好な埋葬施設と副葬鉄器・土器の実態が明らかとなった。			
主な遺構	天花寺城跡・小谷赤坂遺跡:弥生時代後期初頭の竪穴住居3棟、古墳～奈良時代の土坑・掘立柱建物等を検出。 小谷古墳群:[小谷9号墳]埋葬施設5基を検出。[小谷12号墳]埋葬施設2基を検出。[小谷24号墳]埋葬施設2基を検出。			
主な遺物	弥生土器壺・甕・高杯・須恵器杯・杯蓋・壺・土師器丸底壺・鉄製鹿角装刀子・鏃			
関連文献	『天花寺丘陵内遺跡群』 三重県埋蔵文化財センター 1996 『天花寺丘陵内遺跡群Ⅱ』 三重県埋蔵文化財センター 1997 『天花寺丘陵内遺跡群Ⅳ』 三重県埋蔵文化財センター 2000			

No. 22	遺跡名	堀田遺跡(第5次)	台帳番号	405－224
所在地	一志郡嬉野町宮古字築山		事業主体	道路整備課
調査原因	(主)松阪一志線緊急地方道路整備事業		費用負担	県土整備部
調査機関	三重県埋蔵文化財センター		担当者	中川 明　濱辺一機
調査期間	H12. 10. 18 ～ H12. 4		調査面積	600㎡
調査概要	第4次調査区の西隣の水田から奈良時代の掘立柱建物を検出。使用された柱材も確認した。4次調査区から連続する溝で、土師器が多数出土した。			
主な遺構	掘立柱建物1棟・流路・溝・土坑			
主な遺物	土師器杯・土師器高杯・甕・軒丸瓦			
関連文献	『堀田遺跡(第3次)発掘調査概報』 三重県埋蔵文化財センター 1997.3			

No.	23	遺跡名	川島遺跡	台帳番号	204－834
所在地		松阪市川島町古屋敷・道場・奥垣内・塩角		事業主体	農業基盤整備課
調査原因		県営ほ場整備事業(機殿下地区)		費用負担	農林水産商工部・県教委※
調査機関		三重県埋蔵文化財センター		担当者	小濵　学　川合圭子　小林俊之
調査期間		H12. 10. 25 ～ H13. 3. 1		調査面積	3，100㎡
調査概要		川島遺跡は櫛田川下流域に広がる沖積低地に立地している。調査によって確認した掘立柱建物群のなかには庇をもつ建物(室町時代)があり、旧宏徳寺に関連する遺構と考えられる。また、遺跡周辺には門前、毘沙門などの寺院あるいは門前町の存在が想定できる小字名がみられ、中世の集落が広がることが考えられる。			
主な遺構		竪穴住居1棟・掘立柱建物11棟・土坑45基・井戸5基・溝70条(奈良～江戸時代)			
主な遺物		弥生土器片・古式土師器片・須恵器(杯・杯身・高杯)・土師器(杯・皿・甕・鍋・羽釜など)・陶器(山茶椀・山皿・近世陶器など)・磁器			
関連文献		松阪市史第2巻考古			

No.	24	遺跡名	山添遺跡(第3次)	台帳番号	204－352
所在地		松阪市安楽町ほか		事業主体	農業基盤整備課
調査原因		県営ほ場整備事業(櫛田上地区)		費用負担	農林水産商工部・県教委※
調査機関		三重県埋蔵文化財センター		担当者	柴山圭子　小濵　学　小林俊之
調査期間		H12. 6. 19 ～ H12. 10. 17		調査面積	1，700㎡
調査概要		櫛田川左岸の沖積平野上に立地する。縄文時代中期の竪穴住居や土壙墓、室町時代の溝や井戸などを確認した。また、埴輪片の出土する溝も検出したが、この地域に存在したとされる『車塚』との関連が考えられる。			
主な遺構		縄文時代:竪穴住居・土壙墓、中世:溝・土坑・井戸・柱列			
主な遺物		縄文土器・石鏃(サヌカイト)・土師器・須恵器・埴輪片・軒丸瓦			
関連文献		『山添遺跡発掘調査報告』 三重県埋蔵文化財センター 1979 『山添遺跡(第2次)・里中遺跡ほか』 三重県埋蔵文化財センター 1997			

No.	25	遺跡名	発シA遺跡	台帳番号	442－213
所在地		多気郡明和町有爾中字発シ・平田・高田		事業主体	農林水産省東海農政局
調査原因		国営宮川用水第二期土地改良事業		費用負担	農林水産省
調査機関		三重県埋蔵文化財センター		担当者	小山憲一
調査期間		H12. 9. 28 ～ H12. 10. 27		調査面積	250㎡
調査概要		遺跡の南縁辺部を調査した結果、自然流路1条と井戸1基を検出。自然流路からは、弥生～平安時代の土器片が多数出土したが、大部分が奈良～平安時代の土師器である。また、出土遺物僅少のため時期不詳であるが、底部が方形を呈した井戸は、腐朽或いは抜き取りにより遺存しなかったものの、井戸枠が当初設置されていた可能性がある。			
主な遺構		自然流路1条・井戸1基			
主な遺物		土師器(椀・注口付椀・皿・杯・甕など)・須恵器(杯蓋・杯身など)・山茶椀など			
関連文献		『三重県埋蔵文化財年報3』 三重県教育委員会 1972 、『土師器とその窯』 皇学館大学考古学研究会 1986			

No.	26	遺跡名	里中遺跡	台帳番号	461－未登録
所在地		度会郡玉城町野篠		事業主体	道路保全課
調査原因		(主)伊勢多気線緊急地方道路整備事業		費用負担	県土整備部
調査機関		三重県教育委員会		担当者	萩原義彦　筒井英俊
調査期間		H12. 11. 13 ～ H13. 2. 13		調査面積	1，500㎡
調査概要		今回の調査では、竪穴住居・掘立柱建物・井戸・溝・土坑を確認できた。このことから、弥生時代から中世を経て現代に至る集落の存在が明らかになった。特に弥生時代後期の竪穴住居を確認できたことは大きな成果だと思われる。これらの遺構・遺物は、調査区外、現在の民家側の南方に広がり、仲垣内・月よべ・赤垣内遺跡との結び付きを推察でき、弥生後期に野篠で人々が生活を始めていた姿を想像できる。			
主な遺構		竪穴住居・掘立柱建物・塀(柵)・井戸・溝・土坑			
主な遺物		弥生土器・土師器・須恵器・山茶椀			
関連文献		小玉道明『昭和48年県営圃場整備事業地域埋蔵文化財発掘調査報告』三重県教育委員会 1979			

No.	27	遺跡名	有滝道遺跡	台帳番号	203－146
所在地		伊勢市村松町字有滝道・藤治垣内		事業主体	道路整備課
調査原因		(主)伊勢松坂線県単道路改良事業		費用負担	県土整備部
調査機関		三重県埋蔵文化財センター		担当者	伊藤裕偉　小林俊之
調査期間		H12. 6. 12 ～ H12. 7. 14		調査面積	550㎡
調査概要		海岸から3本目の砂堆上に立地。遺構としては、近世～近代の溝や落ち込みのみで、とくに目立ったものはない。当地の砂堆は、調査区北部にある旧河道から土砂の供給を受けて形成されたことが判明。			
主な遺構		溝(近世)・落ち込み			
主な遺物		須恵器・土師器(古墳時代後期初頭。ただし、遺構とは無関係)、近世・近代陶磁器			

No.	28	遺跡名	松尾前田遺跡	台帳番号	211－333
所在地		鳥羽市松尾町前田		事業主体	道路整備課
調査原因		(主)鳥羽磯部線緊急地方道路(B)整備事業		費用負担	県土整備部
調査機関		三重県教育委員会		担当者	中川 明　筒井英俊
調査期間		H12. 6. 12 ～ H12. 9. 8		調査面積	1，350㎡
調査概要		今回の調査では、調査区の東南側で住居跡を確認し、奈良時代から鎌倉時代にかけての集落の存在が明らかになった。また、それらを遡る縄文時代初めの土坑を確認できたことは大きな成果と言える。遺物では、縄文土器(無文土器)や石器(石鏃・削器を含む剥片56点)が出土した。これらの遺構、遺物は、さらに調査区外、現在の民家側の南方に広がる可能性が考えられる。			
主な遺構		土坑・竪穴住居・掘立柱建物・溝・ピット			
主な遺物		石器チャート製剥片・石鏃・削器、縄文土器無文土器片・土師器鍋片・灰釉陶器椀・山茶椀片・常滑甕			
関連文献		『鳥羽市史』鳥羽市役所鳥羽市編さん室 1991 『松尾前田遺跡発掘調査報告』2001.3			

県（斎宮歴史博物館）担当分　本調査

※は国・県費補助事業

No.	29	遺跡名	斎宮跡第130次調査	台帳番号	442－210
所在地	多気郡明和町斎宮字西加座2692・2693ほか			事業主体	三重県教育委員会
調査原因	学術調査			費用負担	国※・県
調査機関	斎宮歴史博物館			担当者	泉　雄二　大川勝宏　西村美幸
調査期間	H12. 5. 8 ～ H12. 11. 15			調査面積	1,600㎡
調査概要	斎宮跡方格地割の東から3列目で北端の西加座北区画での調査である。当該区画は、中央部を幅約10mの南北道路が区画を二分し、西区画で桁行5間、梁間2間の東西棟掘立柱建物が、約30mの間隔をおいて南北に4棟、東西に2列計8棟が整然と建てられており、「寮庫」と推定されている。第130次調査は、この東区画で実施したものであり、平安時代初期の桁行5間、梁間2間の東西棟掘立柱建物建物4棟等を確認し、西区画と同様な建物配置をとることが明らかになった。				
主な遺構	掘立柱建物39棟・井戸3基・土坑				
主な遺物	土師器・須恵器・和同開珍5点・緑釉（椀・皿・唾壺・香炉蓋）・墨書土器「寺」「應」・円面硯2点・ミニチュア土器				
関連文献	史跡斎宮跡第130次発掘調査（西加座地区）現地説明会資料				

No.	30	遺跡名	斎宮跡第131－1次調査（6AAO）	台帳番号	442－210
所在地	多気郡明和町竹川741			事業主体	明和町教育委員会
調査原因	進入路造成工事			費用負担	国※・県・町
調査機関	斎宮歴史博物館			担当者	西村美幸
調査期間	H12. 4. 7			調査面積	68㎡
調査概要	祓川右岸の氾濫原に位置する調査地で、現況は水田となっている。遺構確認面までの層序は、Ⅰ層；耕作土、Ⅱ層；床土、Ⅲ層；浅黄色粘質土、Ⅳ層灰色粗砂となり、現地表面から0.2～0.4mの深さである。検出された遺構は、調査区の南地区で東西方向（E40° S）に延びる幅約1.4m、深さ約0.4mの溝1条で、江戸時代後半の埋没と考えられる。				
主な遺構	溝				
主な遺物	近世陶磁器・土師器				

No.	31	遺跡名	斎宮跡第131-2次調査（6ACQ）	台帳番号	442－210
所在地	多気郡明和町竹川282-1			事業主体	明和町教育委員会
調査原因	水道管新設			費用負担	国※・県・町
調査機関	斎宮歴史博物館			担当者	大川勝宏
調査期間	H12. 8. 21			調査面積	7㎡
調査概要	旧参宮街道の北側に位置する消防車庫新設に伴う、水道管埋設による調査であったが、埋設の深さ約80cmでは、遺構面に達せず現状変更が盛土内におさまり、遺構の確認にはいたらなかった。				

No.	32	遺跡名	斎宮跡第131-3次調査（6AEU）	台帳番号	442－210
所在地	多気郡明和町斎宮			事業主体	明和町教育委員会
調査原因	個人住宅新築			費用負担	国※・県・町
調査機関	斎宮歴史博物館			担当者	大川勝宏
調査期間	H12. 7. 5			調査面積	3㎡
調査概要	調査地は、方格地割「鈴池東区画」西端近くに位置し、旧参宮街道南側の住宅密集地での新築に伴う現状変更調査である。建物基礎にあたる6箇所を1m×1mのグリッドを設定して調査を実施した。南側の3箇所のグリッドで溝が部分的に確認された。北側3箇所のグリッドは、基礎工事が遺構確認面には達しなかった。				
主な遺構	溝				

No.	33	遺跡名	斎宮跡第131-4次調査(6AFJ-A)	台帳番号	442－210
所在地		多気郡明和町斎宮2773-1		事業主体	明和町教育委員会
調査原因		事務所の撤去及び新築		費用負担	国※・県・町
調査機関		斎宮歴史博物館		担当者	大川勝宏
調査期間		H12. 8. 28		調査面積	38㎡
調査概要		第131-4次調査は、方格地割の中枢部に位置する「西加座南区画」とその西に位置する「柳原区画」の間を南北に延びる区画間道路推定地にあたる。事務所建築の基礎部分9箇所のグリッド調査である。小規模な溝、ピットが確認できたが、遺構密度は薄い。			
主な遺構		溝・ピット			
主な遺物		土師器・須恵器			

No.	34	遺跡名	斎宮跡第131-5次調査(6AGD-I)	台帳番号	442－210
所在地		多気郡明和町斎宮字東前沖		事業主体	明和町教育委員会
調査原因		個人住宅新築		費用負担	国※・県・町
調査機関		斎宮歴史博物館		担当者	駒田利治
調査期間		H12. 9. 21 ～ H12. 9. 22		調査面積	76㎡
調査概要		調査地は、方格地割北側の住宅地内に位置し、標高9.2mの旧表土上に盛土が0.5mなされている。旧表土から遺構確認面までの深さは約0.5mである。遺構面は、標高8.8mで平坦で、明黄褐色粘土層上面で検出され、平安時代後期以降の溝8条及び土坑1基が確認された。ただ、今回の調査は、現状変更における不同沈下に対する対応方法の一つとして、遺構を検出を最小限に止め、埋め戻しに土壌改良を加える方法を試みとしたため、遺構は完全に掘りきっていない。			
主な遺構		溝8条・土坑1基			
主な遺物		土師器・山茶椀			

No.	35	遺跡名	斎宮跡第131-6次調査(6AFC-M)	台帳番号	442－210
所在地		多気郡明和町斎宮字東前沖		事業主体	明和町教育委員会
調査原因		個人駐車場造成盛土		費用負担	国※・県・町
調査機関		斎宮歴史博物館		担当者	泉 雄二
調査期間		H12. 9. 19 ～ H12. 9. 21		調査面積	108㎡
調査概要		方格地割北側で第二次大戦時に軍施設が建設されていた地区に位置する。史跡北辺を大きく湾曲して巡る鎌倉時代の大溝が想定される地区でもある。調査の結果、大溝は調査区外に位置すると考えられ、調査区内では鎌倉時代の溝2条と礫を敷いたと考えられる道路状遺構1条等を確認した。			
主な遺構		溝3条・道路状遺構1条			
主な遺物		土師器・須恵器・山茶椀			

No.	36	遺跡名	斎宮跡第131-7次調査(6ACO-F)	台帳番号	442－210
所在地		多気郡明和町斎宮		事業主体	明和町教育委員会
調査原因		個人住宅の排水管埋設工事		費用負担	国※・県・町
調査機関		斎宮歴史博物館		担当者	西村美幸
調査期間		H12. 9. 26 ～ H12. 9. 27		調査面積	18㎡
調査概要		第131-7次調査は、史跡西部の旧参宮街道北側の住宅密集地内で実施した排水管埋設工事に伴う調査である。南北延長27m、幅0.6mで調査区を設定したが、南半分は埋設の深さが遺構面に達せずにすんだ。北半分では、平安時代の東西方向の溝4条と近代の土坑2基が確認された。			
主な遺構		溝4条・土坑2基			
主な遺物		土師器			

No.	37	遺跡名	斎宮跡第131-8次調査(6AER-J)	台帳番号	442－210
所在地		多気郡明和町斎宮		事業主体	明和町教育委員会
調査原因		個人住宅新築		費用負担	国※・県・町
調査機関		斎宮歴史博物館		担当者	天野秀昭
調査期間		H13. 1. 15 ～ H13. 1. 19		調査面積	50㎡
調査概要		第131-8次調査地は、方格地割の「牛葉西区画」北側で、近鉄線の南に隣接する位置にある。調査区は、東西約11m、南北約4.5mで設定し、遺構面は表土下約0.4mで、標高約11mである。調査の結果、平安時代の東西方向に延びる溝3条と南北方向の溝2条及び樹木の抜根痕と思われるピット等を確認した。			
主な遺構		溝5条			
主な遺物		土師器・須恵器			

No.	38	遺跡名	斎宮跡第131-9次調査(6AED-S)	台帳番号	442－210
所在地		多気郡明和町斎宮字篠林		事業主体	明和町教育委員会
調査原因		個人住宅新築		費用負担	国※・県・町
調査機関		斎宮歴史博物館		担当者	宇河雅之
調査期間		H13. 1. 16 ～ H13. 1. 23		調査面積	111㎡
調査概要		第131-9次調査地は、「斎王の森」北約100mの民家に隣接する標高約10.6mの畑地である。調査区は、東西約7.4m、南北15mに設定し、遺構面までの深さは約0.6mで、遺構確認面は南側で約10m、北側で約9.8mと緩く北へ傾斜している。人為的な遺構は皆無であり、かなり大きな樹林帯であったようで、大きな風倒木を十数箇所確認した。		

No.	39	遺跡名	斎宮跡第131-10次調査(6ACM)	台帳番号	442－210
所在地		多気郡明和町竹川地内		事業主体	明和町教育委員会
調査原因		町道側溝の改修		費用負担	国※・県・町
調査機関		斎宮歴史博物館		担当者	大川勝宏
調査期間		H13. 1. 11		調査面積	36㎡
調査概要		第131-10次調査地は、史跡西部の旧参宮街道北側で斎宮小学校から南に延びる道路西側の側溝である。調査区は、南北長約44.3m、幅約0.8mで実施し、改修工事の深さが0.65mであったため、江戸時代の包含層の調査にとどまった。			

市町村担当分　本調査　　※は国・県費補助事業

No. 40	遺跡名	桑名城下町遺跡	台帳番号	205－99
所在地	桑名市片町		事業主体	
調査原因	個人住宅		費用負担	桑名市教育委員会
調査機関	桑名市教育委員会		担当者	斉藤　理
調査期間	H12. 10. 5. ?6		調査面積	159㎡
調査概要	調査地は近世から存在する春日神社の青銅製鳥居の東に近接する。掘削深度に制限があったため、幕末ないしはそれ以降も生活が営まれていたと思われる遺構を検出したのみである。			
主な遺構	礎石・土坑			
主な遺物	瀬戸美濃・肥前陶磁器・土師器・寛永通宝・魚骨・獣骨			

No. 41	遺跡名	桑名城下町遺跡	台帳番号	205－99
所在地	桑名市一色町		事業主体	大和ハウス工業(株)
調査原因	個人住宅		費用負担	桑名市教育委員会
調査機関	桑名市教育委員会		担当者	斉藤　理
調査期間	H12. 8. 17・?19		調査面積	60㎡
調査概要	掘削深度に制約があったため、幕末頃の遺構面を検出するにとどまった。アサリ・ハマグリ・カキ殻等の充てんした土坑2基と叩きしめたと思われる土間状の遺構等を検出した。			
主な遺構	土坑・土間状遺構			
主な遺物	瀬戸美濃・肥前陶磁器・土師器・小柄			

No. 42	遺跡名	桑名城下町遺跡	台帳番号	205－99
所在地	桑名市伊賀町		事業主体	個人
調査原因	個人住宅		費用負担	桑名市教育委員会
調査機関	桑名市教育委員会		担当者	水谷芳春　平野亜紀
調査期間	H12. 9. 13		調査面積	73㎡
調査概要	幕末以降と考えられる溝と、区画のためと思われる石積が検出された。掘削深度に制限があったため、詳細は不明である。溝埋土には、シジミ・アサリ・ハマグリ等が多く含まれていた。			
主な遺構	瀬戸美濃・肥前陶磁器・瓦			

No. 43	遺跡名	元蔵遺跡	台帳番号	205－120
所在地	桑名市大字東金井字古屋敷		事業主体	積水ハウス(株)四日市営業所
調査原因	個人住宅		費用負担	桑名市教育委員会
調査機関	桑名市教育委員会		担当者	水谷芳春
調査期間	H12. 9. 18		調査面積	398㎡
調査概要	遺構・遺物なし			

No. 44	遺跡名	城ノ広遺跡	台帳番号	343－4
所在地	三重郡朝日町大字柿		事業主体	朝日町柿土地区画整理組合
調査原因	土地区画整理事業		費用負担	事業者
調査機関	朝日町教育委員会		担当者	浅川充弘　竹内弘光
調査期間	H12. 8. 8 ～ H13. 5. 30(予定)		調査面積	7，000㎡
調査概要	調査地は、朝明川左岸丘陵の南斜面に位置している。遺構からは6世紀を中心に奈良時代までの須恵器が多く出土している。古墳は、削平された前方後円墳で、時期としては6世紀中頃と考えられる。他に掘立柱建物跡や竪穴住居跡が確認された。			
主な遺構	古墳周溝・掘立柱建物跡・竪穴住居跡・土坑			
主な遺物	埴輪片・耳環・須恵器・土師器			

No. 45	遺跡名	辻子遺跡	台帳番号	343－19
所在地	三重郡朝日町大字埋縄		事業主体	朝日町
調査原因	水路改修事業		費用負担	事業者
調査機関	朝日町教育委員会		担当者	浅川充弘　竹内弘光
調査期間	H12. 4. 12 ～ H12. 12. 27(予定)		調査面積	1，600㎡
調査概要	三重県埋蔵文化財センターが調査したC地区の北側、1－⑥地区南側を調査。古墳時代前期の溝、平安時代末期～鎌倉時代の土坑、溝を検出した。			
主な遺構	土坑・溝・ピット			
主な遺物	土師器・須恵器・山茶碗・木製品			
関連文献	『近畿自動車道名古屋神戸線(第二名神)愛知県境～四日市JCT埋蔵文化財調査概報Ⅰ』 1998. 3 『近畿自動車道名古屋神戸線(第二名神)愛知県境～四日市JCT埋蔵文化財調査概報Ⅱ』 1999. 3 『近畿自動車道名古屋神戸線(第二名神)愛知県境～四日市JCT埋蔵文化財調査概報Ⅲ』 2000. 3			

No. 46	遺跡名	菅野遺跡	台帳番号	202－207
所在地	四日市市貝家町字荒起		事業主体	中部電力株式会社
調査原因	中部電力第二中勢南四日市線送電鉄塔建築工事		費用負担	中部電力株式会社
調査機関	四日市市教育委員会		担当者	加藤　林
調査期間	H12. 5. 22 ～ H12. 8. 10		調査面積	1，800㎡
調査概要	弥生時代から現代にいたる遺構・遺物を検出したが、その大半は弥生時代のものである。竪穴住居は、弥生時代後期後葉頃。遺構密度が低かったのは、戦前から戦後にかけて茶畑や果樹園、植林によって、遺構の多くが削平されたためと考えられる。			
主な遺構	弥生時代:竪穴住居2棟・土坑13基・溝1条、古墳時代:掘立柱建物2棟・土坑2基、古代:土坑2基			
主な遺物	弥生土器・土師器・須恵器			
関連文献	『菅野遺跡』 四日市市教育委員会 2001			

No. 47	遺跡名	西ヶ谷遺跡(第3次)	台帳番号	202－126
所在地	四日市市東坂部町		事業主体	山一不動産株式会社
調査原因	宅地造成		費用負担	山一不動産株式会社
調査機関	四日市市教育委員会		担当者	清水
調査期間	H12. 10. 30 ～ H12. 12. 20		調査面積	560㎡
調査概要	7世紀前葉～中葉の集落跡が確認された。過去2回の調査を含めると、当時の西ヶ谷の集落が東に広がっていることが判明した。8世紀中葉の瓦溝の検出は、当地に瓦の消費遺跡(寺院？)か生産遺跡(瓦窯など)があったことが想定される。			
主な遺構	掘立柱建物・竪穴住居・土器焼成坑・瓦溝・土坑など			
主な遺物	須恵器・土師器・軒丸瓦・軒平瓦・丸瓦・平瓦など			

No. 48	遺跡名	西ヶ谷遺跡(第4次)	台帳番号	202－126
所在地	四日市市東坂部町		事業主体	四日市市
調査原因	部田川左岸2号線改良工事		費用負担	四日市市
調査機関	四日市市教育委員会		担当者	清水　林
調査期間	H12. 11. 13 ～ H13. 2. 8		調査面積	860㎡
調査概要	7世紀前葉～中葉の集落跡が確認された。過去2回の調査を含めると、当時の西ヶ谷の集落が東に広がっていることが判明した。8世紀中葉の瓦溝の検出は、当地に瓦の消費遺跡(寺院？)か生産遺跡(瓦窯など)があったことが想定される。			
主な遺構	掘立柱建物・竪穴住居・土器焼成坑・井戸・溝など			
主な遺物	須恵器・土師器・軒丸瓦・丸瓦・平瓦など			

No. 49	遺跡名	大矢知山畑遺跡	台帳番号	202－76
所在地	四日市市大矢知町字山畑		事業主体	個人
調査原因	個人住宅		費用負担	国・県・市※
調査機関	四日市市教育委員会		担当者	葛山
調査期間	H12. 11. 6 ～ H13. 1. 15		調査面積	725㎡
調査概要	弥生時代中期の方形周溝墓(3基)及び平安時代の集落が主な遺構。平安時代の集落は、同一方向の大型の掘立柱建物が建ち、緑釉陶器、黒色土器、陶硯など一般集落ではなく、在地の領主層的な様相がうかがえる。			
主な遺構	方形周溝墓・土坑墓・掘立柱建物・溝・土坑・井戸			
主な遺物	弥生土器・土師器・須恵器・灰釉陶器・緑釉陶器・黒色土器・山茶碗・輸入陶器・近世陶器・土錘・木製品・金属製品・陶硯			

No. 50	遺跡名	山奥遺跡	台帳番号	202－84
所在地	四日市市大字羽津字山奥		事業主体	国土交通省
調査原因	一般国道1号北勢バイパス建設		費用負担	国土交通省
調査機関	四日市市教育委員会		担当者	荒木　　佐々木
調査期間	H12. 12. 18 ～ H13. 1. 24		調査面積	200㎡
調査概要	集落が確認されている丘陵の北西隅の斜面を調査したが、遺構は確認されなかった。			
主な遺物	弥生土器と土師器の細片			

No. 51	遺跡名	梅田遺跡	台帳番号	207－1244
所在地	鈴鹿市国府町字梅田		事業主体	国府南部土地改良区
調査原因	ほ場整備		費用負担	事業者
調査機関	鈴鹿市教育委員会		担当者	石田浩司　林　和範
調査期間	H12. 4. 17 ～ H13. 1. 19		調査面積	4，270㎡
調査概要	古代(8世紀末～9世紀前半)と中世(12世紀～13世紀)を中心とする集落跡。古代の建物跡は方位・柱筋を揃えて並んでおり、建物配置に計画性が見られる。建物跡の重複関係から3時期以上の変遷が確認された。「中」と押印された瓦も出土しており、長者屋敷遺跡との関連が注目される。一方中世では11棟の掘立柱建物跡が確認されたが、中には5間×5間で面積118㎡と大きな規模を持つものもある。建物跡群の南側には東西溝が走っており、集落の南を区画する堀の役目をしていたと思われる。遺物として青磁・白磁が多く出土したことが特徴的。特に四耳壺が数点出土したことは注目すべきである。			
主な遺構	古代:竪穴住居跡4棟以上・掘立柱建物跡12棟以上・土坑、中世:掘立柱建物跡11棟以上・溝・土坑			
主な遺物	古代:須恵器・土師器・瓦(「中」押印瓦あり) 中世:山茶碗(モミジ・文字の墨書あり)・土師器(鍋・羽釜・かわらけ)・常滑焼・青磁・白磁(四耳壺・碗・皿)			

No. 52	遺跡名	伊勢国分寺跡(第24次)	台帳番号	207－361
所在地	鈴鹿市国分町字堂跡		事業主体	鈴鹿市
調査原因	学術調査		費用負担	鈴鹿市
調査機関	鈴鹿市教育委員会		担当者	新田　剛
調査期間	H12. 5. 8 ～ H12. 9. 19		調査面積	216㎡
調査概要	講堂・金堂の調査を実施した。講堂の北西部では、せんによる基壇外装の基底部が確認され、落下状況を示す軒瓦が検出された。講堂基壇の南北規模は約21mと推定される。金堂では、基礎地形とその一部を切る整地層が確認され、2時期に及ぶ遺構の変遷が窺えた。Ⅰ期金堂の基壇規模は東西約28m、南北約23mと推定され、Ⅱ期はやや規模が縮小される。南辺ではⅡ期のせん列が確認された。			
主な遺構	基礎地形・溝			
主な遺物	丸瓦・平瓦・軒丸瓦・軒平瓦・鉄釘・土師器・須恵器・灰釉陶器			

No.	53	遺跡名	天王屋敷遺跡	台帳番号	207－364
所在地		鈴鹿市岸岡町字石塚		事業主体	個人
調査原因		住宅増築		費用負担	鈴鹿市※
調査機関		鈴鹿市教育委員会		担当者	岡田　雅幸
調査期間		H12. 7. 31 ～ H12. 8. 3		調査面積	15㎡
調査概要		竪穴住居1棟・溝2条・土坑1基・柱穴を検出した。竪穴住居は調査区外に延びるため全容は不明であるが、出土した土師器・須恵器から奈良時代の竪穴住居である。溝2条は重複しており、その出土遺物から上層は古墳時代後期の溝、下層の溝は弥生時代の溝である。土坑は古墳時代の土坑であるが、その形状から竪穴住居である可能性も残っている。			
主な遺構		溝(弥生)・溝・土坑(古墳)・竪穴住居(奈良)・柱穴			
主な遺物		弥生土器・土師器・須恵器			

No.	54	遺跡名	長者屋敷遺跡(第12次)	台帳番号	207－363
所在地		鈴鹿市広瀬町字中起・荒子		事業主体	鈴鹿市
調査原因		学術調査		費用負担	鈴鹿市※
調査機関		鈴鹿市教育委員会		担当者	新田　剛　　吉田真由美
調査期間		H12. 10. 1 ～ H13. 3. 11		調査面積	1,143㎡
調査概要		政庁の西・北西・北東において調査を実施した。政庁西では南北溝が2条検出された。過去に検出された溝との関係から政庁とほぼ等しい区画の存在が想定される。政庁北西では、遺構は確認されなかった。政庁北東では竪穴住居・掘立柱建物・区画溝が確認された。竪穴・掘立は8世紀終わりから9世紀初めのものと考えられる。			
主な遺構		溝・竪穴住居・掘立柱建物			
主な遺物		丸瓦・平瓦・軒丸瓦・土師器・須恵器			
関連文献		伊勢国府跡3			

No.	55	遺跡名	一反通遺跡	台帳番号	207－533
所在地		鈴鹿市上野町壱反通		事業主体	個人
調査原因		住宅建設		費用負担	鈴鹿市※
調査機関		鈴鹿市教育委員会		担当者	岡田雅幸　藤原秀樹　新田 剛 吉田真由美　林 和範
調査期間		H13. 1. 12 ～ H13. 1. 24		調査面積	54㎡
調査概要		調査の結果、竪穴住居1棟・竪穴状遺構1基・溝3条・土坑2基・柱穴多数を検出した。特に注目すべきは調査区中央を貫くSD01である。幅1.5m、深さ40cmの溝であるが甕・台付甕・壺・高坏・器台など弥生時代後期の土器がおびただしく出土した。環濠の可能性が高い溝である。			
主な遺構		溝3条・竪穴住居・竪穴状遺構・土坑・柱穴			
主な遺物		弥生土器・土師器・須恵器・山茶碗・砥石			

No.	56	遺跡名	亀山城跡(第7次)	台帳番号	210－200
所在地		亀山市東丸町地内		事業主体	三重県
調査原因		駅前高塚線他一線整備事業		費用負担	三重県
調査機関		亀山市教育委員会		担当者	亀山　隆　　藤岡直子
調査期間		H12. 7. 10 ～ H12. 7. 31		調査面積	350㎡
調査概要		東三之丸外堀の東外郭ラインを検出。絵図や地籍図では直線で表現されている堀に、直角に折れ曲がっている部分を2ヶ所確認する。また、外堀北東隅にはこれに直交する溝9条と、さらにその外側にこれらと直交する溝1条を確認。城の鬼門の方角にあたることから宗教的要素が考慮される。			
主な遺構		外堀・溝			
主な遺物		近世:瓦・陶磁器			
関連文献		『亀山城跡～東三之丸外堀の市道拡幅に伴う発掘調査～』 亀山市教育委員会　1996			

No.	57	遺跡名	亀山城跡(第8次)	台帳番号	210－200
所在地		亀山市東丸町地内		事業主体	亀山市
調査原因		くらしの道づくり(東丸1号線)事業		費用負担	亀山市
調査機関		亀山市教育委員会		担当者	亀山 隆　藤岡直子
調査期間		H13. 2. 5 ～ H13. 3. 31		調査面積	630㎡
調査概要		東三之丸外堀を検出。一部埋め戻して土橋を形成していたと考えられる部分を確認。また、江ヶ室門のものとみられる礎石抜き取り跡、束石を有する長屋跡、太鼓門石垣に伴うと考えられる裏込め石を検出。下層には築城当初と考えられる幅7mの堀があり、16世紀代の遺物を大量に含んだ焼土層で埋め戻されていた。			
主な遺構		中世:堀、近世:亀山城外堀・礎石建物・瓦溜まり			
主な遺物		中世:陶器甕・すり鉢・土師器羽釜・犬形土製品・染付椀、近世:瓦・陶磁器			
関連文献		『亀山城跡～東三之丸外堀の市道拡幅に伴う発掘調査～』 亀山市教育委員会 1996			

No.	58	遺跡名	網中遺跡	台帳番号	210－350(新規)
所在地		亀山市辺法寺町字網中		事業主体	日本道路公団
調査原因		近畿自動車道名古屋神戸線(第二名神)建設事業		費用負担	事業者
調査機関		亀山市教育委員会		担当者	亀山 隆　山際文則
調査期間		H12. 5. 15 ～ H13. 2. 23		調査面積	3,936㎡
調査概要		奈良時代と思われる竪穴住居を5棟検出。うち1棟は、入れ子にした土師器長胴甕2つをカマドの煙道としていた。旧流路は石積みによって護岸され、流れが屈曲する部分には石積みによって堰が設けられていた。奈良時代から中世の土器や木製品が出土しているが、中世を中心に機能していたと考えられる。			
主な遺構		竪穴住居5棟・旧流路			
主な遺物		奈良時代:土師器甕・鍋・甑・須恵器長頸壺、中世:山茶椀			
関連文献		『近畿自動車道名古屋神戸線(第二名神)亀山東JCT～滋賀県境 埋蔵文化財発掘調査概要Ⅱ(網中遺跡・落山城跡・大増遺跡)』 亀山市教育委員会 2000			

No.	59	遺跡名	天王平遺跡(第6次)	台帳番号	301－57
所在地		桑名郡多度町小山字天王平		事業主体	多度町
調査原因		町道新設工事		費用負担	多度町
調査機関		多度町教育委員会		担当者	石神教親　松田 繁
調査期間		H12. 11. 20 ～ H13. 1. 4		調査面積	約250㎡
調査概要		平成9年に行われた第4次調査の続きであるが、調査面積が狭隘なため遺構の性格は不詳である。出土遺物から見ていくと、4次調査は8～9世紀が中心であったが、今回の調査では5～7世紀が中心であり、時期により集落域が移動してる可能性がある。			
主な遺構		土坑・溝			
主な遺物		土師器(台付甕・高坏)・須恵器・有孔円盤・灰釉陶器			
関連文献		『天王平遺跡発掘調査報告Ⅰ・Ⅱ』 三重県埋蔵文化財センター 1982・1983 『天王平遺跡発掘調査報告』 多度町教育委員会 1981 『天王平遺跡発掘調査報告Ⅲ』 多度町教育委員会 1993			

No.	60	遺跡名	塚原遺跡	台帳番号	321－10
所在地		員弁郡北勢町大字阿下喜字塚原		事業主体	JA三重厚生連
調査原因		病院建設		費用負担	員弁郡土地開発公社
調査機関		北勢町教育委員会		担当者	濱辺一機　田尻佳之
調査期間		H13. 1. 25 ～ H13		調査面積	4, 290㎡
調査概要		員弁川北岸の河岸段丘に立地する遺跡である。県が調査を行った覚正垣内遺跡の東側に位置する。調査では、古墳時代から鎌倉時代まで断続的に続く複合遺跡であることが明らかとなった。主な遺構として古墳時代前期の竪穴住居を数棟確認したほか、平安時代末期から鎌倉時代にかけての掘立柱建物群を検出した。			
主な遺構		掘立柱建物・竪穴住居・土坑			
主な遺物		古式土師器・須恵器・土師器・灰釉陶器・山茶碗・青磁片			

No. 61	遺跡名	広山遺跡	台帳番号	324－34
所在地	員弁郡東員町大字長深字南花戸		事業主体	東洋ゴム工業株式会社
調査原因	工場倉庫建設		費用負担	東洋ゴム工業株式会社
調査機関	東員町教育委員会社会教育課		担当者	(町事務局)石川　斎藤 (文化財調査委員)山口　早川　松本
調査期間	H12. 5. 15		調査面積	513㎡
調査概要	試掘調査は開発予定地約7,000㎡を対象に試掘坑20カ所、巾2mのトレンチ4カ所を設定し実施した。トレンチ南側2カ所で掘立柱建物と思われる柱穴8個と竪穴住居若しくは土坑と思われる遺構を確認した。これらの遺構が確認された箇所は、東海環状自動車道の試掘確認調査で掘立柱建物等が確認され、要本調査と判断された東隣部にあたり、それらの遺構の東への拡がりと理解される。			
主な遺構	柱穴・住居跡 or 土杭			
主な遺物	須恵器片・土師器片			

No. 62	遺跡名	雲出島貫遺跡	台帳番号	201－484
所在地	津市雲出島貫町字南藤本ほか		事業主体	津市
調査原因	市道拡幅		費用負担	津市
調査機関	津市教育委員会		担当者	米山浩之
調査期間	H12. 11. 6 ～ H12. 12. 11		調査面積	440㎡
調査概要	雲出川左岸の自然堤防上に立地する。自然流路や谷がほとんどで、集落は確認されなかったが、調査区東端の溝からは、山中～欠山期の遺物が比較的まとまって出土した。			
主な遺構	溝・自然流路・谷			
主な遺物	弥生土器・古式土師器・須恵器・山茶碗			
関連文献	『嶋抜』第一次調査　三重県埋蔵文化財センター　1998 『嶋抜Ⅱ』三重県埋蔵文化財センター　2000			

No. 63	遺跡名	位田遺跡	台帳番号	201－758
所在地	津市北河路町字木ノ下ほか		事業主体	国土交通省
調査原因	一般国道23号中勢道路建設		費用負担	国土交通省
調査機関	津市教育委員会		担当者	中村光司
調査期間	H13. 1. 9 ～ H13. 2. 20		調査面積	630㎡
調査概要	平成8年度三重県埋蔵文化財センター調査区の西側。平安時代の溝、ピットを検出。			
主な遺構	溝・土坑・ピット			
主な遺物	弥生土器・土師器・灰釉陶器			
関連文献	『埋文センターニュースNo.13』津市埋蔵文化財センター　2001			

No. 64	遺跡名	上野遺跡	台帳番号	213－132
所在地	久居市戸木町字上野		事業主体	日ノ出開発株式会社
調査原因	宅地造成		費用負担	日ノ出開発株式会社
調査機関	久居市教育委員会		担当者	田中喜久雄
調査期間	H12. 4. 1 ～ H13. 3. 31		調査面積	47,000㎡
調査概要	当遺跡は雲出川左岸の段丘上の畑地に拡がる縄文時代から戦国時代までの複合遺跡である。調査の結果、弥生時代竪穴住居跡群、方形周溝墓、周溝のみ残る古墳群、奈良時代の竪穴住居跡群、平安時代の掘立柱建物跡群、鎌倉～室町時代の方形区画溝を有する屋敷跡群、戦国時代の大溝跡と土塁などを検出した。とくに、古墳周溝からは周溝内埋葬した土壙や家形埴輪を棺に転用した土壙を確認した。また、方形区画溝を有する屋敷跡群は当時の道路に沿って整然と拡がっており、中世集落の発展段階を示すものとしておおいに注目を受けている。大溝は幅8m、深さ3m、東西100m、西端で直角に南延して自然の谷に続いており、一部に土塁が残っており、16世紀後半の軍事的施設と考えられる。文献史料からも合せて考察を深めたい。			
主な遺構	古墳周溝内埋葬墓壙・方形区画溝を有する中世屋敷跡群			
主な遺物	家形埴輪・信楽蔵骨器			
関連文献	上野遺跡だよりNo.1, No.2, No.3, No.4			

No.	65	遺跡名	川口北方遺跡	台帳番号	404－28
所在地		一志郡白山町大字川口字並木 他		事業主体	白山町
調査原因		地方特定道路整備事業		費用負担	白山町
調査機関		白山町教育委員会		担当者	堀川義隆
調査期間		H12. 10. 10 ～ H12. 11. 24		調査面積	1,300㎡
調査概要		雲図川の南岸、標高約43mに位置する。平成11年度に引き続き東側の調査を行った。出土遺物は大変少なかった。			
主な遺構		奈良時代：竪穴住居2棟・掘立柱建物1棟			
主な遺物		縄文土器・土師器			

No.	66	遺跡名	多気北畠氏遺跡〔北畠氏館跡〕	台帳番号	406－20
所在地		一志郡美杉村上多気		事業主体	美杉村教育委員会
調査原因		学術調査		費用負担	国・県※・村
調査機関		美杉村教育委員会		担当者	石淵誠人
調査期間		H12. 7. 19 ～ H13. 3. 29		調査面積	350㎡
調査概要		平成8年度から継続して調査を行っている。北畠神社境内地の北西部分の調査を行った。15世紀代前半の石垣、掘立柱建物、溝が確認されている。またそれらを埋める整地後、16世紀前半の掘立柱建物、溝、石垣が確認されている。			
主な遺構		室町：掘立柱建物・区画溝・石垣（2カ所）・土坑			
主な遺物		室町：土師器皿・鍋・天目茶椀・青磁椀・銭貨			
関連文献		多気北畠氏遺跡発掘調査報告〔北畠氏館跡〕			

No.	67	遺跡名	多気北畠氏遺跡〔馬場地区〕	台帳番号	406－21
所在地		一志郡美杉村上多気		事業主体	美杉村
調査原因		山振事業に伴う建物建設		費用負担	美杉村
調査機関		美杉村教育委員会		担当者	石淵誠人
調査期間		H12. 10. 12 ～ H12. 11. 14		調査面積	320㎡
調査概要		雲出川の支流八俣川の左岸低位段丘上に位置する。近代以降の学校建設に伴い、以前は田地であったが、削平または盛土等大きく改変を受けている。鎌倉時代末期の土坑のほか、16世紀代の柱列、土坑が確認されている。			
主な遺構		中世：ピット・溝・土坑			
主な遺物		中世：土師器皿・山茶椀・陶器皿			

No.	68	遺跡名	千戸山出遺跡	台帳番号	484－未登録
所在地		阿山郡大山田村大字千戸字山出		事業主体	大山田村
調査原因		道路新設改良		費用負担	大山田村
調査機関		大山田村教育委員会		担当者	仁保晋作
調査期間		H12. 3. 1 ～ H12. 5. 9		調査面積	1,300㎡
調査概要		道路新設改良に伴い発見される。多くの古文書にも奈良東大寺に係わる千戸別所についての記載があり、今回の調査による出土品などから、ここが千戸別所である可能性が高くなった。			
主な遺構		掘建柱建物8棟・柵列2・溝6条			
主な遺物		瓦器腕・瓦質火舎・土師器・瓦・青磁腕			

No.	69	遺跡名	国史跡上野城跡	台帳番号	206－358
所在地		上野市丸之内		事業主体	上野市
調査原因		保存整備のための学術調査		費用負担	上野市
調査機関		上野市教育委員会		担当者	其道和也　福田典明
調査期間		H12. 7. 3 ～ H12. 8. 11		調査面積	約300㎡
調査概要		筒井時代の本丸跡で、後に、藤堂藩の城代屋敷が所在した郭の中央より南寄りの箇所を調査した。建物に伴う礎石等の残存状況は良好ではなかったが、柱列が4列、石列が3列、土坑が15基、溝が5条と埋甕が1基検出された。これらの遺構と絵図面とを照合させると、部分的にはある程度建物の区画には揃ってくると想定されるが、その位置関係は特定されなかった。			
主な遺構		柱列・石列・土坑・溝・埋甕			
主な遺物		土師器皿・陶器擂鉢・軒丸瓦(桐瓦を含む)・塀瓦・丸瓦			
関連文献		『上野市埋蔵文化財年報7』 上野市教育委員会 2001			

No.	70	遺跡名	出口遺跡	台帳番号	206－668
所在地		上野市上之庄字地蔵		事業主体	個人
調査原因		コンビニエンス・ストア新築工事		費用負担	事業者
調査機関		上野市遺跡調査会		担当者	松田久司　福田典明
調査期間		H13. 2. 2 ～ H13. 2. 23		調査面積	170㎡
調査概要		上野市中央部、木津川左岸の低位段丘上に位置する。調査では、柱列、土坑、、ピット等が確認された。また、一部攪乱されてはいるが奈良時代の墓壙が検出された。調査地は遺跡の縁辺にあたると思われ、遺跡は北に広がると思われる。			
主な遺構		ピット・溝・土坑・柱列・墓壙・落ち込み			
主な遺物		弥生土器片・土師器高坏片・須恵器・黒色土器・瓦器・土錘・羽釜			

No.	71	遺跡名	宮ノ森遺跡	台帳番号	206－817
所在地		上野市千歳字下水		事業主体	三重西濃運輸株式会社
調査原因		流通センター造成		費用負担	事業者
調査機関		上野市遺跡調査会		担当者	福田典明
調査期間		H13. 2. 26 ～ 調査中		調査面積	960㎡
調査概要		上野市北東部、柘植川左岸の微高地に立地する遺跡で、古墳時代を盛期とする。竪穴住居が切り合い関係をもってまとまって検出され、かまどの無いものから有るものへと竪穴住居の新旧の変遷がたどれる。包含層の出土遺物の中には瓦器片も割合多く含まれ、この時期の遺構も周辺には存在したものと思われる。			
主な遺構		竪穴住居・柱列			
主な遺物		土師器・須恵器			
関連文献		『宮ノ森遺跡発掘調査概要』 上野市教育委員会・上野市遺跡調査会 1979			

No.	72	遺跡名	古墳砦跡・延命地蔵	台帳番号	501－237
所在地		名賀郡青山町阿保字桐ノ木		事業主体	水資源開発公団川上ダム建設所
調査原因		川上ダム建設に伴う県道松阪青山線新設工事		費用負担	事業者
調査機関		青山町教育委員会		担当者	境 宏
調査期間		H13. 2. 19 ～ H13. 3. 19		調査面積	古墳砦跡(842㎡)(延命地蔵36㎡)
調査概要		標高307mの尾根上に位置する。土塁は上辺1.5m下辺4mの台形、地山を整形後、周囲の土を掻き上げて盛っている。推定規模南北30m、東西20m。柱穴などは、確認できなかった。土塁の上と盛り土内から瓦片が出土した。延命地蔵は、本体を覆う建物の柱穴は、検出できなかった。記年銘は不明。			
主な遺構		土塁・馬出し・虎口・空堀			
主な遺物		旧石器(ナイフ形石器、角錐状石器)2点・土師器・瓦器・陶器・磁器・瓦			
関連文献		『伊賀の中世城館』 伊賀中世城館調査会 1997			

No.	73	遺跡名	黒石遺跡	台帳番号	208－155
所在地		名張市瀬古口字黒石・中村字浦		事業主体	名張市
調査原因		学術調査		費用負担	緊急雇用対策市町村等補助金※
調査機関		名張市教育委員会		担当者	門田了三　橋本晋吉
調査期間		H12. 12. 11 ～ H13. 1. 19		調査面積	1,000㎡
調査概要		672年の壬申の乱の際に焼かれた「隠駅家(なばりのうまや)」推定地の発掘調査。周辺に大規模店舗ができ、ミニ開発が行われる危険性があったため範囲確認調査を実施。調査の結果、弥生時代中期から後期にかけての方形周溝墓と、古墳時代後期の溝や竪穴住居と、同時期の馬の下顎骨が確認されたのみ。飛鳥・奈良時代の遺構は未確認。			
主な遺構		方形周溝墓3基・竪穴住居5棟以上			
主な遺物		弥生中期～後期土器・土師器・須恵器・馬の歯			

No.	74	遺跡名	塚原遺跡・古墳群(10号墳・11号墳)	台帳番号	208－352・353
所在地		名張市蔵持町里		事業主体	名張市
調査原因		市道赤坂夏秋橋線整備事業		費用負担	名張市※
調査機関		名張市教育委員会		担当者	門田了三　橋本晋吉
調査期間		H12. 10. 10 ～ H13. 3. 30		調査面積	2,000㎡
調査概要		弥生時代後期の環濠を巡らす高地性集落。名張川を見下ろす、名張盆地の出入り口に当る丘陵頂上にある。水田面との比高は、35mを測る。調査地内の溝の延長は85m。最大幅は2.3m、深さ1.5mであるが、北側と南側は痕跡程度に浅くなる。溝中より大量の土器あり。後期中頃から終末までの時期差がある。古墳時代後期の竪穴住居が2棟あり、壁面にカマドあり。10号墳、11号墳とも破壊されており、規模不明。群集墳盛期の横穴式石室。			
主な遺構		弥生後期の環濠・竪穴住居6棟・古墳時代後期の竪穴住居2棟・横穴式古墳2基			
主な遺物		弥生後期土器(長頸壺・器台・高杯・甕・蓋ほか)			

No. 75	遺跡名	宝塚1号墳	台帳番号	204－123
所在地	松阪市宝塚町・光町		事業主体	松阪市教育委員会
調査原因	史跡整備		費用負担	松阪市教育委員会
調査機関	松阪市教育委員会文化課　松阪市文化財センター		担当者	福田　昭　福田哲也　松田　度
調査期間	H12. 5. 23 ～ H13. 3. 30		調査面積	575㎡
調査概要	前年から続けている発掘調査で、造り出しとその周辺から埴輪配列や囲形埴輪(井戸様・導水施設)がみつかり、祭祀の場と想定され大きな成果を得た。船形埴輪の2隻目やひれ付きの家形埴輪も発見された。また、古墳か造り出しへの出入り口と想定されるところも検出された。			
主な遺構	造り出し東西における祭祀の場・3段目の葺石・敷石・2段目の埴輪列等			
主な遺物	船形埴輪2隻目・家形埴輪(ヒレ付き)・囲形埴輪3(導水1井戸様2)・柱状埴輪ほか			
関連文献	『松阪市史』			

No. 76	遺跡名	立野城跡	台帳番号	204－194
所在地	松阪市立野町字椋谷		事業主体	倉口開発株式会社
調査原因	土砂採取		費用負担	事業者
調査機関	松阪市教育委員会　文化課　文化財センター		担当者	福田　昭　福田哲也
調査期間	H12. 6. 1 ～ H12. 8. 11		調査面積	3,000㎡
調査概要	平成10年に調査した立野城跡の西側の国道166号沿いの尾根半分の調査である。以前、確認されていた堀切を調査した。南の郭には中世墓と土坑が検出された。遺跡のほとんどが、郭の斜面である。			
主な遺構	郭2・堀切4・中世墓2・土坑2			
主な遺物	土師器(皿・鍋)・銅銭			
関連文献	『三重の中世城館』『松阪市史』			

No. 77	遺跡名	金剛坂遺跡（辰ノ口地区）	台帳番号	442－36
所在地	多気郡明和町大字金剛坂字辰ノ口		事業主体	明和町教育委員会
調査原因	宅地造成		費用負担	事業者
調査機関	明和町教育委員会　斎宮跡課		担当者	中野敦夫　宇都宮英治
調査期間	H12. 7. 24 ～ H12. 10. 12		調査面積	1,170㎡
調査概要	金剛坂遺跡は、祓川右岸に広がる平坦な洪積台地の西端部に位置する。遺跡範囲は非常に広く、南北約700m、東西約100～200mに及んでいる。調査地は、遺跡の南端部にあたる辰ノ口地区であり、事業地2,363㎡のうち、掘削および進入道路部分について実施した。調査の結果、検出された遺構は、古墳時代後期と奈良時代のものに大別され、弥生時代の遺構・遺物はなかった。			
主な遺構	古墳時代後期：方墳3基・土坑1 奈良時代：掘立柱建物5棟・竪穴住居3戸・溝2条・土坑6・時期不明の方形周溝状遺構1			
主な遺物	古墳時代後期：家形埴輪・甲冑埴輪・円筒埴輪・須恵器杯身・高杯・甕・はそう・土師器杯・高杯 奈良時代：須恵器甕・土師器杯・皿・壺・甕			

No. 78	遺跡名	川合城址	台帳番号	431－27
所在地	多気郡大台町大字川合小字寺前		事業主体	大台町教育委員会
調査原因	近畿自動車道新設工事に伴う簡易水道施設支障移設のため		費用負担	
調査機関	大台町教育委員会		担当者	岡村隆弘
調査期間	H12. 8. 21 ～ H12. 9. 21		調査面積	1，200㎡
調査概要	現在、町上水道貯水槽のあるところに近畿自動車道紀勢線のインターとなるため、それに変わる場所として同標高である川合城址が選ばれたため。			
主な遺構	中世：城山			

No.	79	遺跡名	片野殿垣内遺跡(第3次)	台帳番号	444－27
所在地		多気郡勢和村片野字ホソダ		事業主体	勢和村
調査原因		村史編纂		費用負担	勢和村
調査機関		勢和村教育委員会		担当者	田村陽一
調査期間		H12. 8. 1 ～ H12. 8. 29		調査面積	80㎡
調査概要		径0.5m～3m程度の略円形・楕円形・隅丸方形の土坑が重複して営まれた箇所を2ヶ所確認。埋土より縄文晩期五貫森式土器と石鏃を中心とした石器類が多量に出土した。縄文晩期後葉の基準資料となる良好なものである。			
主な遺構		土坑多数(縄文晩期後葉)			
主な遺物		縄文土器(深鉢・浅鉢・壺・皿・鉢)・土偶片・石鏃・石錐・石斧・磨石等			

No.	80	遺跡名	田丸城址	台帳番号	461－214
所在地		度会郡玉城町田丸字城郭		事業主体	玉城町
調査原因		田丸城址遊歩道整備に伴う発掘調査		費用負担	玉城町
調査機関		玉城町教育委員会		担当者	倉田直純(県埋蔵文化財センター) 中西秀貴(町教育委員会)
調査期間		H13. 1. 9 ～ H13. 3. 26		調査面積	240㎡(80m×3m)
調査概要		遊歩道整備事業における調査で、何もないと思われていた箇所から門の礎石及び側溝、時代差のある二種類の階段が出土。特に側溝内からは16世紀後半のものと思われる軒丸瓦や土師器片等が出土しているため、この遺構が信長の次男信雄の時代以降に造られ、あるいは改築された城の一部であると考えられる。			
主な遺構		搦手の門礎石・階段・側溝			
主な遺物		軒丸瓦・瓦片・土師器片・炭片			

No.	81	遺跡名	史跡 赤木城跡及び田平子峠刑場跡	台帳番号	563－2
所在地		南牟婁郡紀和町大字赤木		事業主体	紀和町
調査原因		石垣等の崩落があり、保存修理が必要なため。		費用負担	事業者 ※
調査機関		紀和町教育委員会		担当者	中尾勝也
調査期間		H12. 7. 12 ～ H12. 12. 12		調査面積	160㎡
調査概要		東郭1南面石垣と東郭2北面石垣の間を通る通路及び城郭入口部と東郭2の調査を実施した。城郭入口部の調査では、丘陵斜面を登りきった位置で、地山を方形に整形した平坦部及び門の礎石を2個検出した。礎石は、後世の遊歩道開削からかろうじて免れた北東及び南西のものが残っていたもので、その大きさは径60cm前後である。門跡は四脚門と思われ、推定復元で間口8尺、奥行6尺と考えられる。また、東郭2の調査では、東面石垣下の東斜面から表土除去の際、瀬戸大窯編年第6小期～第7小期(16世紀後半～末)と考えられる天目茶碗のほか、染付け皿、鉄釘等が出土した。			
主な遺構		門の礎石を2個検出した。(礎石の大きさは径60cm前後で、門跡は四脚門と思われる。推定復元で間口8尺・奥行6尺と考えられる。)			
主な遺物		天目茶碗(16世紀後半～末)・染付け皿・古銭・鉄釘			

県（三重県埋蔵文化財センター）担当分　試掘調査

※は国・県費補助事業

遺跡名（遺跡番号）	所在地	調査原因	費用負担者	調査対象面積㎡	試掘面積	調査概要	保存対応
正治寺跡 (343-9)	三重郡朝日町柿	道路建設	県土整備部	9,000	84	遺構・遺物なし。	施工可
仮）小向遺跡 （登録不要）	三重郡朝日町柿	道路建設	県土整備部	3,000	40	遺構・遺物なし。	施工可
仮）大欠遺跡 （登録不要）	四日市市桜町西	道路改良	県土整備部	5,000	52	遺構・遺物なし。	施工可
小牧北遺跡 (202-235)	四日市市小牧町	道路建設	県土整備部	19,000	197	溝・土坑・ピット、土師器。	要本調査 5,300㎡
伊坂城跡 (202-246)	四日市市伊坂町	近畿自動車道名古屋神戸線	日本道路公団中部支社	1,433	130	遺構・遺物なし。	施工可
西ヶ広遺跡 (202-59)	四日市市伊坂町 字松山・西ノ広	近畿自動車道名古屋神戸線	日本道路公団中部支社	487	70	ピット・土坑、須恵器。	施工可 187㎡ 要本調査 300㎡
東海道想定地 (202-未登録)	四日市市伊坂町	（主）四日市多度線県単道路改良	県土整備部	700	15	遺構・遺物なし。	施工可
東海道想定地 (202-未登録)	四日市市伊坂町	近畿自動車道名古屋神戸線	日本道路公団中部支社	2,300	275	遺構・遺物なし。	施工可
河田宮ノ北遺跡 (207-未登録)	鈴鹿市河田町 字宮ノ北	県営ほ場整備	農林水産商工部	18,300	156	須恵器。 土師器（古墳～奈良）出土。	事業地内遺跡 範囲5,000㎡
沢遺跡 (207-554)	鈴鹿市地子町他	平成12年度ふるさと農道整備 （算所三日市地区）	農林水産商工部	900	12	旧地形の谷部分に堆積した土層を確認したものの、明確な遺構や遺物包含層の遺存は確認できなかった。	施工可
岩瀬遺跡 (210-130)	亀山市三寺町	県営ほ場整備 （三寺地区）	農林水産商工部	255,000	1,445	土坑、溝、ピット。 土師器鍋、山茶椀、羽釜。	要本調査範囲 34,200㎡
金森遺跡 (210-184)	亀山市三寺町	県営ほ場整備 （三寺地区）	農林水産商工部			ピット。 土師器鍋、山茶椀。	要本調査範囲 17,150㎡
仮）金森西遺跡 (210-未登録)	亀山市三寺町	県営ほ場整備 （三寺地区）	農林水産商工部			溝・ピット。 山茶椀、常滑大甕。	要本調査範囲 20,800㎡
地蔵前遺跡 (210-312)	亀山市三寺町	県営ほ場整備 （三寺地区）	農林水産商工部			土坑、溝、ピット 土師器皿・鍋、山茶椀。	
岩瀬古墳 (210-185)	亀山市三寺町	県営ほ場整備 （三寺地区）	農林水産商工部				要本調査範囲 31,000㎡
岩瀬地蔵古墳 (210-186)	亀山市三寺町	県営ほ場整備 （三寺地区）	農林水産商工部				
亀山城下町遺跡 (210-新発見)	亀山市江ヶ室町	道路建設	県土整備部	1,050	32	溝・土坑・ピット、土師器・陶器・瓦。	要本調査 900㎡
西谷古墳 (210-未登録)	亀山市太岡寺町	東名阪自動車道亀山短絡線	日本道路公団中部支社	830	36	遺構・遺物なし。施工可。	
藪内遺跡 (210-未登録)	亀山市太岡寺町	東名阪自動車道亀山短絡線	日本道路公団中部支社	3,600	276	遺構・遺物なし。施工可。	
仮）町遺跡 （登録不要）	阿山郡阿山町下友田	道路改良	県土整備部	200	6	遺構・遺物なし。	施工可
仮）山生田南城跡 （登録不要）	阿山郡阿山町玉滝 字山生田	道路改良	県土整備部	300	6	遺構・遺物なし。	施工可
野添遺跡 (481-未登録)	阿山郡伊賀町柘植町 字野村	県営ほ場整備	農林水産商工部	150,000	228	鳥喰宅跡の北側隣接地より柱穴・溝・落ち込を検出、土師器・陶器が出土。	本調査予定 9,200㎡
仮）倉部遺跡 (481-未登録)	阿山郡伊賀町柘植町 字倉部	県営ほ場整備	農林水産商工部	40,000	210	柱穴、土師器・瓦器・陶器。	本調査予定 1,300㎡
才良遺跡 (206-152)	上野市枡川	道路改良	県土整備部	700	6	遺構・遺物なし。	施工可
三石代遺跡 (206-1114)	上野市下神戸 字三石代	道路改良	県土整備部	1,200	6	遺構・遺物なし。 木津川の旧流路と思われる。	施工可
三石代遺跡 (206-1114)	上野市下神戸 字三石代	道路建設	県土整備部	4,000	28	溝・土坑、土師器。	要本調査 3,300㎡
（仮）山立遺跡 （登録不要）	名賀郡青山町種生	県道改良	県土整備部	600	23	通称「城山」であったが、遺構・遺物なし。	施工可
中道遺跡 (501－未登録)	名賀郡青山町種尾	中山間地域総合整備 （青山南部）	農林水産商工部	34,000	294	明褐色の地山からピット、溝を検出。	要本調査 7,675㎡

遺跡名(遺跡番号)	所在地	調査原因	費用負担者	調査対象面積㎡	試掘面積	調査概要	保存対応
原池遺跡 (501－未登録)	名賀郡青山町原池	中山間地域 総合整備 (青山南部)	農林水産商工部	1,650	54	ピット、溝。	要本調査 270㎡
(仮)横矢遺跡 (登録不要)	名張市長瀬 字喜中谷・神谷	河川改修	県土整備部	35,050	83	土師器・瓦器・陶器が出土したが、いずれも流れ込み。	施工可
石田4号墳 (201-684)	津市大里野田町石田	道路改良	県土整備部	400	18	遺構・遺物なし、自然地形であることが判明。	施工可
中鳶遺跡 (201-477)	津市大里窪田町 字中鳶	道路改良	県土整備部	1,700	12	土坑(弥生時代) 弥生土器・土師器。	本調査予定 400㎡
惣作遺跡 (201-824)	津市殿村～野田	河川改修	県土整備部	51,975	725	溝・土坑・ピット、土師器・陶器・山茶碗。	要本調査 1,200㎡
里前遺跡 (201-761)	津市殿村～野田	河川改修	県土整備部				要本調査 800㎡
梁瀬遺跡 (201-未登録)	津市殿村～野田	河川改修	県土整備部				要本調査 600㎡
(仮)林垣内遺跡 (201-新発見)	津市殿村～野田	河川改修	県土整備部				要本調査 700㎡
弐ノ坪遺跡 (201-760)	津市殿村～野田	河川改修	県土整備部				施行可
(仮)田面遺跡 (407-未登録)	一志郡三雲町曽原	広域農道整備	農林水産商工部	2,000	16	柱穴・溝。	要本調査
舞出北遺跡 (407-1)	一志郡三雲町舞出	一般国道23号 中勢道路建設	国土交通省中部地方整備局	3,200	150	溝・ピット、弥生土器、土師器。	要本調査 4,000㎡
中林・中道遺跡 〔狭間遺跡〕 (407-14)	一志郡三雲町中道	一般国道23号 中勢道路建設	国土交通省中部地方整備局	18,600	1,010	溝・ピット、土師器・山茶椀。	要本調査 13,200㎡
小津遺跡 〔東浦遺跡〕 (407-21)	一志郡三雲町小津	一般国道23号 中勢道路建設	国土交通省中部地方整備局	23,000	1,190	溝・土坑・ピット、土師器・山茶椀。	要本調査 18,400㎡
新屋庄遺跡 (405-未登録)	一志郡嬉野町新屋庄	一般国道23号 中勢道路建設	国土交通省中部地方整備局	20,400	1,190	溝・土坑・ピット・水田遺構、土師器・須恵器・山茶椀。	要本調査 40,800㎡
筋違遺跡 (405-285)	一志郡嬉野町新屋庄	一般国道23号 中勢道路建設	国土交通省中部地方整備局	37,000	2,410	溝・ピット、土師器・山茶椀。	要本調査 8,200㎡
柏木遺跡 (405-286)	一志郡嬉野町川北	一般国道23号 中勢道路建設	国土交通省中部地方整備局	31,000	1,470	溝・ピット、土師器・山茶椀。	要本調査 2,800㎡
横堤遺跡 (405-287)	一志郡嬉野町津屋城 一志郡三雲町中道	一般国道23号 中勢道路建設	国土交通省中部地方整備局	21,500	1,140	遺構なし、土師器等僅少。	施工可
(仮)駒返遺跡 (登録不要)	一志郡嬉野町島田	道路改良	県土整備部	7,300	48	遺構・遺物なし。	施工可
堀田遺跡 (405-224)	一志郡嬉野町宮古	道路改良	県土整備部	5,400	52	流路、土坑。	要本調査 2,800㎡
庄屋田遺跡 (406-56)	一志郡美杉村八知 字庄屋田	道路改良	県土整備部	6,200	33	柱穴、土師器。	本調査予定 1,000㎡
西山A遺跡 (406-49)	一志郡美杉村八知 字西山	道路改良	県土整備部	1,500	9	遺構・遺物なし。	施工可
西山B遺跡 (406-53)	一志郡美杉村八知 字西山	道路改良	県土整備部	4,500	72	遺構・遺物なし。	施工可
(仮)奥新田遺跡 (登録不要)	一志郡美杉村上多気 字奥立川	道路改良	県土整備部	3,450	18	遺構・遺物なし。	施工可
(仮)奥立川遺跡 (406-未登録)	一志郡美杉村上多気 字奥立川	道路改良	県土整備部	1,500	6	遺構・遺物なし。	施工可
トシカ谷遺跡 (406-126)	一志郡美杉村川上 字トシカ谷	通常砂防	県土整備部	1,200	3	遺構・遺物なし。	施工可
(仮)八知遺跡 (登録不要)	一志郡美杉村八知	道路改良	県土整備部	500	16	遺構・遺物なし。	施工可
川島遺跡 〔門前地区〕 (204-834)	松阪市魚見町	県営ほ場整備	農林水産商工部	326,000	186	中世土器、中世の水田跡。	事業地内遺跡 範囲46,700㎡
魚見下起遺跡 (204-837)	松阪市魚見町	県営ほ場整備	農林水産商工部	326,000	342	中世土器、中世の溝。	事業地内遺跡 範囲7,300㎡
魚見里前遺跡 (204-836)	松阪市魚見町	県営ほ場整備	農林水産商工部	326,000	216	中世土器、中世の溝。	事業地内遺跡 範囲18,200㎡
東久保北浦遺跡 (204-835)	松阪市東久保町	県営ほ場整備	農林水産商工部	326,000	24	中世土器、中世の溝。	事業地内遺跡 範囲1,800㎡

遺跡名(遺跡番号)	所在地	調査原因	費用負担者	調査対象面積㎡	試掘面積	調査概要	保存対応
琵琶垣内遺跡 (204-820)	松阪市豊原町他	県営ほ場整備 (櫛田上地区)	農林水産商工部	50,500	582	弥生～中世の土坑、溝、柱穴を多数確認。弥生土器、土師器、須恵器などが出土。	要本調査 36,000㎡分
山添遺跡 (204-352)	松阪市山添町他	県営ほ場整備 (櫛田上地区)	農林水産商工部	6,250	64	耕作土から土師器片を微量確認したものの、明確な遺構や遺物包含層は確認できなかった。	施工可
金剛坂里中遺跡 (442-240)	多気郡明和町金剛坂	道路改良	県土整備部	900	15	溝・土師器。	要本調査
発シA遺跡 (442-213)	多気郡明和町池村	国営宮川用水 第二期土地改良	農林水産省	750	20	自然流路内から土師器・須恵器等多数出土。	要本調査 250㎡
打越遺跡 (442-647) 及び隣接地	多気郡明和町新茶屋	国営宮川用水 第二期土地改良	農林水産省	4,500	74	遺構・遺物なし。	施工可
長岡遺跡 (442-648) 及び隣接地	多気郡明和町新茶屋	国営宮川用水 第二期土地改良	農林水産省			遺構・遺物なし。	施工可
斎宮池遺跡 (442-693)	多気郡明和町池村	国営宮川用水 第二期土地改良	農林水産省	19,000	734	2ヶ所で要本調査範囲を確認。「真木谷遺跡」、「長谷町遺跡」と命名し、周知の「斎宮池遺跡」と区分。	
真木谷遺跡 (442-新発見)	多気郡明和町池村	国営宮川用水 第二期土地改良	農林水産省			土坑、溝を検出。	要本調査 300㎡
長谷町遺跡 (442-新発見)	多気郡明和町池村	国営宮川用水 第二期土地改良	農林水産省			焼土坑検出。	要本調査 1,100㎡
仮)大仏山北麓C遺跡 (登録不要)	多気郡明和町新茶屋	国営宮川用水 第二期土地改良	農林水産省	1,800	40	遺構・遺物なし。	施工可
獅子山遺跡 (442-642)〔南側隣接地〕	多気郡明和町養村	国営宮川用水 第二期土地改良	農林水産省	3,000	23	遺構なし。土師器片少量出土。	施工可
神田遺跡 (444-33)	多気郡勢和村片野	中山間事業 (多気中部地区) 勢和ほ場整備8号	農林水産商工部	32,000	520	溝・土坑・ピット等。	要本調査 8,125㎡
小松広遺跡 (登録不要)	多気郡勢和村丹生	近畿自動車道 尾鷲勢和線	日本道路公団中部支社	380	24	遺構・遺物なし。	施工可
丹生池ノ谷遺跡 (444－70)	多気郡勢和村丹生	近畿自動車道 尾鷲勢和線	日本道路公団中部支社	1,000	40	土坑・ピット、弥生土器。	施工可
丹生水谷〔古谷〕 水銀採掘坑跡群 (444-未登録)	多気郡勢和村丹生	近畿自動車道 尾鷲勢和線	日本道路公団中部支社	4,000	4,000 (測量)	地形測量を実施。29ヶ所の坑口を確認。	要本調査 2,800㎡
川合遺跡 (443-66)	多気郡大台町川合	道路改良	県土整備部	1,240	40	遺構・遺物なし。	施工可
岡田古墳 (登録不要)	多気郡大台町菅合	近畿自動車道 尾鷲勢和線	日本道路公団中部支社	500	30	遺構・遺物なし。	施工可
滝部遺跡 (443－1)	多気郡大台町下三瀬	近畿自動車道 尾鷲勢和線	日本道路公団中部支社	7,860	660	遺構・遺物なし。	施工可
神戸遺跡 (443－58)	多気郡大台町下三瀬	近畿自動車道 尾鷲勢和線	日本道路公団中部支社	760	70	遺構・遺物なし。	施工可
浦切遺跡 (445-12)	多気郡宮川村小切畑	道路建設	県土整備部	5,700	81	遺構・遺物なし。	施工可
仮)大仏山北麓D遺跡 (登録不要)	度会郡小俣町新村	国営宮川用水 第二期土地改良	農林水産省	2,400	27	遺構・遺物なし。	施工可
里中遺跡 (461-未登録)	度会郡玉城町野篠	(主)伊勢多気線	県土整備部	3,500	85	竪穴住居・柱穴・溝・弥生土器・陶器・土師器。	本調査済
仮)田丸道遺跡 (461-新発見)	度会郡玉城町妙法寺	道路建設	県土整備部	4,500	32	溝・土坑、土師器鍋・山茶碗。	要本調査 975㎡
南浦遺跡 (461-未登録)	度会郡玉城町佐田	道路拡幅	県土整備部	380	16	溝・土坑・ピット、土師器鍋・山茶碗。	要本調査 380㎡
仮)里ヲキ遺跡 (登録不要)	度会郡度会町駒ヶ野	道路拡幅	県土整備部	600	22	遺構・遺物なし。	施工可
塚 (登録不要)	度会郡大宮町滝原	近畿自動車道 尾鷲勢和線	日本道路公団中部支社	20	10	遺構・遺物なし。	施工可
甲賀貝塚 (524-19)	志摩郡阿児町甲賀	道路拡幅	県土整備部	6,700	48	遺構・遺物なし。	施工可

市町村担当分　試掘調査

※は国・県費補助事業

遺跡名(遺跡番号)	所在地	調査原因	費用負担者	調査対象面積㎡	試掘面積	調査概要	保存対応
桑名城下町遺跡 (205-99)	桑名市伊賀町55-2	病院建設	桑名市教育委員会	234	12	桑名城下町遺跡の遺構面を確認。	基礎構造変更による保存
高塚山下遺跡 (205-55)	桑名市大字西方字笹山742、771、772	宅地造成	(株)三浦建設	8,341	15	遺物少量出土・遺構は検出されず。	
名谷遺跡 (343-23)	三重郡朝日町大字小向	土地区画整理	朝日町	1,500	29	萬古焼片・窯道具・レンガ	要本調査
正治寺跡 (343-9)	三重郡朝日町大字小向	土地区画整理	朝日町	1,200	21	窯道具・レンガ	要本調査
宮の西遺跡 (202-155)	四日市市中川原二丁目	共同住宅	事業者	1,011	48	遺構なし。包含層から、弥生土器・土師器・灰釉陶器・山茶碗・埴輪など。	掘削部分の工事立会
西ヶ谷遺跡 (202-126)	四日市市東坂部町	宅地造成	事業者	3,952	51	土坑・溝・竪穴住居を確認。	要本調査、永久工作物部分(ライフライン)の調査
大矢知山畑遺跡 (202-76)	四日市市大矢知町	個人住宅	市費	1,039	51	竪穴住居・溝・ピット。須恵器・土師器・灰釉陶器・山茶碗など。	要本調査 国庫補助申請
茂福城跡 (202-253)	四日市市茂福町	個人住宅	事業者	758	32	堀・すり鉢	盛土対応
上畑遺跡 (202-337)	四日市市尾平町	共同住宅	事業者	668	20	遺構・遺物なし。	施工可
石田遺跡 (202-396)	四日市市采女町	土地造成	事業者	1,000	36	遺構なし。土師器細片のみ	施工可
宮の西遺跡 (202-155)	四日市市中川原二丁目	共同住宅	事業者	993	24	遺構なし。須恵器・土師器	盛土対応 慎重工事
宮ノ下遺跡 (202-532)	四日市市小古曽一丁目	遊技場建設	事業者	19,995	195	分布調査後、試掘調査実施。一ヵ所で溝。弥生土器、須恵器、土師器、山茶碗	盛土対応 慎重工事
北之脇遺跡 (202-405)	四日市市大矢知町	北勢バイパス建設	国土交通省		200	遺構なし。	施工可
羽津広遺跡 (202-336)	四日市市大字羽津	北勢バイパス建設	国土交通省		32	遺構・遺物なし。	施工可
四反田遺跡 (202-497)	四日市市大矢知町	北勢バイパス建設	国土交通省		144	遺構なし。	施工可
四方天遺跡 (202-496)	四日市市大矢知町	北勢バイパス建設	国土交通省		112	遺構なし。	施工可
三日市東遺跡 (207-1158)	鈴鹿市竹野	住宅建設	事業者	375	3	遺構・遺物なし。	施行可
保子里遺跡 (207-1067)	鈴鹿市国府町	住宅建設	鈴鹿市※	406	12	溝、遺物なし。	施行可
国分北遺跡 (207-536)	鈴鹿市国分町	住宅建設	鈴鹿市※	494	13	遺構・遺物なし。	施行可
西ノ野遺跡 (207-160)	鈴鹿市国府町	住宅建設	鈴鹿市※		32	遺物なし。柱穴	施行可
長者屋敷遺跡 (207-363)	鈴鹿市広瀬町	井戸設置	鈴鹿市※	4	4	遺構なし。瓦	施行可
白子深田遺跡 (207-1191)	鈴鹿市白子町	住宅建設	鈴鹿市※	598	7	遺構なし。須恵器・近世陶器	施行可
八野遺跡 (207-169)	鈴鹿市八野町	堆肥舎建設	鈴鹿市※		96	溝・柱穴、土師器・瓦・近世陶器	施行可
北ノ添遺跡 (207-1089)	鈴鹿市北玉垣町	宅地造成	鈴鹿市※	1,510	2	遺構・遺物なし。	施行可
天王屋敷遺跡 (207-364)	鈴鹿市岸岡町	住宅増築	鈴鹿市※	38	10	溝・土坑・柱穴、土師器・須恵器。	要本調査15㎡
岸岡山Ⅲ遺跡 (207-889)	鈴鹿市南若松町	集会所建設	鈴鹿市※	191	6	遺構・遺物なし。	施行可
金生水遺跡 (207-1144)	鈴鹿市地子町	接骨院建設	鈴鹿市※	576	15	遺物なし。土坑	施行可
三日市東遺跡 (207-1158)	鈴鹿市三日市	住宅建設	鈴鹿市※	515	2	遺構・遺物なし。	施行可
石丸野遺跡 (207-387)	鈴鹿市平野町	住宅建設	鈴鹿市※	437	14	遺物なし。柱穴	施行可
土師南方遺跡 (207-384)	鈴鹿市若松西	住宅建設	鈴鹿市※	202	3	遺構・遺物なし。	施行可
若松遺跡 (207-1176)	鈴鹿市若松北	住宅建設	鈴鹿市※	310	11	遺構なし。土師器・土錘	施行可
東海戸遺跡 (207-1038)	鈴鹿市伊船町	住宅建設	鈴鹿市※	497	11	遺構・遺物なし。	施行可

遺跡名(遺跡番号)	所在地	調査原因	費用負担者	調査対象面積㎡	試掘面積	調査概要	保存対応
龍光寺遺跡 (207-1193)	鈴鹿市神戸	市街地再開発	事業者	3,610	34	溝・柱穴、近世陶器・瓦・甕。	施行可
国分寺北遺跡 (207-793)	鈴鹿市国分町	宅地造成	事業者		125	遺構・遺物なし。	施行可
三日市東遺跡 (207-1158)	鈴鹿市三日市	住宅建設	鈴鹿市※	214	7	遺構・遺物なし。	施行可
岸岡山Ⅲ遺跡 (207-889)	鈴鹿市江島町	住宅建設	鈴鹿市※	231	3	遺構・遺物なし。	施行可
岸岡山Ⅲ遺跡 (207-889)	鈴鹿市岸岡町	住宅建設	鈴鹿市※	91	3	遺構・遺物なし。	施行可
三日市東遺跡 (207-1158)	鈴鹿市竹野	住宅建設	鈴鹿市※	335	6	遺構・遺物なし。	施行可
平田城跡 (207-375)	鈴鹿市平田本町	住宅建設	鈴鹿市※	429	4	遺構・遺物なし。	施行可
金井場窯跡 (207-681)	鈴鹿市徳居町	鉄塔建設	事業者	150	15	遺構・遺物なし。	施行可
一反通遺跡 (207-533)	鈴鹿市上野町	住宅建設	鈴鹿市※	310	10	溝・柱穴、弥生土器。	要本調査55㎡
土師南方遺跡 (207-384)	鈴鹿市土師町	住宅建設	鈴鹿市※	464	4	遺構・遺物なし。	施行可
龍光寺遺跡 (207-1193)	鈴鹿市神戸	道路拡幅	鈴鹿市※	138	11	溝・土坑、近世陶器。	立会調査
平野遺跡 (207-158)	鈴鹿市平野町	共同住宅建設	鈴鹿市※	463	12	土坑・柱穴、土師器・山茶碗。	施行可
龍光寺遺跡 (207-1193)	鈴鹿市神戸	住宅建設	鈴鹿市※	280	5	遺構・遺物なし。	施行可
石薬師東遺跡 (207-727)	鈴鹿市石薬師町	住宅建設	鈴鹿市※	529	16	溝、遺物なし。	施行可
金沢川遺跡 (207-714)	鈴鹿市岸岡町	福祉施設建設	事業者	4,500	128	溝・柱穴・土坑、土師器・須恵器・山茶碗・瓦・軽石	要本調査
白鳥中学校遺跡 (207-1243)	鈴鹿市加佐登町	体育館建替	鈴鹿市※	1,170	49	溝・柱穴・土坑、土師器・山茶碗	要本調査
	亀山市田村町 字女ヶ坂1363-1・2・3	宅地分譲	ハウスセンター オカベ株式会社	2,118	40	能褒野王塚倍塚(16号墳)隣接地。遺構・遺物なし。	施工可
御幣立遺跡 (210-224)	亀山市川崎町 字御幣立147 字脇之田22	分譲宅地造成	シラカワ建設 株式会社	9,524	160		宅地部分は施行可、道路部分のみ要本調査1,780㎡
峯城跡 (210-136)	亀山市川崎町 大字小谷及び城谷	竹林を杉・桧林にするため(土砂採取及び整地)	個人	6,625	16	遺構・遺物なし。	施工可
城館推定地 (210-未登録)	亀山市辺法寺町 字網中	第二名神	日本道路公団		80	遺構・遺物なし。	一部施工可
(仮)下平権現遺跡 登録不要	員弁郡北勢町 大字下平字権現	工場建設	日本インシュレーション 株式会社	43,584	600	遺構・遺物なし。	施行可
広山A遺跡 (324-34)	員弁郡東員町	工場倉庫建設	東洋ゴム工業 株式会社	7,700	513	掘立柱建物・竪穴住居	要本調査 230㎡
徳居古窯跡群9号窯1032 (381-3)	安芸郡河芸町三行東 毛谷740	宅地造成	三交不動産	2,000	71	遺構・遺物なし。須恵器片2	施行可
谷古墳 (284-750)	安芸郡安濃町 大字内多	資材置き場建設	有限会社 武智建設	4,048	81	全長約30mの前方後円墳を新規発見、1/2は既に20年前の土取によって壊されていた。	現地保存
樫木原B遺跡 (383-未登録)	安芸郡美里村足坂	学校建設造成	美里村	33,100	200	遺構・遺物なし。	施行可
専修寺境内遺跡 (201-844)	津市一身田町字高田	御影堂修理	専修寺	500	8	遺構・遺物なし。	施工可
(仮)池ノ谷遺跡 (登録不要)	津市大字垂水 字池ノ谷	携帯電話 無線局設置	株式会社 NTTファシリティーズ	500	7	遺構・遺物なし。	施工可
西焼尾4号墳 (201-737)	津市渋見町 字東高野尾	宅地造成	池田土地開発㈱	100	2	自然地形	施工可
西焼尾5号墳 (201-738)	津市渋見町 字東高野尾	宅地造成	池田土地開発㈱	100	5	自然地形	施工可
里の内新田遺跡 (213-164)	久居市牧町字北浦	住宅建設	太平住宅㈱	1,000	0	事業者の都合で延期。	未定
持川遺跡 (213-185)	久居市持川町	住宅建設	三重総合 コンサルタント	2,500	80	久居古窯跡の対岸。 小ピット1、須恵器片少量。	工事可

遺跡名(遺跡番号)	所在地	調査原因	費用負担者	調査対象面積㎡	試掘面積	調査概要	保存対応
井ノ尻遺跡 隣接地 (403-223)	一志郡一志町八太字浦ノ戸	小学校造成	一志町	8,000	280	柱穴・溝・土壙、中世土師器・陶器類	要本調査 8,000㎡
小野江・甚目遺跡 (407－3)	一志郡三雲町大字肥留	宅地造成	事業者	1,983	24	遺構・遺物なし。	施工可
松本権現前遺跡 (407-8)	一志郡三雲町大字小舟江	消費者金融 無人契約機設置	事業者	422	7	遺構・遺物なし。	施工可
松本権現前遺跡 (407-8)	一志郡三雲町大字小舟江	無線基地局建設	事業者	174	8	遺構・遺物なし。	施工可
松本権現前遺跡 (407-8)	一志郡三雲町大字肥留	無線基地局建設	事業者	150	8	中世・古墳時代遺構確認 土師器・須恵器・陶器	要本調査 120㎡
松本権現前遺跡 (407-8)	一志郡三雲町大字曽原	宅地造成	事業者	1,699	18	遺構・遺物なし。	施工可
中林・中道遺跡 (407-14)	一志郡三雲町大字曽原	宅地造成	事業者	558	16	遺構なし。土師器皿・山茶椀	施工可
曽原遺跡 (407-16)	一志郡三雲町大字曽原	住宅・事務所建設	事業者	786	8	事務所部分のみ実施。 遺構・遺物なし。	施工可
別所・瑞龍寺遺跡 (407-33)	一志郡三雲町大字市場庄	無線基地局建設	事業者	225	8	遺構・遺物なし。	施工可
中林・中道遺跡 (407-14)	一志郡三雲町大字中道	宅地造成	事業者	3,454	32	遺構なし。土師器皿・陶器	施工可
平生遺跡 (405-183)	一志郡嬉野町宮古	個人宅地	補助金	200	16	溝、大型土坑など確認。	盛土保存
針箱遺跡 (405-281)	一志郡嬉野町中川	個人宅地	補助金	200	16	土師器小片	工事施工
野田遺跡 (405-181)	一志郡嬉野町野田	アパート建築	補助金	500	96	溝確認。中世土師器・山茶碗	盛土保存
ミツコウベ古墳群 (405-2・3・4)	一志郡嬉野町権現前	アパート建築	補助金	1,000	20	遺構・遺物なし。	工事施工
小村遺跡 (405-254)	一志郡嬉野町小村	木材倉庫建設	補助金	300	8	遺構・遺物なし。	工事施工
清水谷遺跡 (405-280)	一志郡嬉野町天花寺	NTT鉄塔建築	補助金	100	16	遺構・遺物なし。	工事施工
多気北畠氏遺跡 〔小田地区〕 (406-26-4)	一志郡美杉村下多気	上村3地区国補急傾斜地崩壊対工事	県土整備部	600	12	遺構・遺物なし。	施行可(継続)
多気北畠氏遺跡 〔町屋地区〕 (406-26-24)	一志郡美杉村上多気	白口1地区国補急傾斜地崩壊対策工事	県土整備部	750	6	遺構・遺物なし。	施行可(継続)
多気北畠氏遺跡 〔馬場地区〕 (406-26-21)	一志郡美杉村上多気	山振事業に伴う建物建設	美杉村	500	18	ピット、土師器皿・陶器皿出土	要本調査 320㎡
丹生俣萩原遺跡 (406-29)	一志郡美杉村丹生俣字平生	無線局設置	Jフォン東海株式会社	112	8	遺構・遺物なし。	施行可
水池遺跡隣接地 (442-登録不要)	多気郡明和町大字明星字水池	団地造成	明和町教育委員会	2,648	84	遺構・遺物なし。	施工可
金剛坂遺跡隣接地 (登録不要)	多気郡明和町大字金剛坂字宇田	造成工事	事業者	1,855	48	遺構・遺物なし。	施工可
川原口遺跡 (442-144)	多気郡明和町大字金剛坂字寺垣内	土壌改良	明和町教育委員会	1,583	54	溝3・柱穴、青磁・白磁・山茶碗	要調査
川原口遺跡 (442-144)	多気郡明和町大字金剛坂字寺垣内	土壌改良	明和町教育委員会	1,329	30	溝3、弥生土器・土師器・山茶碗	要調査
神殿遺跡 (442-203)	多気郡明和町大字金剛坂字寺垣内	土壌改良	明和町教育委員会				
川原口遺跡 (442-144)	多気郡明和町大字金剛坂字寺垣内	農業用倉庫建設	明和町教育委員会	300	16	竪穴住居、弥生土器・土師器	要調査
岸本遺跡 (422-33)	飯南郡飯高町大字森	団体営ほ場整備	飯高町	20,000	360	縄文土器・弥生土器・石包丁・中世土器	施行可(一部本調査の可能性有)
堂山遺跡 (422-29)	飯南郡飯高町宮前	テニスコート整備	飯高町	1,620	96	遺物・遺構なし。	施行可
田丸城址 (461-214)	度会郡玉城町田丸字城郭	田丸城址遊歩道整備	玉城町	2,199 (3×733)	185	搦手の門礎石、堀の遺構。中近世のものと考えられる瓦片・陶器片・土師器片。	門礎石部分と堀の遺構を本調査で確認。

遺跡名(遺跡番号)	所在地	調査原因	費用負担者	調査対象面積㎡	試掘面積	調査概要	保存対応
(仮)田丸道遺跡 (461-未登録)	度会郡玉城町妙法寺	12年度(一)松阪伊勢自転車道県単交通安全対策工事他	県土整備部　玉城町	4,500	32	溝・土坑・ピット等の遺構および土師器・山茶碗等が出土したことから、中世集落跡が想定される。	遺構遺物出土箇所については、発掘調査必要。
里中遺跡 (461-169欠番からの復活)	度会郡玉城町野篠	12年度(主)伊勢多気線緊急地方道路整備工事	県土整備部	400	19	一部でピットの遺構を確認。	遺構遺物出土箇所については、発掘調査必要。
名古谷遺跡 (467-19)	度会郡紀勢町錦字名古谷	中部国際空港埋立用土砂採取	(有)丸兼石材 (株)大成建設 名古屋支店	6,500	144	遺構・遺物なし。	施行可
亥ノ谷遺跡 (467-18)	度会郡紀勢町錦字亥ノ谷	中部国際空港埋立用土砂採取	(有)丸兼石材 (株)大成建設 名古屋支店	5,400	80	遺構・遺物なし。	施行可
長尾遺跡 (524-134)	阿児町鵜方字葛西川710-1	道路改良工事	阿児町	850	40	土師片・チャート片	要本調査 850㎡
中川原遺跡 (206-936)	上野市笠部字中川原	農業集落排水処理施設建設	上野市	2,563	45	遺構なし。瓦器片・土師器片・陶器片出土。	一部立会調査
上野城下町遺跡 (車坂町第2地点) (206-1230)	上野市車坂町	職員寮建築	(財)信貴山病院	794	40	土坑1基と根石？を検出したが時期不明。土師器片・陶器片・瓦片出土。	施工可
(仮)東出遺跡 (206-958)	上野市東高倉字東出	共同住宅新築	前並克己	1,233	36	溝1条検出。土師器片・須恵器片・瓦器片少量出土。	施工可
上野城下町遺跡 (恵美須町第1地点) (206-1230)	上野市恵美須町	道路改良工事	上野市	400	31	礎石・根石・溝状・遺構土坑を検出したが時期不明。陶器片・磁器・瓦片出土。	立会調査
上野城跡 (崇廣堂武場跡) (206-358)	上野市丸之内	校舎改築工事	上野市	1,225	56	崇廣堂成立以前の時期の礎石、根石、溝を検出。土師器・陶器・磁器・瓦出土。	協議中
出口遺跡 (206-668)	上野市上之庄字地蔵	店舗敷地造成	植田實	976	31	奈良時代及び中世の柱穴を検出。土師器片・須恵器・瓦器片出土。	要本調査170㎡
上野城下町遺跡 (車坂町第3地点) (206-1230)	上野市車坂町	集合住宅建築	家永宏美	535	45	土坑、礎石、ピットを検出したが時期不明。陶器片・瓦片・瓦質土器片出土。	施工可
出口遺跡 (206-668)	上野市上之庄字地蔵	店舗敷地造成	(株)多田産業	1,059	30	奈良時代及び中世の柱穴を検出。土師器片・須恵器・瓦器片出土。	計画変更の上で施工可
宮ノ森遺跡 (206-817)	上野市千歳字下水	流通センター造成	三重西濃運輸(株)上野支店	21,600	230	古墳時代の竪穴住居・溝・土坑・杭群・ピット等検出。土師器片・須恵器片・瓦器片・陶器片・磁器片・石帯・木製品等出土。	計画変更の上で、要本調査960㎡
市史跡垂園森近接地 (206-未登録)	上野市市部字森前	農村公園整備	上野市	627	20	遺構なし。土師器細片・瓦器片・須恵器甕片出土。	施工可
西明寺遺跡 (206-785)	上野市西明寺	建築等造成工事	三重平安閣	4,410	76	溝・土坑検出。土師器片・黒色土器片出土。	協議中
(仮)西郷・中縄手遺跡 (501-250)	名賀郡青山町川上字西郷・中縄手	川上ダム建設	事業者	120,000	3,570	ピット・土坑・縄文土器多数出土・剥片多数出土。中世以降の掘立柱建物？石列・土師器・瓦器・焼骨(人・獣不明)	要調査範囲 11,490㎡
(仮)北野遺跡 (登録不要)	名賀郡青山町川上字北野	川上ダム建設	事業者	6,000	260	遺構なし、土師器片・瓦器片出土、河川の氾濫によるもの。	施行可
若山氏館跡 (501-184)	名賀郡青山町老川字西谷	ジェイホン無線基地局建設	事業者	60	8	土塁の裾部確認。	施行可

県（三重県埋蔵文化財センター）担当分　工事立会

※は国・県費補助事業

遺跡名（遺跡番号）	所在地	調査原因	費用負担者	立会調査面積㎡	調査概要
仮）殿村遺跡（登録不要）	津市殿村	歩道拡幅	県土整備部	4	遺構・遺物なし
田矢伊予守城跡（483-27）	阿山郡阿山町川合字城	急傾斜	県土整備部	100	曲輪先端部分を地形測量。施工範囲の大半はすでに崩落。
上野城下町（206-1230）	上野市紺屋町3154	U字溝付設工事	県土整備部	6	江戸時代の整地層を確認。瓦・陶磁器・寛永通寶等が出土。
仮）影重遺跡（登録不要）	安芸郡河芸町影重	下水道	県土整備部	4	遺構・遺物なし
笠松遺跡（407-13）	一志郡三雲町曽原	河川改修	県土整備部	6	遺構・遺物なし
柳ヶ野遺跡（406-27）	一志郡美杉村丹生俣	砂防事業	県土整備部	9	遺構・遺物なし
比津峠番所跡（406-45）	一志郡美杉村下多気	道路拡幅	県土整備部	3	遺構・遺物なし
戸峯B遺跡（442-192）	多気郡明和町池村	国営宮川用水第二期土地改良	農林水産省	1,000	遺構・遺物なし。

市町村担当分　工事立会

※は国・県費補助事業

遺跡名（遺跡番号）	所在地	調査原因	費用負担者	立会調査面積㎡	調査概要
下野代遺跡（301-95）	桑名郡多度町下野代	個人住宅		637	工事立会、遺構・遺物なし
関東遺跡（301-21）	桑名郡多度町柚井	個人住宅		239	工事立会、遺構・遺物なし
天王平遺跡（301-57）	桑名郡多度町小山	個人住宅		227	工事立会、遺構・遺物なし
天王平遺跡（301-57）	桑名郡多度町小山	個人住宅		378	工事立会、遺構・遺物なし
関東遺跡（301-21）	桑名郡多度町柚井	町道改良工事			工事立会、遺構・遺物なし
多度A遺跡（301-43）	桑名郡多度町多度・小山・御衣野地内	下水道工事			工事立会、遺構・遺物なし
多度B遺跡（301-44）	桑名郡多度町多度・小山・御衣野地内	下水道工事			工事立会、遺構・遺物なし
東谷通遺跡（301-66）	桑名郡多度町多度・小山・御衣野地内	下水道工事			工事立会、遺構・遺物なし
天王平遺跡（301-57）	桑名郡多度町多度・小山・御衣野地内	下水道工事			工事立会、遺構・遺物なし
石原遺跡（301-93）	桑名郡多度町多度・小山・御衣野地内	下水道工事			工事立会、遺構・遺物なし
南之郷遺跡（301-69）	桑名郡多度町南之郷	個人住宅		1,153	工事立会、遺構・遺物なし
多度A遺跡（301-43）	桑名郡多度町多度	個人住宅		276	工事立会、遺構・遺物なし
宇賀B遺跡（301-28）	桑名郡多度町柚井	個人住宅		272	工事立会、遺構・遺物なし
多度B遺跡（301-44）	桑名郡多度町多度	個人住宅		427	工事立会、遺構・遺物なし
桑名城跡（205-100）	桑名市三之丸	個人住宅	桑名市	148	遺構・遺物なし、工事立会
桑名城下町遺跡（205-99）	桑名市外堀	住宅建設	桑名市	564	遺構・遺物なし、工事立会
江場城跡（205-127）勢以口遺跡の隣接地（205-128）	桑名市大字江場字宮之下	店舗	桑名市	300	遺構・遺物なし、工事立会
桑名城跡（205-100）	桑名市吉之丸	個人住宅	桑名市	70	
桑名城下町遺跡（205-99）	桑名市新屋敷	個人住宅	桑名市	125	遺構・遺物なし、工事立会
宇賀遺跡（205-80）	桑名市大字蓮花寺	下水道工事【宇賀新田幹線蓮花寺枝線汚水管路施設工事（推進工事）】	桑名市	50	遺構・遺物なし、工事立会
寺跡遺跡（205-130）	桑名市大福	下水道工事（大福幹線江場中町枝線汚水管路施設工事）	桑名市	550	遺構・遺物なし、工事立会

遺跡名(遺跡番号)	所在地	調査原因	費用負担者	立会調査面積㎡	調査概要
西方台地遺跡隣接地 (205-88)	桑名市尾野山	下水道工事(中央通幹線汚水管路施設工事)	桑名市	800	遺構・遺物なし、工事立会
江場城跡 (205-127)	桑名市江場中町	下水道工事(大福幹線江場中町枝線汚水管路施設工事)	桑名市	960	遺構・遺物なし、工事立会
勢以口遺跡 (205-128)	桑名市江場1丁目	下水道工事(寺前正金縄幹線江場1丁目枝線汚水管路施設工事)	桑名市	700	遺構・遺物なし、工事立会
桑名城下町遺跡 (205-99)	桑名市東鍋屋町	下水道工事(北鍋屋幹線東鍋屋町末端汚水管路施設工事)	桑名市	350	遺構・遺物なし、工事立会
東方古窯跡 (205-87)	桑名市大字東方	桑陽保育所改築工事	桑名市	6	遺構・遺物なし、工事立会
桑名城下町遺跡 (205-99)	桑名市南寺町	店舗付き個人住宅	桑名市	68	
桑名城下町遺跡 (205-99)	桑名市内堀	個人住宅	桑名市	131	遺構・遺物なし、工事立会
桑名城下町遺跡 (205-99)	桑名市宮通	倉庫	桑名市	29	遺構・遺物なし、工事立会
桑名城下町遺跡 (205-99)	桑名市八幡町	個人住宅	桑名市	145	遺構・遺物なし、工事立会
桑名城下町遺跡 (205-99)	桑名市宮町	個人住宅	桑名市	50	遺構・遺物なし、工事立会
桑名城下町遺跡 (205-99)	桑名市柳原27、28-2	宅地分譲	桑名市	56	遺構・遺物なし、工事立会
桑名城下町遺跡 (205-99)	桑名市外堀	店舗	桑名市	94	遺構・遺物なし、工事立会
宇賀遺跡 (205-80)	桑名市大字蓮花寺 字惣作	個人住宅	桑名市	75	遺構・遺物なし、工事立会
勢以口遺跡 (205-128)	桑名市大字江場 字勢以口118-7の一部 118-27、118-35	宅地造成	桑名市	1159	遺構なし、近世陶磁器出土、工事立会
桑名城下町遺跡 (205-99)	桑名市内堀	個人住宅	桑名市	61	遺構なし、近世陶磁器出土、工事立会
桑名城下町遺跡　隣接地 (205-99)	桑名市掛樋24	郵便局局舎新築	桑名市	153	遺構なし、近世陶磁器出土、工事立会
桑名城跡 (205-100)	桑名市三之丸	個人住宅増築	桑名市	51	遺構・遺物なし、工事立会
桑名城下町遺跡 (205-99)	桑名市風呂町	個人住宅	桑名市	52	遺構なし、近世陶磁器出土、工事立会
山之瀬古遺跡 (202-420)	四日市市寺方町	下水道建設	四日市市		遺構・遺物なし。
菅野遺跡 (202-207)	四日市市貝家町	遺跡調査の進入路整備	事業者		遺構・遺物なし。
山ノ越遺跡 (202-520)	四日市市日永三丁目	スポーツ施設建設	事業者	9,829	遺構・遺物なし。
出口遺跡 (202-389)	四日市市鹿間町	下水道建設	四日市市	20	遺構・遺物なし。
西ヶ広遺跡隣接地 (202-59)	四日市市伊坂町	市道改良	四日市市		遺構・遺物なし。
海星学園内遺跡隣接地 (202-189)	四日市市大治田町	住宅建設	事業者	2,450	遺構・遺物なし。
大日山古墳群 (202-145・146)	四日市市寺方町	県単／森林整備	三重県	20	遺構・遺物なし。
貝野遺跡 (202-124)	四日市市西坂部町	下水道建設	四日市市	91	遺構・遺物なし。
井詰遺跡 (202-90)	四日市市南いかるが町	下水道建設	四日市市	103	遺構・遺物なし。
山ノ越遺跡 (202-520)	四日市市日永西四丁目	宅地造成	事業者	1,280	遺構・遺物なし。
東門田遺跡 (202-499)	四日市市曽井町	水道管布設	水道局	50	遺構・遺物なし。
野田遺跡隣接地 (202-262)	四日市市野田町	宅地造成	事業者	1,099	遺構・遺物なし。
大藪遺跡 (210-195)	亀山市羽若町字大藪93-1	工事用仮設事務所及び寄宿舎の建設	西松建設株式会社・三井建設株式会社・東洋建設株式会社第二名神高速道路鈴鹿トンネル上り線工事共同企業体	20	遺構・遺物なし
若山城跡 (210-115)	亀山市若山町	個人住宅	個人	600	遺構・遺物なし

遺跡名(遺跡番号)	所在地	調査原因	費用負担者	立会調査面積㎡	調査概要
蛇谷古墳群(207-626・627・628・629)	鈴鹿市御薗町	清掃センター建設	事業者		遺構・遺物なし
若松遺跡(207-1176)	鈴鹿市若松北	宅地造成	事業者		遺構・遺物なし
狐塚遺跡(207-734)	鈴鹿市国分町	道路改良	事業者		遺構・遺物なし
国分東遺跡(207-539)	鈴鹿市国分町	浄化槽設置	事業者		遺構・遺物なし
境塚遺跡(207-1171)	鈴鹿市伊船町	道路改良	事業者		遺構・遺物なし
国分北遺跡(207-793)	鈴鹿市国分町	道路改良	事業者		遺構・遺物なし
本多町遺跡(207-416)	鈴鹿市神戸	住宅建設	事業者		遺構・遺物なし
長者屋敷遺跡(207-363)	鈴鹿市広瀬町	農地造成	事業者		瓦，遺構なし
せこ遺跡(207-494)	鈴鹿市国府町	住宅建設	事業者		遺構・遺物なし
保子里遺跡(207-1067)	鈴鹿市国府町	病院進入路	事業者		古墳周溝，地下保存
保子里遺跡(207-1067)	鈴鹿市国府町	道路拡幅	事業者		古墳周溝，地下保存
箱塚遺跡(207-1190)	鈴鹿市白子町	浄化槽設置	事業者		遺構・遺物なし
和豊田遺跡(207-1058)	鈴鹿市南若松町	住宅建設	事業者		遺構・遺物なし
本多町遺跡(207-416)	鈴鹿市神戸	住宅建設	事業者		遺構・遺物なし
一反通遺跡(207-533)	鈴鹿市上野町	浄化槽設置	事業者		遺構・遺物なし
河戸遺跡(207-1006)	鈴鹿市深溝町	住宅建設	事業者		遺構・遺物なし
龍光寺遺跡(207-1193)	鈴鹿市神戸	住宅建設	事業者		遺構・遺物なし
保子里遺跡(207-1067)	鈴鹿市国府町	切花小売店建設	事業者		遺構・遺物なし
須賀遺跡(207-608)	鈴鹿市須賀町	住宅建設	事業者		遺構・遺物なし
龍光寺遺跡(207-1193)	鈴鹿市神戸	市街地再開発	事業者		近世陶器・近世瓦
中島遺跡(207-874)	鈴鹿市柳町	住宅建設	事業者		遺構・遺物なし
平田城跡(207-375)	鈴鹿市平田本町	住宅建設	事業者		遺構・遺物なし
西ノ野遺跡(207-510)	鈴鹿市国府町	農業集落排水	事業者		遺構・遺物なし
龍光寺遺跡(207-1193)	鈴鹿市神戸	住宅建設	事業者		遺構・遺物なし
岸岡山Ⅲ遺跡(207-889)	鈴鹿市岸岡町	公衆トイレ建設	事業者		遺構・遺物なし
上箕田北遺跡(207-165)	鈴鹿市上箕田町	浄化槽設置	事業者		遺構・遺物なし
本多町遺跡(207-416)	鈴鹿市神戸	住宅建設	事業者		遺構・遺物なし
龍光寺遺跡(207-1193)	鈴鹿市神戸	道路拡幅	事業者		遺構・遺物なし
三日市東遺跡(207-1158)	鈴鹿市三日市	住宅建設	事業者		遺構・遺物なし
上箕田遺跡(207-164)	鈴鹿市上箕田	作業場建設	事業者		遺構・遺物なし
今徳城跡(284-601)	安芸郡安濃町大字今徳	下水道事業	安濃町	92	今徳城の南側の農道から県道穴倉・南神山・津線までの区間で、今徳城の範囲が南側へ広がることを確認した。
六大A遺跡(201-693)	津市大里窪田町字花村	自動車販売店建設	マエガワ設計	15	遺構・遺物なし
片野殿垣内遺跡(第4次)(444-27)	多気郡勢和村片野字ホソダ	ほ場整備	勢和村	40	縄文晩期後葉の小谷状遺構1基。土器溜から多量の遺物出土。
舟戸遺跡(444-34)	多気郡勢和村片野字舟戸	ほ場整備	勢和村	300	室町時代の溝、ピットを検出。土師器、陶器、石臼出土。縄文中期前半土器、石鏃出土。
下田東遺跡(登録不明)	多気郡大台町上菅	砂利採取	大森土木工事(株)	80	遺構・遺物なし

遺跡名(遺跡番号)	所在地	調査原因	費用負担者	立会調査面積㎡	調査概要
楠ノ木遺跡 (461-300)	度会郡玉城町勝田字下山4058-29,30	送電線新設工事	中部電力株式会社	24	すでに表面掘削が行われていて、遺構等は認められなかった。
丁塚古墳 隣接地 (203-4)（登録不要）	伊勢市西豊浜町	駐車場建設	伊勢市	880	遺構・遺物なし
赤土山古墳群 近接地 (203-337)（登録不要）	伊勢市鹿海町	鉄塔建設	日本移動通信株式会社	900	遺構・遺物なし
中山古墳 (203-20)	伊勢市神田久志本町	店舗建設	㈱牛虎	400	消滅古墳。遺構・遺物なし
百地氏城跡 (206-397)	上野市喰代字城谷	農村公園整備	上野市	30	溝・堀を検出。遺物なし。
寺垣内遺跡 (206-221)	上野市長田	農業集落排水緊急整備	上野市	21	瓦片、瓦器片、土師器片、陶器片出土。中近世の遺物包含層あり。
小澤氏館跡 (206-976)	上野市長田	農業集落排水緊急整備	上野市		
仏性寺・遍昭院跡 (206-364)	上野市長田	農業集落排水緊急整備	上野市		
横枕遺跡 (206-1077)	上野市猪田	農業集落排水緊急整備	上野市	23	遺構なし。磁器片、陶器片、石地蔵、五輪塔水輪出土。
仏勝寺館跡 (206-571)	上野市猪田	農業集落排水緊急整備	上野市		
構遺跡 (206-1078)	上野市猪田	農業集落排水緊急整備	上野市		
竹内氏館跡 (206-568)	上野市猪田	農業集落排水緊急整備	上野市		
森田氏館跡 (206-418)	上野市猪田	農業集落排水緊急整備	上野市		
小真庵寺跡 (206-421)	上野市猪田	農業集落排水緊急整備	上野市		
上野城跡 (206-358)	上野市丸之内	校舎改築工事	上野市	160	土坑、礎石、根石検出。土師器、陶器、磁器出土
上野城下町遺跡 近接地 (206-1230)	上野市小田町	共同住宅建築	直井熊男	10	遺構なし。土師器片、近世以降の瓦片出土。
木垣内遺跡 (206-650)	上野市長田	農業集落排水緊急整備	上野市	30	須恵器捏鉢、陶器擂鉢片、土師器片出土。中世の遺物包含層あり。
寺垣内遺跡 (206-221)	上野市長田	農業集落排水緊急整備	上野市		
八幡遺跡 (206-978)	上野市長田	農業集落排水緊急整備	上野市		
鳥居出2号墳 (206-36)	上野市西高倉	電柱設置工事	トーエネック	0.5	遺構、遺物なし。
堀田氏館跡 (206-567)	上野市猪田	農業集落排水緊急整備	上野市	10	遺構なし。瓦片出土。
構遺跡 (206-1078)	上野市猪田	農業集落排水緊急整備	上野市		
竹内氏館跡 (206-568)	上野市猪田	農業集落排水緊急整備	上野市		
藪中氏館跡 (206-566)他	上野市猪田	農業集落排水緊急整備	上野市		
梨ノ木遺跡 (206-1236)	上野市朝屋	養護・療護施設増築工事	社会福祉法人上野市社会事業協会	120	古墳時代の溝・土坑、中近世の溝を検出。土師器片、瓦器片、陶器片、加工木材等出土。
深山寺跡 (206-339)	上野市東高倉	道路改良	上野市	20	土師器皿、陶器擂鉢片、丸瓦片、五輪塔空・風輪、石臼出土。土坑、ピット、中近世の遺物包含層を検出。
仏土寺僧墓地遺跡 (206-340)	上野市東高倉	道路改良	上野市		
延喜式内社波多伎神社 (206-1150)	上野市土橋	道路改良	上野市	10	遺構なし。土師器皿片出土。
上野城跡 (206-358)	上野市丸之内	植樹	天正伊賀の乱420年祭実行委員	0.3	遺構なし。瓦片出土。
上野城下町遺跡 (206-1230)	上野市恵美須町他	道路改良	上野市	10	土坑3基検出。土師器片・陶磁器片・瓦片出土。

Ⅲ　埋蔵文化財保護体制の充実

1　各種会議

〔三重県埋蔵文化財専門担当者会議〕

当埋蔵文化財センターのほか、県教育委員会生涯学習課文化財保護室・斎宮歴史博物館及び市町村の埋蔵文化財専門担当者によって、労働安全衛生・技術研修や意見交換等を目的として、平成１２年度は次の４回を開催した。

	開催日	場所	内容
第１回	平成 12 年 5 月 12 日	斎宮歴史博物館	・会議のあり方 ・平成 12 年度事業予定 ・「県と市町村の役割分担」についての説明と質疑 ・斎宮博物館の見学
第２回	平成 12 年 7 月 19 日	鈴鹿市考古博物館	・埋蔵文化財調査の現状と課題 ・「県と市町村の役割分担」について（再確認） ・労働安全研修「発掘現場作業上の安全対策」 三重県労働局労働基準部清水充労働基準監督官 ・鈴鹿市考古博物館と伊勢国分寺跡発掘現場見学
第３回	平成 12 年 11 月 28 日	朝日町保健福祉センター	・埋蔵文化財調査の現状と課題 ・講演「三重県下の埋蔵文化財保護行政の歩み」 元県文化課・松阪市職員 ・朝日町歴史博物館と第二名神の見学
第４回	平成 13 年 3 月 2 日	斎宮歴史博物館	・埋蔵文化財調査の現状と課題 ・奈良国立文化財研究所の研修成果の報告 安濃町田中秀和「遺跡地図情報課程」 県ｾﾝﾀｰ萩原義彦・田中久生「文化財写真課程」 ・斎宮博物館の見学

〔全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会〕

全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会が主催する会議・研修会に職員を派遣し、他機関との交流や技術研修を行っている。平成 12 年度は次の会議等に参加した。

名称	内容	期日	場所	出席者
平成 12 年度全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会総会	平成 11 年度事業報告について　その他	平成 12 年 4 月 27・28 日	福岡県福岡市 福岡市埋蔵文化財センターほか	山澤 義貴 森川 常厚
全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会第 13 回研修会	研修テーマ『石垣の整備について』	平成 12 年 11 月 9・10 日	山梨県春日居町 国民年金保養センター	森川 幸雄 水谷 豊
平成 12 年度全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会東海・北陸ブロック会議	文化財保護法改正に伴う各地方公共団体の対応について　その他	平成 12 年 10 月 30・31 日	富山県富山市 富山観光ホテル	倉田 直純 森川 幸雄

〔文化財行政講座〕

文化庁が主催する講座等に職員を派遣し、行政的研修も行なっている。平成１２年度は次のものに参加した。

名称	内容	期間	場所	出席者
文化財行政講座	文化財行政概論各種、実務講習各種	平成 12 年 10 月 11～13 日	東京都港区 三田共用会議所	服部 芳人
埋蔵文化財担当職員等講習会	三重県の埋蔵文化財保護体制と民間活用、積算基準　その他	平成 13 年 1 月 23・24 日	千葉市稲毛区 千葉大学教育学部	山澤 義貴 木野本 和之 船越 重伸

〔埋蔵文化財写真技術研究会〕

当センターも会員である埋蔵文化財写真技術研究会が主催する総会に、技術的情報を収集するために出席した。

内容	内容	期間	場所	受講者
埋蔵文化財写真技術研究会総会	デジタルカメラのメリットとデメリット	平成 12 年 7 月 7・8 日	奈良市二条町 奈良国立文化財研究所	田中 久生

2　埋蔵文化財技術者養成

〔職員研修〕

職員の技術的・行政的向上を目的に、奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センターが実施する埋蔵文化財発掘調査技術者専門研修を随時受講させている。

内　　容	期　　間	受講者
埋蔵文化財発掘技術者専門研修『文化財写真課程』	平成12年8月17日～9月20日	萩原　義彦
埋蔵文化財発掘技術者専門研修『生産遺跡調査課程』	平成13年2月15日～2月27日	船越　重伸
保存科学研究集会総会	平成12年12月7日	角正　淳子

〔埋蔵文化財発掘技術者研修（教員研修）〕

昭和42年度以来、県下の学校教員を対象として、埋蔵文化財の発掘調査等についての専門的知識と技術の習得を目的とする研修事業を実施している。平成12年度は次の3名が県埋蔵文化財センター及び県内発掘調査現場において研修を行った。昭和54年度から平成12年度までに79名が研修を終了した。

平成12年度研修員

清水美華（県立名張高等学校）　川合圭子（鈴鹿市立旭が丘小学校）　萩良樹（四日市市立県小学校）

平成12年度研修内容

月	研　修　内　容
4	研修ガイダンス、室内講義、遺物実測実習、報告書作成実習、分布調査実習
5	遺物実測実習、報告書作成実習
6	遺物実測実習、報告書作成実習、発掘調査実習（惣作遺跡）
7	発掘調査実習（惣作遺跡）、室内講義
8	発掘調査実習（惣作遺跡）、室内講義
9	発掘調査実習（惣作遺跡・里前遺跡・琵琶垣内遺跡）、室内講義
10	発掘調査実習（川口遺跡・山添遺跡・堀田遺跡・川島遺跡）、試掘調査（琵琶垣内遺跡）、室内講義
11	発掘調査実習（堀田遺跡・宮ノ前遺跡）、室内講義
12	発掘調査実習（宮ノ前遺跡）、室内講義
1	発掘調査実習（城ノ広遺跡）、室内講義、報告書作成実習
2	発掘調査実習（城ノ広遺跡）、室内講義
3	発掘調査実習（宮ノ前遺跡）、報告書作成実習

室内講義内容

月　日	内　　容	担　当　者
4月　3日	ガイダンス	山田　猛
4月　4日	埋蔵文化財の保護	山澤　義貴
	埋蔵文化財センターの役割	田阪　仁
4月　5日	最近の発掘調査から①	河北　秀実
	時代概論①：旧石器時代・縄文時代	松葉　和也
	遺跡の発見から試掘まで	筒井　正明
	時代概論②：弥生時代・古墳時代	穂積　裕昌
4月　6日	遺物実測	山田　猛
4月　7日	時代概論③：奈良時代・平安時代	大川　操
	時代概論④：中近世	竹田　憲治
	遺物の一次整理①	松葉　和也
4月10日	最近の発掘調査から②	吉水　康夫
	発掘調査から報告書まで	伊藤　裕偉
	試掘・発掘調査の立案と積算・法令	野原　宏司
4月18日	遺物実測	山田　猛
	遺物の一次整理②	松葉　和也
7月31日	発掘調査機器の扱い	萩原　義彦
8月31日	遺物各論①：旧石器・縄文土器	松葉　和也・小浜　学
9月29日	遺物各論②：弥生土器・木製品	水谷　豊・穂積　裕昌
10月31日	遺物各論③：古墳時代の須恵器・土師器	服部　芳人・新名　強
11月30日	遺物各論④：古代の土器・瓦	水橋　公恵・大川　操
12月22日	遺物各論⑤：中世の陶器・土師器	金子　智子・伊藤　裕偉
1月31日	遺物各論⑥：金属製品・報告書の体裁	川畑　由紀子・川北　秀実
2月28日	遺物写真撮影実習	本堂　弘之
	報告書作成実習	河北　秀実
3月26日	報告書作成実習	河北　秀実
	研修のまとめ	山田　猛

〔埋蔵文化財発掘技術市町村職員研修〕

市町村教育委員会の職員を対象として埋蔵文化財発掘技術を研修し、文化財保護行政に資するための研修を実施している。平成１２年度は次の３件を実施した。

所属・氏名	種　別	内　　容	期　　間
堀川　義隆 (白山町教育委員会)	講座 Ⅰ	文化財保護法の概要、埋蔵文化財の判定 試掘調査の立案と実習	平成 12 年４月１日～４月 31 日
堀川　義隆 (白山町教育委員会)	講座 Ⅱ	発掘調査の立案と実習 遺構の実測と写真撮影実習	平成 12 年 10 月１日～11 月 30 日
田尻　佳之 (白山町教育委員会)	講座 Ⅱ	発掘調査の立案と実習 遺構の実測と写真撮影実習	平成 13 年１月 15 日～３月 14 日

３　埋蔵文化財保護等に関する支援・協力

〔埋蔵文化財行政基礎講座〕

地方分権一括法が平成１２年４月から施行されたことを受け、別添「実施要項」に基づき、平成１２年度から市町村の埋蔵文化財保護行政の担当職員を対象として、埋蔵文化財センターが２７市町村の参加を得て実施した。

会場　斎宮歴史博物館講堂

月　　日	内　　容	講　　師
１０月５日	講演「埋蔵文化財保護システムと市町村の役割」	佐久間 豊（千葉県）
	見学（埋蔵文化財センターと斎宮歴史博物館）	松葉 和也（ｾﾝﾀｰ職員）
	講座Ⅰ「埋蔵文化財保護行政に係る諸法規と補助制度」	倉田 直純（ｾﾝﾀｰ職員）
	講座Ⅱ「埋蔵文化財保護に係る調整協議と遺跡台帳等」	河北 秀実（ｾﾝﾀｰ職員）
１０月６日	講座Ⅲ「埋蔵文化財保護行政に係る県と市町村との役割分担」	山田　猛（ｾﾝﾀｰ職員）
	講座Ⅳ「民間調査機関と発掘調査体制」	吉水 康夫（ｾﾝﾀｰ職員）
	講座Ⅴ「発掘調査と保護行政」	山澤 義貴（ｾﾝﾀｰ職員）
	見学（いつきのみや歴史体験館）	山田　猛（ｾﾝﾀｰ職員）

≪三重県埋蔵文化財行政基礎講座実施要項≫

1　目的

この要項は、各市町村において埋蔵文化財保護行政を担当する者に対して、その事務手続きに関する講座（以下「講座」という）を開催するにあたり、必要な事項を定めるものとする。

2　講座の主催者

三重県埋蔵文化財センター

3　講座の場所

三重県埋蔵文化財センター

4　講座の対象

講座の対象者（以下「受講者」という）は、市町村において埋蔵文化財保護行政を担当する職員

5　講座の内容

・関連法令や通知、補助制度等の概要
・調整協議の流れと各種書類の作成
・遺跡台帳の整備

6　実施時期・期間

実施時期　原則的に４・５月
実施期間　２日間

7　講座に要する費用

(1)　受講者の旅費は、受講者派遣機関において負担するものとする。
(2)　講座に必要な資料等の経費について、受講者派遣機関に実費負担を求めることができる。

8　その他

前各項に定めるもののほか、講座の実施について必要な事項は、三重県埋蔵文化財センター所長が別途定める。

（附則）

この要項は、平成１２年７月３日から実施する。

三重県埋蔵文化財センター

〔個別問題の市町村支援・協力〕

埋蔵文化財センターは、市町村教育委員会からの依頼に応じ、市町村教育委員会が調整する埋蔵文化財保護に関する各種の問題に関してその調整や作業及び会議等に参加し、支援・協力している。平成１２年度は下記の事案に対応した。

依頼者	内容	期日
朝日町教育委員会	土地区画整理事業地内埋蔵文化財の取扱いに関する支援	4月 3日 ～ 3月31日
東員町教育委員会	工場敷地造成事業に伴う広山遺跡の取り扱いに関する協議	4月12日
嬉野町教育委員会	天白遺跡整備検討委員会への出席	5月 1日 ・ 7月24日
東員町教育委員会	広山遺跡試掘調査支援	5月15日
飯南町教育委員会	粥見井尻遺跡整備審議委員会への出席	5月15日ほか4回
大台町教育委員会	町水道タンク移設工事にかかる川合城跡の取扱い協議	5月18日
松阪市教育委員会	史跡宝塚古墳保存整備指導委員会への出席	5月18日ほか5回
芸濃町教育委員会	町内詳細分布調査にかかる支援	6月 5日 ～ 3月31日
飯高町教育委員会	堂山遺跡の取り扱いに関する協議	6月23日
紀和町教育委員会	史跡赤木城跡発掘調査支援（第１回）	7月11日 ～ 7月13日
上野市教育委員会	史跡上野城跡発掘調査支援	7月18日
大台町教育委員会	川合城跡発掘調査に関する事前打ち合わせ	8月 7日
飯高町教育委員会	団体営ほ場整備事業に伴う岸本遺跡の取り扱いに関する協議	8月10日
紀和町教育委員会	史跡赤木城跡に係る測量及び整備に関する現地協議（第２回）	8月22日
大台町教育委員会	川合城跡発掘調査支援	8月21日 ・ 9月11日
玉城町教育委員会	田丸城跡整備検討委員会	8月17日 ・ 3月30日
美杉村教育委員会	北畠氏館跡発掘調査支援	9月 1日
多気町教育委員会	牧場造成に伴う埋蔵文化財の取り扱い協議	9月20日
飯高町教育委員会	岸本遺跡試掘調査の現地確認及び取り扱いに関する協議	9月29日
紀和町教育委員会	史跡赤木城跡発掘調査支援（第３回）	10月 2日 ～10月 3日
南勢町教育委員会	松ハナ製塩跡の取り扱いに関する現地協議	10月11日
勢和村教育委員会	片野殿垣内遺跡発掘調査にかかる報告書作成支援	10月23日 ～ 3月31日
勢和村教育委員会	片野殿垣内遺跡発掘調査支援	10月27日
久居市教育委員会	団地造成にかかる上野遺跡発掘調査検討委員会に出席	10月27日 ・ 1月26日
玉城町教育委員会	田丸城跡遊歩道整備事業に伴う試掘調査支援	11月 7日 ～11月 8日
美杉村教育委員会	北畠氏館跡発掘調査・庭園整備に関する助言	11月 9日
紀和町教育委員会	史跡赤木城跡整備指導委員会に出席	11月10日 ～11月11日
久居市教育委員会	上野遺跡にかかる文化庁との保護協議	12月 8日
紀和町教育委員会	史跡赤木城跡石垣図面の現地校正支援（第４回）	12月11日 ～12月12日
鈴鹿市教育委員会	長者屋敷遺跡発掘調査指導委員会に出席	12月19日
北勢町教育委員会	病院建設に伴う塚原遺跡の発掘調査に関する現地協議	12月25日
阿児町教育委員会	町道建設にかかる長尾遺跡の取り扱い協議	12月28日 ・ 1月 5日
玉城町教育委員会	田丸城跡遊歩道整備事業に伴う発掘調査支援	1月 9日 ～ 1月16日
松阪市教育委員会	松阪市文化財資料館建設指導委員会への出席	1月25日
飯南町教育委員会	宅地開発に伴う磯田畑遺跡の取扱いに関する現地協議	2月15日
紀和町教育委員会	史跡赤木城跡整備完了確認及び報告書作成打ち合わせ	3月28日

〔教職員研修実施要項〕

平成13年度　埋蔵文化財教職員研修実施要項

1　目的

三重県の公立学校の教職員において、埋蔵文化財の発掘調査及び保存についての専門的知識と技術の習得に務めようとする者を対象として、三重県埋蔵文化財センターにおいて研修を実施することにより、埋蔵文化財保護行政の強化に資することを目的とする。

2　主催

三重県教育委員会

3　担当

三重県埋蔵文化財センター

4　期間

平成１３年４月１日～平成１４年３月３１日

5　場所

・三重県埋蔵文化財センター　　多気郡明和町竹川５０３

・県内各発掘調査現場等

6　人員

４名程

7　参加資格

①　県内の公立の小学校、中学校、高等学校、盲・聾・養護学校の教職員の内で、原則として大学において考古学・歴史学を専攻、もしくは発掘調査の経験のある者

②　健康で現場作業に従事できる者で、原則として昭和４１年４月以降生まれである者

8　研修内容

①　講義

総論　・文化財の保護

各論　・文化財保護法

・史跡及び埋蔵文化財保護の現状

・発掘調査方法

調査計画、集落・墳墓・生産所・窯・宮殿・官衙・寺院跡の調査

・遺物調査方法

実測原理、土器・土製品・石器・木製品・瓦の観察と整理

人骨・動植物遺体の調査

・関係学概説

建築構造、測量、保存科学、文献史学

・報告書作成方法等

②　実習

・発掘調査実習、測量実習、遺構実測実習、写真撮影実習、遺物保存処理実習

9　講師

三重県埋蔵文化財センター職員ほか

10　その他

①　研修者の出張旅費は、県の旅費規定にしたがって支給する

②　研修期間中は、当該学校に対して常勤講師の補充がなされる予定である

③　研修を終了した者は、修了証書を交付する

平成１３年度　埋蔵文化財教職員研修　年間計画表

三重県埋蔵文化財センター

内容 ＼ 月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
室内講義Ⅰ	文化財の保護行政	―											
室内講義Ⅱ	埋文調査の基礎知識	―											
基本実習	遺物実測・拓本・復元 測量機材の扱い 撮影機材の扱い	―	―	―									
発掘調査実習	地区設定・掘削・遺構検出・遺構撮影・測量・現地説明会等		―	―	―	―	―	―	―				
分布調査実習	踏査・結果報告書作成等	―								―			
試掘調査実習	地区設定・掘削・記録作成・結果報告書作成等										―		
室内講義Ⅲ	遺物各論				―	―	―	―	―	―			
報告書作成実習	遺物整理法（実習） 遺構図整理法（実習） 記述原理 報告書編集法（実習）										―	―	―
研　修　場　所		センターほか	県下各発掘調査現場・センターほか								センターほか		

〔市町村職員研修実施要項〕

三重県埋蔵文化財発掘調査市町村職員研修実施要項

1　目的

この要項は、各市町村において文化財保護行政を担当する者に対して、埋蔵文化財の保護実務と調査に関する知識や技術について研修（以下「研修」という）をおこなうにつき、必要な事項を定めるものとする。

2　研修の主体

三重県埋蔵文化財センター

3　研修の場所

三重県埋蔵文化財センター及び県内各地の埋蔵文化財発掘調査現場等

4　研修の対象

研修の対象者（以下「研修員」という）は、市町村教育委員会文化財保護行政担当職員

5　研修員の決定

(1)　市町村教育委員会教育長は、職員に研修を受けさせようとするときは、別紙様式の「研修希望調書」を三重県埋蔵文化財センター所長（以下「所長」という）に提出するものとする。

(2)　所長は、「研修希望調書」を受けた場合、その受け入れの可否を定め、研修を希望する市町村教育長に通知するものとする。

6　研修の内容

研修の内容は、別表「研修内容」のとおりとする。

7　実施時期

実施時期（各講座の履修方法）は、研修員派遣機関と協議のうえ決定する（別表[受講例]参照）。

8　修了者

所長は、研修員が全研修課程を修了したと認める時は、修了証書を交付する。

9　研修に要する費用

(1)　研修員の旅費は、研修員派遣機関において負担するものとする。

(2)　所長は、研修に必要な資料等の経費について、研修員派遣機関に実費負担を求めることができる。

10　その他

前各項に定めるもののほか、研修の実施について必要な事項は、所長が別に定める。

（附則）

この要項は、平成１２年７月３日から実施する。

(別　表)

三重県埋蔵文化財発掘調査市町村職員研修　研修内容

講　座　名	期　　間	研　　修　　内　　容
講　座　Ⅰ	1　ヶ　月　間	・関連法令等の概要 ・分布調査 ・試掘調査 ・遺跡台帳の整備等
講　座　Ⅱ	2　ヶ　月　間	・本調査の立案と準備 ・遺構の実測や写真撮影等、本調査の現場作業
講　座　Ⅲ	2　ヶ　月　間	・発掘調査資料の整理や保管の実習 遺構図面や写真等の整理 出土遺物の整理 遺物実測等
講　座　Ⅳ	2　ヶ　月　間	・報告書作成に関する実習 遺物写真撮影 遺構や遺物の図版作成 原稿執筆 レイアウト等

[註]

① 講座Ⅰについては、講座修了者と同等の知識と技術を有すると所長が認める者については省略することができる。

② 各講座の取得方法及び実施時期は、研修員派遣機関と協議のうえ決定する。

【参　考】

受講例

月	4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8
例1	Ⅰ　Ⅱ　Ⅲ　Ⅳ
例2	Ⅰ　Ⅲ　Ⅱ　Ⅳ

(別紙様式)

○○○第○○○号

平成○年○月○日

三重県埋蔵文化財センター所長　様

○○市町村教育委員会教育長　　印

研修希望調書

三重県埋蔵文化財発掘調査市町村職員研修を次のとおり希望します。

希望する講座名				
研修希望期間		年　月　日から　　年　月　日まで		
研修希望職員	ふりがな 職氏名		性別	男・女
	生年月日（年齢）	（　　歳）		
	現職年数	年　（　　年　　月以来）		
	最終学歴	学校名（　　学部　　学科）		
	発掘調査経験 （参加遺跡）	有　　無 （　　）		
その他希望事項				

Ⅳ　資料の整理・保管・公開

1　資料の整理・保管

平成 12 年度の各事業別出土品量の概数は下表のとおりであり、その整理は埋蔵文化財センター及び受託事業現場整理所等で行っている。出土品の保管については、原則として再検討・貸出等利用頻度の高いものを埋蔵文化財センター内の収蔵庫に、その他のものは各地収蔵庫に保管している。

一方、実測図面・写真フィルム類についても出土品と同様に整理し収蔵庫１に保管している。また、受贈図書は、１，６８６冊あり、図書室及び埋蔵文化財センター内の図書棚に分類保管して職員の利用に供している。

〔平成 12 年度出土品量（概数）〕

事業名		今年度出土量
県事業関係		１，０４１
受託事業関係	東海環状建設関係	１０
	中勢道路建設関係	２１９
	第二名神建設関係	６９８
	宮川用水建設関係	４２
埋蔵文化財センター分　計		２，０１０
斎宮歴史博物館分		３２０
合　計		２，３３０

＊　数量は、平成 12 年度末時点の量をコンテナバット(55 cm×35 cm×15 cm)に収納した場合の箱数である。

＊　平成 12 年度出土分は、正式収蔵時に再整理するため、その時点で箱数が変動する。

＊　出土品保管量については、収蔵スペースの確保のために出土品収納方法の見直しと再収蔵を実施したことにより、前年度数量より減少している。

〔出土品保管状況（概数）〕

施設名		出土品保管量
各地収蔵庫	桜橋収蔵庫	１９，７６７
	藤方収蔵庫	６，３６４
	上野収蔵庫	３，３１０
	高茶屋収蔵庫	２，４３５
受託現場整理所（一時保管）	東海環状整理所	２７５
	中勢道路整理所	３，９７９
	第二名神整理所	１，５１４
	玉城整理所	９５
埋蔵文化財センター内	収蔵庫１	２０７
	収蔵庫２	３，１９１
	仮設収蔵庫	２，８５３
埋蔵文化財センター分　計		４３，９９０
斎宮歴史博物館	収蔵庫２	１１，８６３
合　計		５５，８５３

2　科学的保存処理

埋蔵文化財センターには、出土品の保存処理を実施するため保存科学室１（木製品保存処理）にＰＥＧ樹脂含浸装置２基、保存科学室２（金属製品保存処理）に減圧樹脂含浸装置１基ほかが設置されている。また、中勢道路整理所にもＰＥＧ含浸装置１基が設置されている。

専任の担当職員は配置されていないが、保存処理技術を研修した職員等が保存処理にあたっている。

3　資料の公開

〔出版物の刊行〕

発掘調査報告書・発掘調査概報・埋蔵文化財展パンフレットのほかに『平成 11 年度三重県埋蔵文化財年報』『三重県埋蔵文化財センター研究紀要 10』『三重県埋文センター通信みえ』№30・31 等を刊行し、関係機関等へ配布している。

〔現地説明会〕

発掘調査の途中あるいは終了時に、県民の文化財保護への理解を深めるため現地説明会を開催し、その調査結果について報告を行っている。当埋蔵文化財センターが調査主体となった発掘調査の現地説明会は次表の通りである。

〔現地説明会・遺跡調査報告会等一覧〕

遺　跡　名	所　在　地	担当課	開催日	参加人数
広山遺跡・広山Ｂ遺跡	東員町字広山	調査第二課	H12. 10. 1	30名
伊坂城跡	四日市市伊坂町	調査第二課	H12. 10. 1	220名
松尾前田遺跡（みえ出前トーク）	鳥羽市松尾町	調査第一課	H12. 10. 28	60名
市場遺跡（展覧会・スライド会）	関町字加太市場	調査第一課	H12. 11. 19	120名
菟上遺跡	四日市市伊坂町	調査第二課	H12. 11. 26	160名
曽祢崎古墳群・北野遺跡（展覧会）	明和町明星地区内	資料普及ｸﾞﾙｰﾌﾟ	H12. 11. 25～26	180名
伊坂城跡	四日市市伊坂町	調査第二課	H12. 12. 10	90名
西ヶ広遺跡	四日市市伊坂町	調査第二課	H12. 1. 14	130名
宮ノ前遺跡・八重垣神社遺跡	鈴鹿市十宮町	調査第一課	H12. 2. 18	230名
川島遺跡（遺跡調査報告会）	松阪市川島町	調査第一課	H12. 3. 16	30名
第二名神関連遺跡（展覧会）	四日市市伊坂町	調査第二課	H12. 3. 15～20	150名
第二名神関連遺跡（講演会）	四日市市伊坂町	調査第二課	H12. 3. 18	40名
合　　計		１２遺跡 １２件		1,440名

〔三重県庁舎内県民ホールでの常設展示〕

県内各地の発掘調査で出土した各種出土品を三重県庁の県民ホールで常設展示し、貴重な歴史的遺産である埋蔵文化財を、より広範な県民に公開する目的で平成 10 年度から実施している。展示資料としては、話題性に富むもの、地域の歴史文化の特色をあらわすもの、全国的に注目されるものなどの観点から、毎回数点を選び、簡単で分かりやすい解説をつけて展示している。展示内容は年３～４回更新するものとし、今年度は、平成 12 年４月～同年８月まで大安町宮山遺跡出土の石器、平成 12 年８月～同年 11 月まで松阪市古樽通りＢ遺跡出土土師器、平成 12 年 11 月～平成 13 年５月中旬（予定）まで紀伊長島町道瀬遺跡出土遺物を展示した。

〔三重県埋蔵文化財展〕

三重県埋蔵文化財展は、昭和 56 年から三重県教育委員会が主催して、各市町村を会場に毎年実施してきた。平成元年度からは三重県埋蔵文化財センターが主催し、三重県が実施した発掘調査の成果および市町村主体の発掘調査の成果を展示して広く県民に公開し、生涯教育の一環として埋蔵文化財保護思想の普及公開に努めている。平成 12 年度は、８月１日～９月３日の 30 日間、斎宮歴史博物館特別展示室において、生産遺跡をテーマとした第 20 回三重県埋蔵文化財展「作る・造る・創る」を開催した。入場者数は 2,674 人であった。

第２０回 三重県埋蔵文化財展「作る・造る・創る」

1　「作る・造る・創る」～三重の生産遺跡～　開催趣旨

道具は人の生活にとって必要不可欠である。人の歴史はモノ作りの歴史という側面もあろう。今回は「作る・造る・創る」と題して、発掘調査で明らかになった主な県内の生産関連遺跡の出土品などをまとめて展示する。過去のモノ作りという切り口から、先人の知恵と工夫に思いをはせ、これからのモノ作りを考える契機としたい。

2　主　　催　　三重県埋蔵文化財センター

3　期　　間　　平成 12 年８月１日(火)～平成 12 年９月３日(日)
開館時間　9：30～17：00
休館日　月曜日

4　会　　場　　斎宮歴史博物館 特別展示室　　多気郡明和町竹川 503 番地

5　入 館 料　　第 20 回 三重県埋蔵文化財展のみ無料

展示資料一覧

遺跡名	所在地	資料名	管理者
内垣内遺跡	多気町	石器接合資料	三重県埋蔵文化財センター
山崎遺跡	度会町	石器接合資料	三重県埋蔵文化財センター
粥見井尻遺跡	飯南町	剥片、石鏃、槍先、土偶、矢柄研磨器	三重県埋蔵文化財センター
宮山遺跡	大安町	磨製石斧未製品	三重県埋蔵文化財センター
納所遺跡	津市	木製品未製品（容器・鍬・鋤・斧）	三重県埋蔵文化財センター
水池土器製作遺跡	明和町	パネル展示	明和町教育委員会
戸峯遺跡	明和町	パネル展示	明和町教育委員会
北野遺跡	明和町	土師器焼成坑はぎ取り資料、土師器（椀・高杯・鍋・甕・有孔広口筒形土器）	三重県立博物館 三重県埋蔵文化財センター
久居古窯跡群	久居市	須恵器(杯蓋・杯身・高杯・器台・甕・有蓋高杯)	三重県埋蔵文化財センター
明気窯跡群	多気町	ヘラ記号のある須恵器	三重県埋蔵文化財センター
御墓山窯跡	上野市	須恵器（杯蓋・杯身・高杯・短頸壷・長頸壷・平瓶・鉢・円面硯・中空円面硯・鈴形土製品・馬形土製品）	上野市教育委員会
岡山窯跡群	四日市市	須恵器（杯蓋・杯身・高杯・提瓶・はそう・円面硯・托・瓦塔・壷・甕）、窯壁、陶器（山茶椀・山皿・耳皿）	四日市市教育委員会
石塚埴輪製作遺跡	鈴鹿市	埴輪（円筒・朝顔形・きぬがさ・盾形	鈴鹿市考古博物館
川原井瓦窯	鈴鹿市	軒丸瓦、軒平瓦	三重県埋蔵文化財センター
牧瓦窯	多気町	軒丸瓦、軒平瓦、窯壁、土師器甕	三重県埋蔵文化財センター
多気遺跡群	美杉村	土師器皿	三重県埋蔵文化財センター
弥助窯跡	阿山町	碗、行平鍋、土瓶、蓋、扇面皿、窯道具	三重県埋蔵文化財センター
名谷遺跡 正治寺遺跡	朝日町	腥臙脂釉蓋菓子器、赤絵雪輪菓子器、陶器片、窯道具	朝日町歴史博物館
道瀬遺跡	紀伊長島	平釜、陶器（山茶椀・山皿）	三重県埋蔵文化財センター
西黒部遺跡群	松阪市		三重県埋蔵文化財センター
池ノ谷遺跡	勢和村	朱付着縄文土器、石皿、磨石	勢和村ふるさと交流館
	勢和村	辰砂原石	勢和村ふるさと交流館
天白遺跡	嬉野町	縄文土器（朱付着破片・深鉢・小型壷形土器・注口土器）、土偶、磨石 石皿、磨石	三重県埋蔵文化財センター 嬉野町教育委員会
丸山口水銀採掘坑跡群	勢和村	打割具	三重県埋蔵文化財センター
前田町屋遺跡	三雲町	二重口縁壷、石杵	三重県埋蔵文化財センター
位田遺跡	津市	石皿、磨石	三重県埋蔵文化財センター
阿形遺跡	松阪市	鉢	三重県埋蔵文化財センター
火山遺跡	上野市	フイゴ羽口、三叉状土製品	三重県埋蔵文化財センター
西田遺跡	上野市	鋳型（釜、不明）	上野市教育委員会
紀州鉱山	紀和町	黄銅鉱原石、ホタル石、カラミ	紀和町鉱山資料館

4　三重県埋蔵文化財センターホームページの開設

三重県埋蔵文化財センターの事業内容や、発掘調査、現地説明会の情報、収蔵品の紹介等をインターネットを介して多くの人々に公開し、埋蔵文化財に対する理解と文化財保護意識を高めるために、ホームページを作成し、平成13年4月1日から運用を開始した。ホームページの運営に当たっては、三重県立博物館、三重県立美術館、斎宮歴史博物館が進めている「三重デジタルミュージアムネットワーク事業」（以下、三重ＤＭＮ）に参画し、共有する三重ＤＭＮサーバを利用することにより、4館の横断的な連携を図った。

〔ホームページの主な内容〕

○センターの紹介　主に内部のこと（役割・仕事、内容・組織、発掘、整理、保存、研修
　　みなさんに直接関係すること（案内地図、施設紹介、普及・公開）

○発掘最前線（遺跡詳細情報、現地説明会、遺跡位置図）

○ご利用方法と手続き（資料の閲覧申請、資料の借用・掲載許可申請、遺跡・施設見学申請、発掘成果お届会）

○収蔵品ギャラリー

◆アドレス名　http://www.museum.pref.mie.jp/maibun

5　保管出土品等の貸出・写真等の掲載及び閲覧

資料名	申請者	目的	期間	許可日
図書の閲覧	松本宗一朗	修士論文資料調査	4/5	4/5
雲出島貫遺跡全景写真	伊藤裕偉	「あるく中世」第16号に掲載		4/6
納所遺跡出土琴写真	津市教育委員会	「津のまちときめきゼミナール報告書」の表紙に掲載	4/10～ 5/20	4/14
大会遺跡出土遺物写真	日本歴史学会	「日本歴史」第625号巻頭口絵に掲載		4/18
安濃津柳山遺跡写真	朝日新聞社・アサヒグラフ編集部	「関東学発見－東国の内海世界」（仮題）に掲載		4/20
位田遺跡等朱関連遺物	奥　義次	個人研究	5/17	5/17
展示パネル	国史跡斎宮跡保存協会	「斎宮子ども写生大会」の作品展示	5/19～6/4	5/19
小谷13号墳出土遺物他	吉田和彦	論文作成資料調査	5/26	5/26
六大Ａ遺跡出土遺物	ＮＨＫ津放送局	「ナビゲーション」～検証国内最大船形埴輪～で放映	6/5～ 6/16	6/1
六大Ａ遺跡等遺物・写真	大阪府立弥生文化博物館	「卑弥呼の音楽会－まつりのひびき－」に展示及び図録掲載	6/1～12/ 8	6/1
小谷13号墳出土鑷子写真・実測図	吉田和彦	「別府大学史学論叢」に掲載		6/2
伊坂城跡出土遺物等閲覧	四日市市教育委員会	企画展の資料調査	6/13	6/7
内垣内遺跡出土遺物	長屋幸二	修士論文資料調査	6/8	6/8
粥見井尻遺跡出土土偶写真等3点	株式会社北白川書房	「月刊みえ」7月号に掲載	6/14～7/1	6/14
天白遺跡出土遺物・写真	川崎市市民ﾐｭｰｼﾞｱﾑ	「縄文の華」展に展示及び図録掲載	6/30～10/31	6/15
六大Ａ遺跡木製品	松阪市教育委員会	特別展「船形はにわが語りかけるもの」に展示	7/13～8/24	6/19
舞出北遺跡等写真	新人物往来社	中世都市研究第7号『都市の求心力』	6/23～ 8/20	6/23
伊坂城跡写真	山川出版社	『三重県の歴史』に掲載		6/27
展示ケース	三重県立博物館	県民ロビー展示に使用	6/28～3/31	6/27
遺跡台帳閲覧	加藤真弓美	卒業研究（データベース作成）	7/3～7/4	7/3
納所遺跡等出土遺物閲覧	奥　義次	個人研究	7/5	7/5
遺跡台帳	加藤真弓美	卒業研究（データベース作成）	7/6	7/6
下川遺跡等犬形土製品	上野市教育委員会	上野市歴史民俗資料館で展示	7/7～1/12	7/6
西ケ広遺跡等出土遺物・調査写真閲覧	四日市市教育委員会	「四日市市発掘展」借用リスト作成	7/21	7/21
堀田遺跡（第3次）出土遺物閲覧	斎宮歴史博物館	斎宮跡出土遺物との比較研究	7/25	7/25
山村遺跡調査風景写真等	大成ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ	会社案内用パンフレットに掲載		8/2
安濃津柳山遺跡空中写真	旅行読売出版社	月刊旅行読売10月号「にっぽん秘話紀行」に掲載	8/2～8/20	8/2
浄土寺南遺跡等出土遺物及び写真	安濃町教育委員会	「津広域圏の古代展」に展示及び図録掲載	8/11～11/22	8/8
納所遺跡出土竪櫛写真	株式会社小学館	「日本歴史事典」第3巻に掲載	8/8～12/20	8/8
芸濃町内出土遺物閲覧	細谷公大	資料調査	8/9	8/9
第二名神関連発掘調査遺跡出土遺物及び遺構写真	四日市市教育委員会	「第5回発掘展　四日市市埋蔵文化財展2000」に展示及びﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄに掲載	9/7～10/13	8/14
内垣内遺跡旧石器閲覧	手島美香	修士論文作成	9/11～9/12	8/22
粥見井尻遺跡土偶写真	株式会社講談社	「日本の歴史」01巻に掲載		8/31
宮山遺跡出土石製品ほか	鈴鹿市考古博物館	特別展「石と人のくらし」に展示	9/11～12/10	9/4

資料名	申請者	目的	期間	許可日
雲出島貫遺跡等遺物・写真	斎宮歴史博物館	特別展「器は語る 700 年」に展示及び図録に掲載	9/25～12/1	9/4
鴻ノ木遺跡等石器閲覧	永野　仁	卒業論文作成	9/7～9/8	9/7
六谷遺跡等出土遺物閲覧	熊崎　司ほか	修士論文作成	9/7～9/8	9/7
広永遺跡遺物出土状況写真ほか	四日市市境域委員会	「第 5 回発掘展　四日市市埋蔵文化財展 2000」ﾘｰﾌﾚｯﾄに掲載	9/7～10/13	9/7
納所遺跡等遺物閲覧	川崎雅史	類例調査	9/14	9/14
安養寺跡出土遺物閲覧	深津睦夫	中世文学界秋季大会実地踏査	10/30	9/20
門脇北古墳写真ほか	安東小学校長	校内歴史マップ刷新	9/22～10/31	9/22
井田川茶臼山古墳鉄器実測及び写真撮影	豊島直博	研究論文作成	10/3～10/4	9/27
芸濃町内遺跡遺物閲覧	細谷公大	皇學館大學祭展示候補遺物下見	9/29	9/29
東庄内Ａ遺跡遺物他閲覧	田村陽一	相可高校日本史授業の教材研究	10/14・12/2	10/4
森山東遺跡遺構写真ほか	津市教育委員会	「津市埋蔵文化財ｾﾝﾀｰ年報 5」に掲載		10/11
内垣内遺跡旧石器実測・写真撮影	内山ひろせ	個人研究	10/25	10/17
安濃津遺跡中世遺物閲覧	前川　要	資料調査	10/26	10/17
おじょか古墳埴製枕写真	松阪市文化財ｾﾝﾀｰ	ビデオ仮題「宝塚 1 号墳の船形埴輪」に掲載		10/18
遺跡台帳	加藤真弓美	卒業研究（データベース作成）	10/19・23	10/19
芸濃町内遺跡出土遺物	渡辺　寛	大学祭企画展「芸濃町の遺跡」に展示	11/1～11/8	10/23
坂倉遺跡出土石器閲覧	永野　仁	卒業論文作成	10/25～11/1	10/25
小谷古墳群出土遺物実測		卒業論文作成	11/10	11/10
粥見井尻遺跡土偶写真	Fumiko Ikawa－Smith	Gender in Japanese prehistory に掲載		11/10
天白遺跡土偶写真撮影	杉山和隆	卒業論文作成	11/29	11/14
中世港湾都市遺跡ほか	鹿児島県立埋蔵文化財ｾﾝﾀｰ所長	調査研究の実態調査	12/5	11/16
粥見井尻遺跡土偶及び写真	東京国立博物館長	特別展「土器の造形－縄文の動・弥生の静－」に展示及び図録掲載	1 月初旬～3 月下旬	11/17
北野遺跡土師器甕	佐久市教育委員会	北野型甕の胎土分析	11/29	11/29
ヲノ坪窯跡出土埴輪閲覧	中川千恵美	卒業論文作成	12/5	12/5
辻子遺跡遺物写真ほか	日本道路公団名古屋建設局	名古屋建設局建設誌に掲載		12/15
納所遺跡竪櫛写真	三島町長	「縄文の匠たち・荒屋敷遺跡展」図録に掲載	12/15～2/28	12/15
金剛坂遺跡弥生土器閲覧	石黒立人	個人研究	1/9～1/10	12/18
平生遺跡ほか土師器閲覧	熊崎　司	修士論文作成	12/19	12/19
西ケ広遺跡遺構平面図	（株）発掘建設ﾘﾝｸ	会社ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄに掲載	1/1～H17.12/31	12/22
小谷 13 号墳調査写真	元興寺文化財研究所	元興寺文化財研究所要覧に掲載		12/28
宮地中世墓群発掘調査報告書掲載写真	多度町教育委員会	多度町文化財マップ		1/16
位田遺跡測量成果簿ほか	津市埋蔵文化財ｾﾝﾀｰ	位田遺跡発掘調査の参考	1/19	1/18
六大Ａ遺跡木製品写真	株式会社東京美術	大田区立郷土博物館展覧会図録「ものづくりの考古学」に掲載		1/30
伊坂城跡現地説明会資料及び屋敷跡写真	ｼﾞｬﾊﾟﾝ通信情報ｾﾝﾀｰ	「文化財発掘出土情報」3 月号に掲載	2/7～3/15	2/2
東浦遺跡ほか遺物・遺構写真	津市教育委員会	「津市の遺跡シリーズ①　津市の縄文時代」に掲載		2/2
徳居窯跡群遺物実測図	河芸町教育委員会	「河芸町史　本文編」に掲載		2/13
橋垣内遺跡遺物閲覧	近藤　広	個人研究	2/16	2/16
井田川茶臼山古墳象嵌太刀閲覧	群馬県埋蔵文化財調査事業団	調査研究	2/22	2/19
高井Ａ遺跡ほか遺構写真	鈴鹿市考古博物館	企画展「鈴鹿の遺跡４　中勢ﾊﾞｲﾊﾟｽ関連発掘調査展」ﾊﾟﾈﾙ展示・ﾊﾟﾝﾌ掲載	2/21～3/23	2/20
石薬師東古墳馬形埴輪	山口　格	個人研究	3/2	2/22
高井Ａ遺跡ほか出土遺物	鈴鹿市考古博物館	企画展「鈴鹿の遺跡４　中勢ﾊﾞｲﾊﾟｽ関連発掘調査展」ﾊﾟﾈﾙ展示・ﾊﾟﾝﾌ掲載	3/12～7/1	2/28
調査報告書閲覧	西脇智広	卒業論文作成	3/8	3/8
北野遺跡出土土器閲覧	大竹弘之	個人研究	3/14	3/14
調査報告書閲覧	葛山拓也	類例調査	3/22	3/21
鴻ノ木遺跡遺構写真	新潮文庫編集部	森浩一「語っておきたい古代史－倭人・クマソ・天皇をめぐって」口絵掲載	3/26～5/10	3/26
納所遺跡弥生土器他閲覧	岡安雅彦	資料調査	3/26	3/26

6　保管出土品等の長期貸出

資料名	申請書	目的
山王遺跡出土遺物一括	桑名市教育委員会	市民への資料公開
落川原遺跡石帯1点	四日市市立博物館	四日市市立博物館で展示公開
丹生川上城跡出土白磁小壺等14点	朝日町歴史博物館	朝日町歴史博物館で展示公開
東庄内B遺跡出土土器及び炭化米	鈴鹿市教育委員会	鈴鹿市稲生民俗資料館で展示公開
東庄内A遺跡出土土器等41点	鈴鹿市考古博物館	鈴鹿市考古博物館で展示公開
正知浦遺跡出土石器等298点及び井田川茶臼山古墳出土遺物一括	亀山市歴史博物館	亀山市歴史博物館で展示公開
赤坂遺跡出土土器等8点	芸濃町教育委員会	芸濃町総合文化センターで展示公開
多気遺跡群土井沖地区出土瓦等20点	美杉村教育委員会	美杉村ふるさと資料館で展示公開
鴻ノ木遺跡出土土器等3点	松阪市教育委員会	松阪市文化財センターで展示公開
井尻遺跡・若宮遺跡出土土器等27点	勢和村ふるさと交流館	勢和村立資料館で展示公開
寺垣内遺跡出土土器5点	明和町教育委員会	明和町立ふるさと会館内で展示公開
城之越遺跡出土土器等15点	上野市教育委員会	城之越遺跡　城之越学習館で展示公開
陶器壺（蓄銭容器）等157点	地方職員共催組合三重県支部	榊原保養所神湯館で展示公開
北野遺跡出土土器4点	斎宮歴史博物館	斎宮歴史博物館で展示公開
近代古墳出土土器等19点	上野市教育委員会	上野市歴史民俗資料館で展示
浮田遺跡B地区出土土器等	上野市教育委員会	上野市歴史民俗資料館で展示

V　行政資料

1　県内埋蔵文化財数

教育事務所	散布地	古墳	寺社跡	城館跡	古窯跡	その他	計
北勢	1，132	1，359	54	199	64	79	2，889
中勢	826	1，794	43	129	30	54	2，876
松阪	744	1，165	51	75	32	17	2，084
南勢・南勢	702	794	21	108	14	234	1，873
上野	529	1，502	266	598	28	179	3，102
尾鷲	42	4	0	19	1	7	73
熊野	99	0	1	64	0	2	166
合計	4，074	6，618	436	1，192	169	572	13，061

平成13年3月31日現在

2　県、市町村別の発掘調査件数及び面積の実績

（昭和45～63年分は『三重県埋蔵文化財センター年報4』参照）

		三重県埋蔵文化財センター担当							斎宮歴史博物館担当	その他の県組織担当	市町村担当								合計
		農林水産商工部関係	県土整備部関係	県関係その他	国土交通省関係	道路公団関係	国・公団関係その他	小計			土地改良等	道路・河川等	ゴルフ場	団地・個人住宅	工場造成地	土取り等	その他	小計	
平成元年度	件数	106	3	0	10	9	0	128	21	0	3	12	1	13	4	3	15	51	200
	面積	43,445	6,234	0	34,780	40,408	0	124,867	11,471	0	1,800	15,900	300	30,500	6,800	3,400	16,200	74,900	211,238
平成2年度	件数	61	15	2	7	10	0	95	11	0	9	9	2	20	10	5	13	68	174
	面積	43,765	8,696	648	31,372	18,790	0	103,271	5,697	0	16,900	19,700	3,500	27,900	15,400	8,000	17,300	108,700	217,668
平成3年度	件数	67	30	1	10	2	0	110	8	0	9	14	2	40	13	0	14	92	210
	面積	39,412	7,388	8	15,428	3,052	0	65,288	5,534	0	13,700	10,100	10,200	51,800	12,400	0	9,800	108,000	178,822
平成4年度	件数	50	29	0	15	0	0	94	9	0	6	13	4	38	17	3	28	109	212
	面積	29,210	9,864	0	17,485	0	0	56,559	3,954	0	13,700	14,000	15,600	15,400	45,200	500	8,000	112,400	172,913
平成5年度	件数	63	33	2	18	0	0	116	13	0	15	12	0	29	7	3	35	101	230
	面積	26,178	10,507	1,436	21,384	0	0	59,505	4,760	0	15,200	13,300	0	20,000	22,000	200	20,000	90,700	154,965
平成6年度	件数	75	45	2	18	0	1	141	9	0	10	14	0	31	3	8	37	103	253
	面積	32,256	11,475	2,000	31,178	0	816	77,725	3,770	0	24,347	8,651	0	13,788	830	440	20,511	68,567	150,062
平成7年度	件数	69	47	13	17	0	2	148	5	0	9	15	0	29	6	4	43	106	259
	面積	29,221	12,369	8,249	37,783	0	2,000	89,622	3,425	0	18,191	10,717	0	5,252	2,947	1,001	18,457	56,565	149,612
平成8年度	件数	67	70	25	19	1	0	182	10	0	10	23	0	157	3	6	40	239	431
	面積	15,293	19,252	18,176	30,054	160	0	82,935	3,986	0	21,293	6,769	0	43,038	842	1,325	19,324	92,591	179,512
平成9年度	件数	37	81	8	6	6	2	140	11	0	24	31	0	81	2	9	72	219	370
	面積	21,709	34,383	6,193	18,601	2,637	3,345	86,868	4,155	0	34,484	34,810	0	11,157	124	322	13,396	94,293	185,316
平成10年度	件数	30	72	5	9	13	21	150	6	1	7	27	0	114	4	5	99	256	413
	面積	19,088	36,400	2,558	9,241	26,771	3,677	97,735	2,025	48	5,123	18,432	0	29,527	5,605	5,788	23,111	87,586	187,394
平成11年度	件数	31	62	6	4	16	23	142	8	0	17	27	0	106	7	3	53	213	363
	面積	16,158	30,587	8,204	3,484	43,452	1,643	103,528	3,622	0	14,449	11,030	0	12,317	3,844	802	14,351	56,793	163,943
平成12年度	件数	21	62	0	10	17	11	121	11	0	10	33	0	98	6	4	120	271	403
	面積	11,775	16,845	0	14,150	40,871	2,168	85,809	2,115	0	12,104	13,479	0	62,810	4,153	3,320	35,215	131,081	219,005

3　文化財保護行政にかかる県の役割について（県教育長通知）

〔平成12年3月31日付け、教生第1745号、市町村教育委員会教育長宛〕

「新しい三重のくにづくり宣言」では，生活者起点の県政の推進を第一に掲げており，そのために住民の自主的，主体的な活動の支援，住民参画の推進，情報公開等を積極的に行っていくこととしています。こうした動きに呼応して，住民により近い市町村の役割がますます大きくなってきます。

県は広域的，総合的な視点から，市町村の政策が円滑に推進されるよう支援するとともに，県と市町村が共通の課題に向かってよりよい協力関係を構築し，共通の目標に取り組めるよう努め，今後は住民に身近な事務はできるだけ市町村が行えるようにすべきと考えます。

したがって文化財保護行政におきましても，県が果たす役割を下記のとおり定めるものとしますので，御了知くださるようお願いします。

＜別　添＞

文化財保護行政にかかる県の役割について

1　調査に関すること

保護すべき文化財の全県下あるいは広域にわたるエリアを対象とした悉皆調査等を市町村の協力を得て行います。

地域を定めない国及び県指定の天然記念物の生息状況等についての調査を行います。

2　保護・管理に関すること

(1)　文化財の指定等について

国指定文化財及び登録有形文化財の候補について，国及び市町村との調整を行います。また，三重県文化財保護条例（以下，「条例」という）に基づき，三重県にとって重要な文化財の指定に関する事務を行います。

(2)　指定文化財の管理について

国指定文化財等の管理・保存状況把握のための巡視，国及び県指定文化財の現状変更と保護に関する助言並びに文化財保護法又は，条例の規定により市町村に委任されることとなったものを除く現状変更，所有者及び所在場所変更等にかかる事務を行います。

国・県指定文化財の所有者あるいは管理者が行う保護事業への支援と補助金等にかかる事務を行います。

条例に基づき，銃砲刀剣類，天然記念物紀州犬及び日本鶏の登録審査を行います。

(3)　普及・啓発事業について

市町村文化財担当職員並びに文化財調査員等を対象とした普及・啓発を目的とした文化財講習会等の開催や三重県の文化財保護に関する年報等を刊行します。

県内の無形の文化財の保護・伝承に資するため，民俗芸能大会等の特別公開事業や伝統文化の支援事業等へ伝承団体の派遣を支援します。

3　埋蔵文化財に関すること

(1) 基本方針の策定

埋蔵文化財保護のための基本方針や標準を定め，行政の客観化・平準化に努めます。

(2) 人材育成のための研修

埋蔵文化財発掘調査技術者を養成するため，教員や市町村職員等を対象とした研修を実施します。

(3) 埋蔵文化財包蔵地の決定

文化財保護法に基づき，市町村等が把握した遺跡の所在及び範囲について，当該の市町村と協議し，調整のうえ，周知の埋蔵文化財包蔵地として決定します。

(4) 開発事業にかかる埋蔵文化財の発掘調査等

原則として市町村が実施するものとしますが，広域性や公共性，調査の規模及び調査体制等を勘案し，市町村と調整のうえ，これを代務あるいは支援又は助言を行います。

4　埋蔵文化財および出土品の取扱い基準について（県教育長通知）

〔平成 12 年３月 31 日付け、教生第 1744 号、市町村教育委員会教育長宛〕

埋蔵文化財は，国民共有の財産であるとともに，それぞれの地域の歴史と文化に根差した歴史的遺産であり，地域の歴史・文化環境を形成する重要な要素であります。したがってその重要性を鑑み，開発事業等の調整にあたっては，可能な限り客観的・標準的な基準に即し，埋蔵文化財の保護の趣旨を十分説明し，理解と協力を求める必要があります。

平成９年８月１３日付け庁保記第１８２号，文化庁次長通知「出土品の取扱いについて」で，出土品の分類および保管に関する基準，さらに平成１０年９月２９日付け庁保記第７５号，文化庁次長通知「埋蔵文化財の保護と発掘調査の円滑化等について」で，埋蔵文化財として扱うべき遺跡の範囲や，記録保存のための発掘調査の要否の判断等に関する適用基準などを各都道府県で策定することが求められております。

また，平成１０年５月２９日に「地方分権推進計画」が政府で閣議決定されたのに続き，平成１１年７月１６日には文化財保護法も含めた「地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律」が公布され，平成１２年４月１日より施行されます。これに伴い三重県文化財保護条例及び三重県文化財保護条例施行規則の一部改正も行われることとなりました。

県教育委員会ではこうした動きに呼応して，平成１１年７月に「文化財保護行政推進検討委員会」を設置し，その作業部会である「埋蔵文化財諸課題検討部会」のなかで埋蔵文化財ならびに出土品の取扱いについて検討を重ねてきました。

これらの状況を踏まえ，別添資料１及び２のとおり，埋蔵文化財及び出土品の取扱いに関する県内共通の諸基準を定めますので，貴教育委員会におかれましては，埋蔵文化財保護行政のなお一層の充実に努められますとともに，関係部局との調整に遺漏のないようお願いします。

本通知により，昭和５５年９月１９日付け教文第５２０号，「開発事業にかかる埋蔵文化財の取扱いについて」の通知は廃止します。

＜別添資料１＞

埋蔵文化財の取扱いに関する基準

1　埋蔵文化財として扱う範囲の基準

地下に埋没している遺構や遺物，そしてこれらを包括する遺跡は，地域の歴史を明らかにする証であり，すべての時代に属するあらゆる種類のものが埋蔵文化財の対象となりうる。しかし，近世以降の遺跡については，文献・絵地図・民俗資料等，埋蔵物以外の情報も入手可能であり，地域の歴史的特性や遺跡の遺存状況等も考慮のうえ，選択的に取扱うのが適当である。このことから法律上，保護対象とする埋蔵文化財（周知の埋蔵文化財包蔵地という）は，当面，次の原則によるものとする。

①中世以前の遺跡は，原則として対象とする。

②近世の遺跡は，地域の特性に応じて必要なものを対象とすることができる。

③近現代の遺跡は，地域において特に重要なものを対象とすることができる。

さらに，範囲の基準の主たる要素となる遺跡の種類・その属する時代における歴史的意義や，遺跡の所在する地域の歴史的特性・他の補完資料（例えば文献・絵地図・民俗資料等）の有無・遺跡の遺存状況等の副次的要素を市町村教育委員会が勘案のうえ，必要に応じて県教育委員会と協議・調整し，総合的に判断する。

2　埋蔵文化財包蔵地の所在・範囲の把握と周知に関する基本的事項

(1)　埋蔵文化財包蔵地の所在と範囲を的確に把握し，これを「遺跡地図」等として資料化するなどして，県民へ周知の徹底を図ることは，埋蔵文化財保護行政の基本的事項である。

(2)　そのため，県及び市町村は，常に連携をとって開発事業に伴って実施された分布調査，試掘・確認調査，その他の発掘調査の成果に加えて，悉皆的に実施される遺跡詳細分布調査に基づき，埋蔵文化財包蔵地の所在と精度の高い範囲の把握に努める必要がある。

(3)　埋蔵文化財包蔵地の所在・範囲の把握は，地域に密着し，より状況を把握しやすい市町村が行うこととし，市町村の実情に応じて県は適宜助言を行うとともに，遺跡地図作成等への支援を行う。

(4)　埋蔵文化財包蔵地の決定にあたっては，市町村が実施した分布調査結果等に基づき個別の遺跡の所在・範囲について県教育委員会と市町村教育委員会が協議・調整のうえ県教育委員会が決定するものとする。

(5)　(4)により決定された周知の埋蔵文化財包蔵地については，「遺跡地図（1/2,500 の地図を基本とする）」や「遺跡台帳」に登載し資料化を行い，市町村は共有する同一資料を，それぞれの担当部局や関連施設等において常備し閲覧可能にする等で周知の徹底に努めなければならない。

(6)　埋蔵文化財包蔵地の所在・範囲は，開発事業等に伴う分布調査や発掘調査等により日々新しい情報が蓄積されるため，表示内容を適正に更新する必要がある。そのため随時，基本原図の修正を行ったり，コンピューターを利用した遺跡地図情報システムの導入を進めるなど，常に最新の情報を県民に周知できるよう努める必要がある。

3　本発掘調査を要する場合の判断基準

(1)　地下遺構の状況，その種類・性格等から判断する場合の基準

①　遺構が存在する場合はその範囲とする。また遺構がない場合でも，広場等歴史的意味がある場所や祭祀等で廃棄された遺物が集積する場所は原則として遺跡に含める。

②　遺物包含層のみの場合は，一定の量まとまって所在する区域。ただし遺物の量が少ない場合でも地域性や時代性等の特性を考慮して範囲を判断する場合がある。

③　田畑や近世の都市・集落等を構成する一部の遺構は，地域性，遺構の残存状況，これまでの調査成果の蓄積，考古学関係以外の諸情報等を総合的に勘案し，範囲を判断する。

(2)　工事の内容が地下遺構に与える影響の度合により判断する場合の基準

①　工事により埋蔵文化財が掘削され，破壊される場合。

②　工事によって地下の埋蔵文化財に影響を及ぼすおそれがある場合。

③　恒久的な工作物の設置により，相当期間にわたり埋蔵文化財と人との関係が絶たれ，当該埋蔵文化財が損壊したのに等しい状態となる場合。

本発掘調査を要するか否かの判断及びその範囲の決定にあたっては，試掘確認調査等により十分な判断情報を得るとともに，県教育委員会が市町村教育委員会の意見を聞き，調整のうえ行うものとする。

4　工事立会・慎重工事を要する（求める）場合の判断基準

(1)　工事立会を要する（求める）場合。

①　対象地域が狭小で通常の発掘調査ができない場合，②工事が埋蔵文化財を損壊しない範囲で計画されているが現地で状況を確認する必要がある場合。

なお，工事立会に際しては，①埋蔵文化財担当職員が立会うこと，②遺構等が確認された場合は，記録保存の措置をとることを条件とする。

(2) 慎重工事を求める場合。

工事が埋蔵文化財を損壊しない範囲で計画されており，埋蔵文化財包蔵地において工事を行うものであることを認識のうえ，慎重に施工すれば，本発掘調査，工事立会の必要がないと考えられる場合。

なお，慎重工事の際に遺構・遺物を発見した場合には，県あるいは市町村教育委員会と連絡をとることを条件とする。

＜別添資料２＞

出土品の取扱いに関する基準

1 出土品の取扱いに関する基本的な考え方

(1) 出土品とは，発掘調査現場等で取り上げられたすべてのものをいう。

(2) 出土品には，三重県教育委員会が鑑査し「文化財」と認定するもので，その保存，活用のために必要な措置を講じなければならないものと，これ以外のものがある。

(3) 上記の分類・選択は，下記に示す基準に基づき，調査実施主体者が行うものとし，発掘調査の段階，出土品の整理作業の段階，それ以降の段階等いずれの時点でも行うことができる。

(4) 文化財認定を受けた出土品は貴重な歴史的遺産であることから，その種類・活用等の段階に応じて，適正かつ体系的に収納・管理を行う必要がある。そのためには，恒常的な収納・管理施設の充実と出土品の保存・活用に的確に対応できるシステムの整備及び適正な人員の配置が望まれる。

(5) 埋蔵文化財の保護や発掘調査に対する県民の理解と協力を促進するためには，博物館や資料館等の展示公開施設のほか，公共施設，民間施設等の有効活用による出土品の公開機会の拡充，学校教育での活用の拡充等，県民がいろいろな機会にさまざまな方法で出土品に触れることができるよう，その広範な活用を図る必要がある。

2 出土品の分類と収納・管理の基準

(1) 出土品の分類基準

① 文化財認定の対象となるもの —— 研究・普及公開等に活用の機会が多いもの及び活用の頻度は低いが将来的な活用も考えられるもの。

② 文化財認定を行なわないもの —— 出土品がもつ歴史的情報を，発掘調査現場で十分に記録でき，将来にわたって出土品そのものの活用が考えられないもの，あるいは現地調査終了後ある程度の記録作成期間が必要であるが長期的な収納・管理を要しないもの。

(2) 収納・管理の基準

文化財認定を行った出土品は，本来，適切な保存・活用が図れる施設で一括収納・管理することが望ましい。しかしながら，活用の頻度等により以下のように扱うことも可とする。

① 区分Ａ —— 当該機関内の恒常的な収蔵庫に個々の出土品の検索が容易な状態で保管する。なお，出土品の種類・形状・形態，遺存状況，文化財としての重要性，展示・公開等による活用の機会等を勘案し，適切な収納設備，保管環境の整備に努めるものとする。

② 区分Ｂ —— 当該機関が管理する収蔵庫に，保管スペースを可能な限り効率的に利用できる方法で，個々の遺跡・遺構単位で検索が可能な状態で収納する。

〔付１〕　平成12年度 三重県文化財調査員名簿

地区	氏名	勤務地	専門	備考
北勢	松本　覚	白瀬小学校	埋蔵文化財	長島町・木曽岬町および員弁郡全域
	鎌田　雅生	三重平中学校	埋蔵文化財	菰野町・楠町・朝日町・川越町・関町
	川添　護	員弁高等学校	天然記念物	桑名市・桑名郡・員弁郡・三重郡
	桐生　定己	中部中学校	天然記念物	四日市市・鈴鹿市・亀山市・鈴鹿郡・菰野町
	嶋村　明彦		建造物	中勢管内と兼務
	園田　純子		彫刻等	中勢管内と兼務
中勢	服部　久士	津東高等学校	埋蔵文化財	美里村・河芸町
	齋藤　直樹	美杉南小学校	埋蔵文化財	白山町・香良洲町
	下村　純也		天然記念物	
	嶋村　明彦		建造物	北勢管内と兼務
	園田　純子		彫刻等	北勢管内と兼務
松阪	増田　安生	飯高西中学校	埋蔵文化財	多気町・飯南町・飯高町
	奥　義次	度会高等学校	埋蔵文化財	大台町・宮川村・勢和村
	三井　博之		天然記念物	
	松月　久和	伊勢工業高等学校	建造物	南志管内と兼務
	藤田　直信		彫刻等	南志管内と兼務
南勢・志摩	大西　素行	一之瀬小学校	埋蔵文化財	二見町・小俣町・御薗村
	北畠　充生	南島中学校	埋蔵文化財	大宮町・大内山村・紀勢町
	田村　陽一	相可高等学校	埋蔵文化財	南勢町・南島町
	越賀　弘幸	五ヶ所中学校	埋蔵文化財	玉城町・度会町
	村上　喜雄	的矢小学校	埋蔵文化財	鳥羽市・大王町
	角谷　泰弘	五十鈴中学校	埋蔵文化財	磯部町・浜島町
	前川　嘉宏	有田小学校	埋蔵文化財	志摩町・阿児町
	橋本　清	伊勢高等学校	天然記念物	伊勢市・度会郡
	岡　與一		天然記念物	鳥羽市・志摩郡
	松月　久和	伊勢工業高等学校	建造物	松阪管内と兼務
	藤田　直信		彫刻等	松阪管内と兼務
上野	市田　進一		埋蔵文化財	大山田村・島ヶ原村
	寺岡　光三		埋蔵文化財	阿山町・伊賀町
	松月　茂明		天然記念物	
	杉澤　学	奈良徐氏大学付属小学校	天然記念物	
	滝井　利彰		建造物	
	瀧川　和也		彫刻等	
尾鷲	津田　雄一郎	相賀小学校	埋蔵文化財	
	山本　和彦	長島高等学校	天然記念物	
	田崎　通雅		建造物・彫刻等	
熊野	福村　直人	新鹿小学校	埋蔵文化財	
	花尻　薫		天然記念物	
	岩本　直樹	入鹿小学校	建造物・彫刻等	

平成12年度

三重県埋蔵文化財年報

2001・8

編集
発行　三重県埋蔵文化財センター

印刷　㈲第一プリント社